取扱説明書

BSチューナー内蔵
S-VHSビデオカセットレコーダー
型名 HR-X5

S-VHS VIDEO CASSETTE RECORDER
HR-X5

●お買い上げいただき、ありがとうございます。
●ご使用の前にこの「取扱説明書」と別紙の「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、後日役に立つこともありますので、保証書と一緒に大切に保管してください。
●製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は製造番号が記載されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているか、お確かめください。

PU30424-425-2

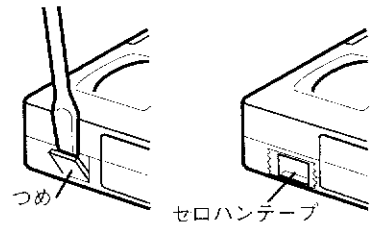
正しくお使いいただくために

ご使用の前に、この「正しくお使いいただくために」と別紙の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

大切な録画の前に

■テレビ放送や録画物などから録画したものは､個人として楽しむなどのほかは､著作権法上､権利者に無断で使用できません。
■大切な録画の場合は必ず事前に試し撮りをし､正常に録画･録音されていることを確かめてください。
■万一、本機およびビデオカセットテープ等の不具合により、正常に録画・録音や再生できなかった場合の補償についてはご容赦ください。

大切な記録を消さないために

■大切な録画済みテープの場合は、誤消去を防ぐため、つめ（誤消去防止用）を折って取り除いてください。
●ふたたび録画したいときは、セロハンテープを２重に貼ってください。
■本機の録画方法について
●本体とリモコンでは、操作方法が異なります。
本体 …………録画ボタンを1回押すだけで録画が始まります。
リモコン ……録画ボタンを押しながら再生ボタンを押すと、録画が始まります。
●録画一時停止のしかたは、本体もリモコンも同様の操作です。
一時停止ボタンを押しながら録画ボタンを押します。録画を始めるには再生ボタンを押します。

きれいな画面でご覧いただくために（クリーニングカセットの使い方）

■本機にはオートクリーニング機構が付いていますが､長い間ご使用になるうちにザラザラした画面になることがあります。

■ヘッド汚れの原因
ヘッドは次のようなことが原因で汚れます。

● 高温、多湿（梅雨時期など）

● 空気中のほこり

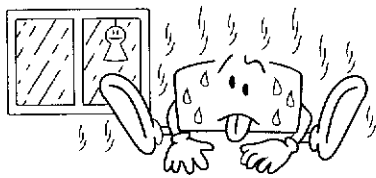
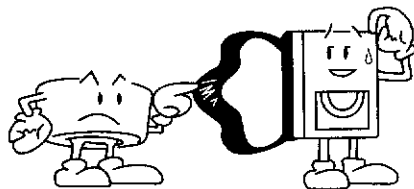
● テープの傷、汚れ

● 長時間の使用

こんな症状になったら

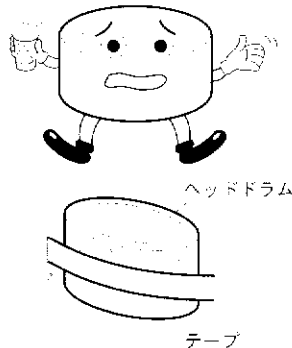
● テープを再生するとザラザラした画面になる
● 映像が不鮮明または映らない

こんなときには

別売の乾式クリーニングカセットTCL-2またはTCL-3Fを使って、ビデオヘッドをクリーニングしてください。

■クリーニングカセットを使っても正常な画面にならない時は、お買い上げの販売店または別紙「サービス窓口案内」をご覧の[illegible]近くのサービス窓口にご相談ください。

つゆつきにご注意

「つゆつき」とは

よく冷えたビールをコップにつぐと、コップのまわりに水滴がつきます。
この状態を「つゆつき」(または結露)といいます。

「つゆつき」がおきると

ビデオ内部のヘッドドラムに水滴がつくとテープが貼りついて、テープやビデオをいためてしまいます。

こんなときは「つゆつき」にご注意

- 寒いところから暖かい部屋に移動したとき
- 急に部屋を暖房したとき
- エアコンなどの冷風が直接あたるところ
- 湿気の多いところ

「つゆつき」をおこしそうなときは

あらかじめビデオの電源を入れておくと、「つゆつき」がおきにくくなります。

「つゆつき」がおきてしまったら

ビデオの電源を入れて数時間待ってからご使用ください。

ビデオカセットについて

- ビデオカセットは S-VHS、VHSタイプをお使いください。
- 録画済テープに新しく録画するときは、前に録画されたものは自動的に消されます。
- カセットは裏返しでは使えません。
- カセットのふたを開けたり、分解したり、テープに直接触れることは絶対にしないでください。
- テープを走行させないで、カセットを何度も出し入れしないでください。テープに傷をつけることがあります。
- テープ使用後は、始めまで巻き戻しておいてください。

ビデオカセットの保管は

- 湿気やほこりの多いところ、カビの発生しやすいところはさけてください。
- 直射日光が当るところやストーブの近くはさけてください。
- 磁気の発生するところはさけてください。
- 落としたり衝撃を与えないでください。
- むらのある巻き取り状態はテープをいためます。きれいに巻き直してください。
- カセットケースに入れて、立てて保管してください。

キャビネットのお手入れ

キャビネットや操作パネルの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、かわいた布で仕上げしてください。ご使用の際は、その注意書に従ってください。

- シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。
  キャビネットがいたんだり、塗料がはがれたりすることがあります。
- ゴムやビニール製品などに長時間接触させないでください。
- キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。

アンテナについて

- 妨害電波をさけるために、電線や道路などからなるべく離してたててください。
- 風雨にさらされているので、定期的に点検、交換することをおすすめします。
- アンテナ線には良好な画像を得るため、同軸ケーブルを使用することをおすすめします。
- アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

主な特長

□内の数字が参照ページです。

3倍モードがより高画質に楽しめる
センダストHDプロヘッド

画面のゆがみや歪みを補正し安定した画面で再生する
629デジタルTBC………63

ディテールを鮮やかに再現する
3次元デジタルY/C分離回路…69

編集精度の高いダビングができる
プリロール編集……………74

最大8プログラムまでの自動編集が可能な
マルチダビング……………76

テープの特性に合わせて最適録画できる
オートキャリブレーション…62

TV12チャンネルボタンで他社製テレビも操作できる
テレビもリモコン…………42

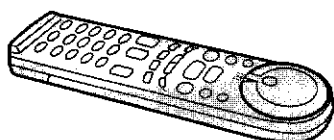
電話のプッシュホン感覚で簡単に録画予約できる
Gコード予約※………………52

標準モードでタイマー録画中、テープ不足を防ぐ
ぴったり録画……………53

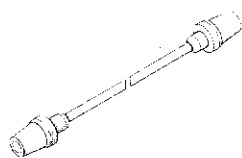
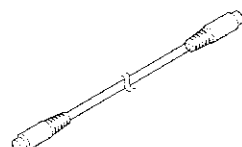
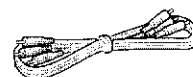
チャンネル設定が簡単に素早くできる
オートチャンネルプリセット対応 28

※Gコードシステムはジェムスター社のライセンスに基づいて生産しております。

付属品

本機の付属品をお確かめください。

リモコン

単4乾電池(2本)
(リモコン動作確認用)

電源コード(2m)

アンテナコード(1.2m)

S映像コード(1.2m)

映像/音声コード(1.2m)

この取扱説明書の見かた

各ページの操作がリモコンまたは本体のどちらで操作できるか左上にイラストでお知らせしています。

リモコンで操作できます。

本体で操作できます。

もくじ

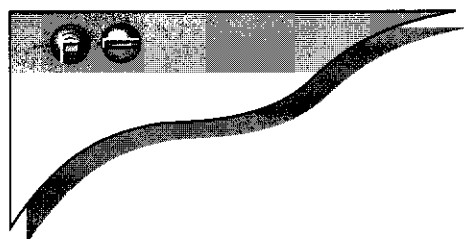
ビデオの設置は どなたがしますか

この取扱説明書は大きく準備編と操作編とに分かれています。

●アンテナの接続・チャンネルの設定・時計合わせなどの設定がすでにお済みの方は、はじめに→操作編→その他の順にお読みください。

●ご自分で接続・設定をされる方は、はじめから順にお読みください。

最初にお読みください

はじめに

ご自分で設置される場合
準備編からお読みください

●アンテナやテレビと接続します
●チャンネルの設定をします
●時計を合わせます

準備編

接続

設定

接続・設定が済んでいる場合
操作編からお読みください

●ビデオテープを見ます
●テレビ番組を録画します
●タイマー予約をします
●ビデオテープのコピーを作ります

操作編

基本的な使い方

便利な使い方

その他

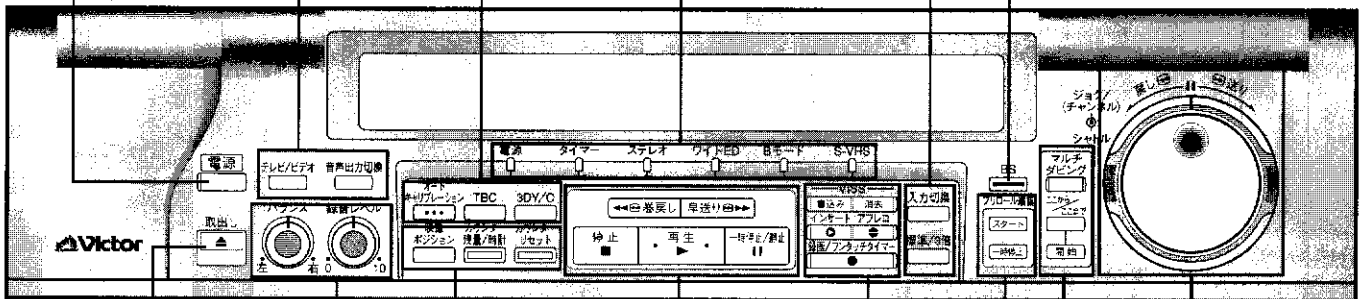
電源（POWER）ランプ（赤）
タイマー（TIMER）ランプ（緑）52 ～ 57
ステレオ（STEREO）ランプ（赤）
・ステレオ放送受信時に点灯
ワイドED（WIDE ED）ランプ（緑）85
Bモード（B-MODE）ランプ（緑）
・衛星放送のBモード放送受信時に点灯
S-VHSランプ（緑）41

オートキャリブレーションボタン 62
TBCボタン 63
3D Y/Cボタン 69

テレビ／ビデオボタン 19 48
音声出力切換ボタン 61

電源ボタン

入力切換ボタン 71 ～ 83
標準/3倍ボタン 46

BSオレンジボタン
48 50

カセット取出しボタン 40

基本操作ボタン

ジョグダイヤル／
シャトルリング 45

Hi-Fi録音のレベルつまみ／
バランスつまみ 61

マルチダビング操作ボタン
76 ～ 78

映像ポジションボタン 68
カウンター／残量／時計表示切換ボタン 47 49
カウンターリセットボタン 43 80 82

プリロール編集操作ボタン
74 82

VISS書込み／消去ボタン 58
インサートボタン 80 82
アフレコボタン 79
録画／ワンタッチタイマーボタン 46 47

各部のなまえ（つづき） 　内のページで機能を説明しています。

本体表示窓

オートキャリブレーション表示 62
（A. CAL : Auto Calibrationの略）

ビデオ表示 19 48
オートトラッキング（AT）表示 68
カセット（ ）表示 43 46

テープ残量表示 47

録画・再生スピード表示 46

曜日表示 52 ～ 57

ワンタッチタイマー録画
（OTR）表示 47

頭出し再生表示 58
（VISS : VHS Index Search Systemの略）

毎週日月火 水木金土 残量 ビデオ AT 標準3倍 VISS 録画BS
A.CAL フルモード OTR BS
午前 午後 日 H M
+8 4 0 6 10 -15dB L ノーマル R

日にち表示
52 ～ 57

時計表示
・電源「切」のときは、秒も表示します。
タイマー開始・終了時刻表示
カウンター表示
・早送り、巻戻し中にテープの未録部分になるとカウンター表示が点滅します。

BSモニター表示
48 50

録画・受信
チャンネル表示

フルモード表示
・外部機器からの入力信号または再生するテープに、フルモードの識別信号があると点灯します。

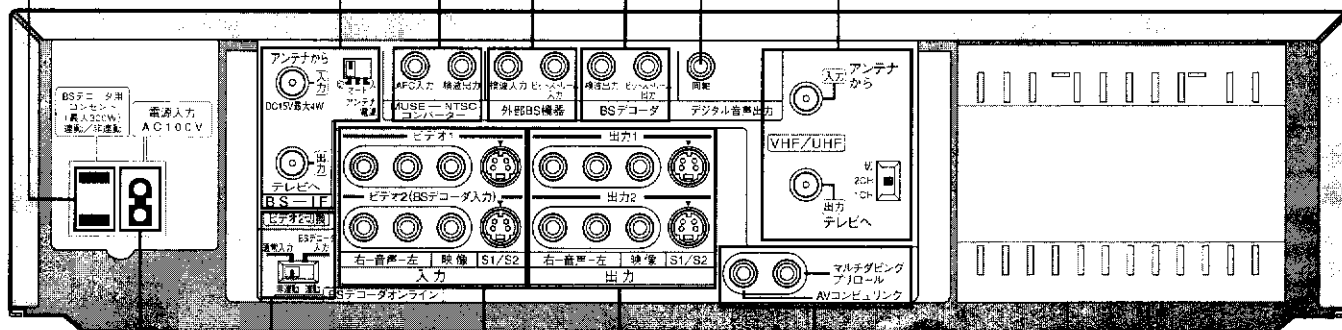
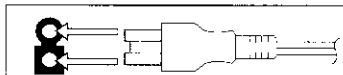
音声レベルメーター表示／
音声出力表示 61

テープ走行表示

本体表示窓の明るさを自動的に変えるミッドナイトディマー

夜10:00～翌朝4:59の時間でビデオ電源「切」のときに、本体表示窓を自動的に暗くします。
ただし、次のようなときは明るくなります。
・ビデオ電源「切」で衛星放送を見ているとき
・リモコンから本体へ予約を転送したとき
・予約の確認をしたとき
・テープ残量の確認をしたとき

本体背面

MUSE－NTSCコンバーターとの接続 24
・AFC入力端子
・検波出力端子
他のBS機器との接続 22 25
・検波入力端子
・ビットストリーム入力端子
BSデコーダとの接続 22 25
・検波出力端子
・ビットストリーム出力端子
BSアンテナ接続端子 20
・BSアンテナ入力端子
・BS－IF出力端子
・BSアンテナ電源切換スイッチ
デジタル音声出力端子（同軸）
別売の映像用ケーブル（黄色）で、デジタル
オーディオ機器と接続します。
・おすすめケーブル
VX-110HG　VX-710PRO
VX-120HG　VX-720PRO
BSデコーダ用
電源コンセント 23
アンテナ接続端子 16
ビデオチャンネルスイッチ 18 19
ビデオ２切換スイッチ 23
BSデコーダオンライン
スイッチ 23
マルチダビング端子 76
／プリロール端子 74 82
AVコンピュリンク端子 26
電源ソケット
映像／音声出力端子（２系統）
映像・音声入力端子（２系統） 22 24
・ビデオ２の入力端子は、BSデコーダ
接続端子と兼用です。
・付属の電源コードを電源ソケットの
形状に合わせて接続してください。
・灰色部分が挿入部です。まっすぐに、
止まるところまで確実に差し込んで
ください。

各部のなまえ[リモコン]

内のページで機能を説明しています。

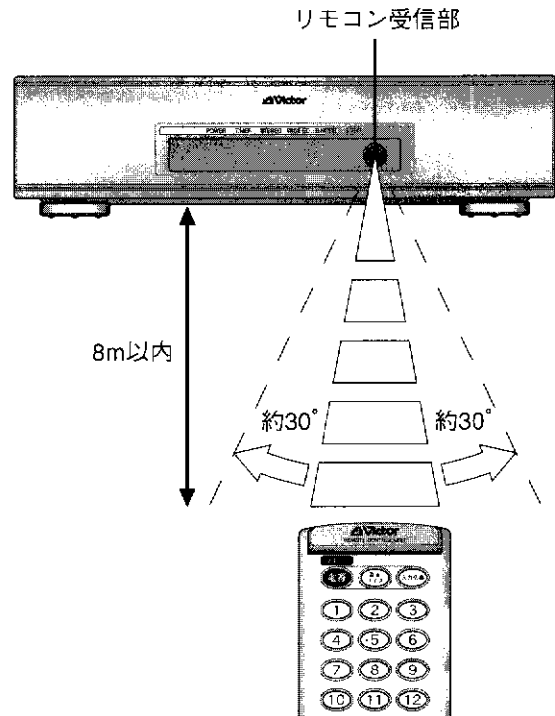
リモコン表示窓

裏面

Gコード(番組予約番号)表示
時計表示
録画スピード表示
曜日表示
Gコード 毎週 日月火水木金土 標準
合わせ月日付年午前午後時ぴったり分 3倍
88.888888:88
送信表示

乾電池の入れかた

●単4乾電池を2本入れます。

リモコンの向けかた

■乾電池についてのご注意

・付属の乾電池は動作確認用です。
・長時間ご使用にならないときは、リモコンから乾電池を取り出しておいてください。
・リモコン使用中に不具合が生じたときは、一度乾電池を抜き、しばらくしてから再度乾電池を入れ、操作してください。

■乾電池交換の目安は

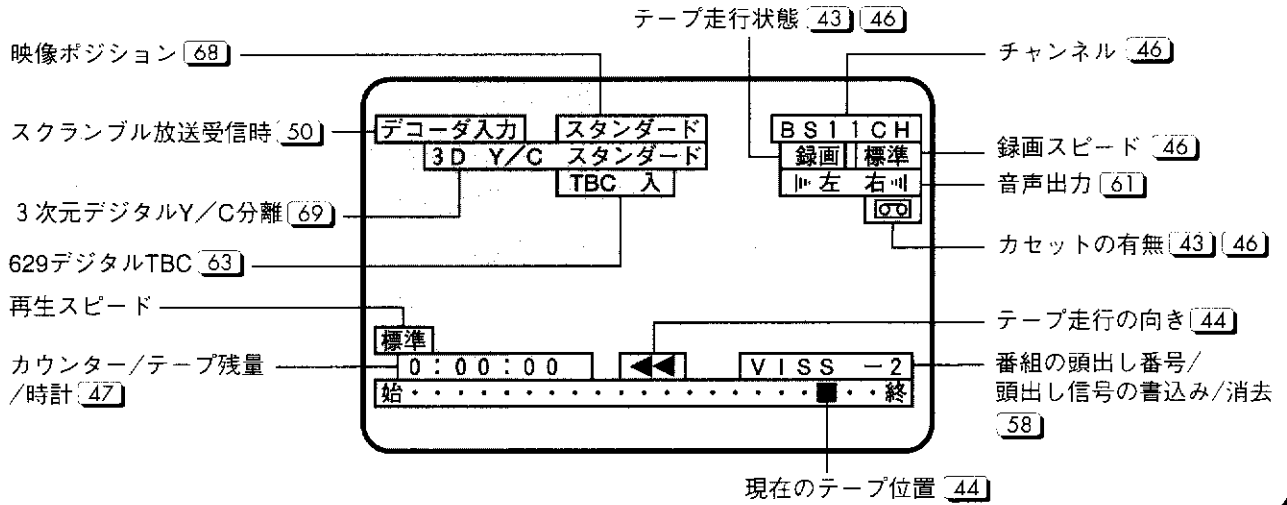
・リモコンの操作できる距離が短くなったり、リモコン表示窓が薄くなってきたら、電池が消耗しています。このようなときは新しい乾電池に交換してください。

■乾電池を交換するときは

・単4乾電池（UM-4型）をご使用ください。
・2本とも新しいものと交換してください。（使用済みのものを混ぜないでください）
・乾電池の⊕と⊖の向きを表示通り正しく入れてください。
・乾電池に表示されている注意事項も合わせてお読みください。
・交換後、リモコン表示窓の時計が 0:00 で点滅するときは、時計合わせ（32ページ）とテレビのメーカー指定（42ページ）をやり直してください。

画面表示

テレビ画面に出る表示で動作が確認できます。 □ 内の数字が参照ページです。

各操作ボタンを押すと、操作内容をテレビ画面に約5秒間表示します。

画面表示を出したくないときは

準備 18 19 ページをご覧いただき、テレビにビデオの画面が映るようにしてください。

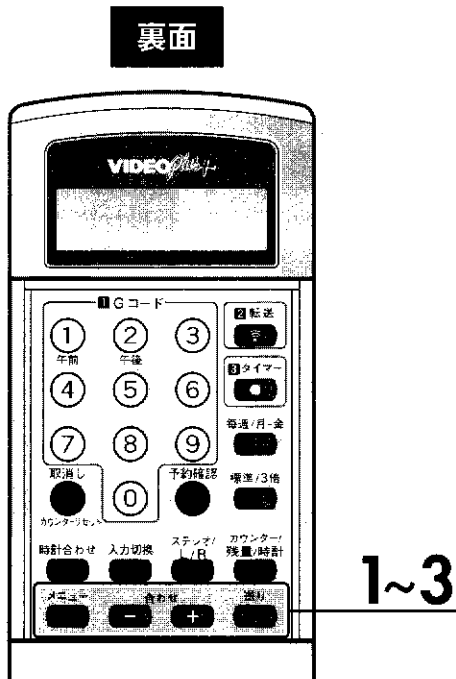
1

1 メニューボタンを押す

●メニュー画面を表示します。

2 合わせ−/+ボタンで

モード選択を選ぶ

2

1 送りボタンを押す

●モード選択画面を表示します。

2 合わせ−/+ボタンで

オンスクリーンを切にする

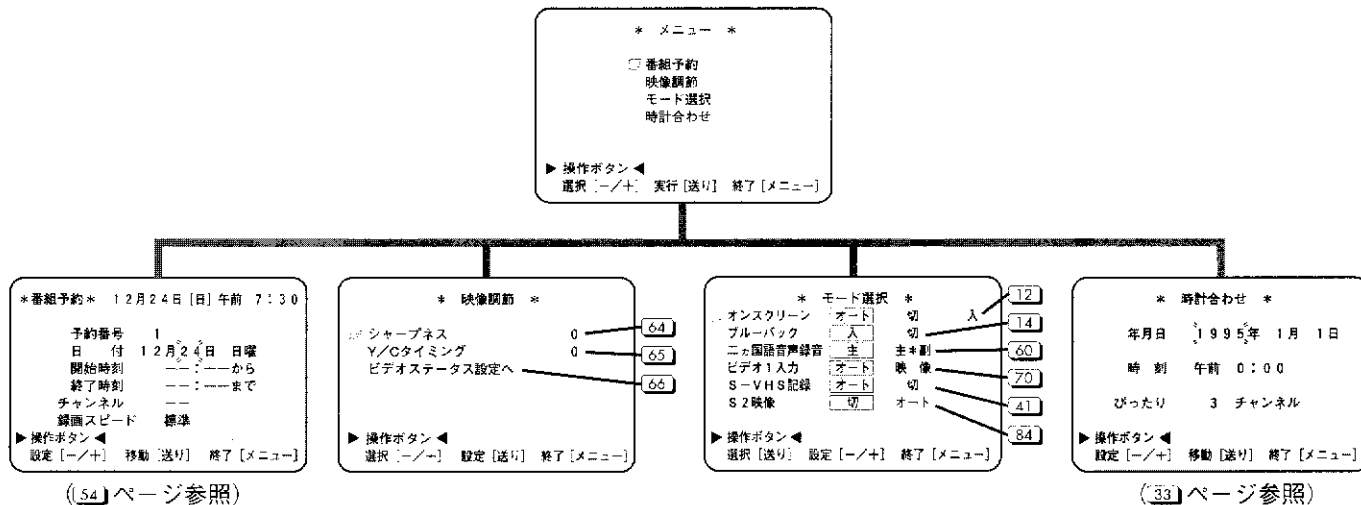
3

メニューボタンを押す

●設定が完了し、テレビ番組画面に戻ります。

メニュー画面 リモコンまたは、本体で操作します。 [ ] 内の数字が参照ページです。

（54 ページ参照）

（33 ページ参照）

チャンネル合わせ画面 本体で操作します。 [ ] 内の数字が参照ページです。

＊ チャンネル合わせ ＊

記憶／スキップ／表示変更／微調整
オートチャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ

▶操作ボタン◀
◆選択 [−／＋]
＊実行 [送り]
＊終了 [チャンネル合わせ]

＊ チャンネル記憶／スキップ ＊

チャンネル表示 2CH 記憶
受信チャンネル 2

▶操作ボタン◀
◆チャンネルを選ぶ [−／＋]
◆選局をとばす [スキップ]
＊チャンネル表示変更へ [送り]
＊終了 [チャンネル合わせ]

（29 ページ参照）

＊ オートチャンネル合わせ ＊

チャンネル表示 1CH
受信チャンネル 1

オートチャンネル合わせ実行中

（28 ページ参照）

＊ ガイドチャンネル合わせ ＊

チャンネル表示 1CH
ガイドチャンネル 80

▶操作ボタン◀
◆チャンネルを選ぶ [−／＋]
＊ガイドチャンネル変更へ [送り]
＊終了 [チャンネル合わせ]

（36 ページ参照）

＊ チャンネル表示変更 ＊

チャンネル表示 42CH
受信チャンネル 42

▶操作ボタン◀
◆チャンネル表示を変える [−／＋]
◆変えた内容を記憶する [記憶]
＊受信チャンネル変更へ [送り]
＊終了 [チャンネル合わせ]

（30 ページ参照）

＊ Gコードインフォ合わせ ＊

チャンネル表示 6CH
ガイドチャンネル 102

▶操作ボタン◀
◆ガイドチャンネルを選ぶ [−／＋]
＊チャンネル表示変更へ [送り]
＊終了 [チャンネル合わせ]

（38 ページ参照）

＊ チャンネル微調整 ＊

チャンネル表示 35CH
受信チャンネル 35
微調整 −＊−

▶操作ボタン◀
◆微調整をする [−／＋]
◆変えた内容を記憶する [記憶]
＊チャンネル記憶／スキップへ [送り]
＊終了 [チャンネル合わせ]

（31 ページ参照）

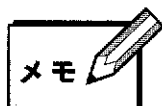
画面表示（つづき）

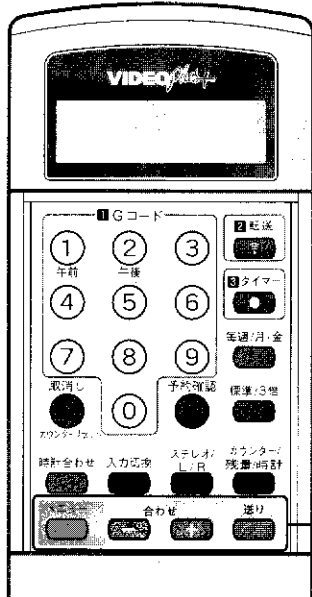
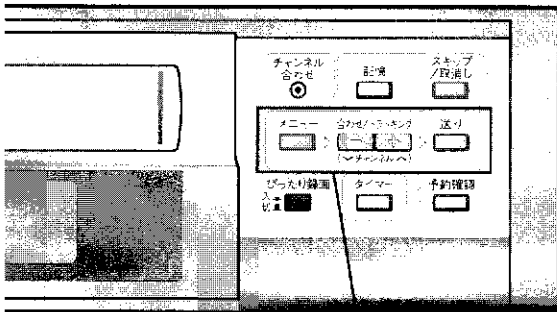
モード選択画面　操作方法は右ページをご覧ください。

```
＊　モード選択　＊
☞オンスクリーン　　[オート]　切　　入
　ブルーバック　　　[入]　　切
　二ヵ国語音声録音　[主]　　主＊副
　ビデオ1入力　　　[オート]　映　像
　S－VHS記録　　 [オート]　切
　S 2映像　　　　　[切]　　オート

▶操作ボタン◀
　選択［送り］設定［－／＋］終了［メニュー］
```

送りボタンで選ぶ	合わせ－／＋ボタンで選ぶ	各項目の内容	ページ
オンスクリーン	オート	テレビ画面に文字を表示します。	12 72
	切	ダビング時、本機を再生側で使用するときは、テレビ画面に出る文字を記録しないように**切**にします。	
	入	常時、カウンター（または残量／時計）を表示します。	
ブルーバック	入	放送のないチャンネルおよび外部入力で無信号のときは青い画面（ブルーバック）になります。	—
	切	電波が弱く、不安定なチャンネルを受信するときは**切**にします。	
二ヵ国語音声録音	主	二ヵ国語放送のときに主音声（日本語など）だけを録音します。	
	主＊副	二ヵ国語放送のときは主音声と副音声の両方を録音します。 外国語を録音するときは**主＊副**にします。 再生・録画時にHi-Fi音声ボタンで聞きたい音声を選んでください。	60
ビデオ1入力	オート	本機背面のビデオ1入力のS1／S2と映像端子の両方に接続しているときは、S1／S2端子が優先されます。	70
	映　像	本機背面のビデオ1入力のS1／S2と映像端子の両方に接続しているときに、映像端子の信号を選ぶときは**映像**にします。	
S－VHS記録	オート	S-VHSカセットのときはS-VHS記録、VHSカセットのときはVHS記録します。	41
	切	S-VHSカセットにVHS記録するときは**切**にします。	
S 2映像	切	ワイド放送（第2世代EDTV）であるかの識別信号をテレビへ出力しません。	85
	オート	本機の受信チャンネルまたは再生するテープに、ワイド放送（第2世代EDTV）の識別信号があるかどうか自動判別し、テレビへ出力します。	

□部分：ご購入時の設定位置です。

●30分以上の停電があり、本体表示窓が 0:00 で点滅しているときは、ご購入時の設定に戻りますので、再度設定し直してください。

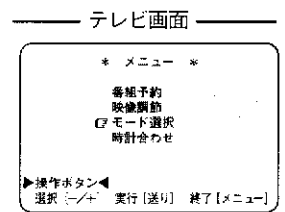
裏面

モード選択画面を表示して設定する

テレビ画面に出る表示項目を見ながら、操作に必要な設定を行います。

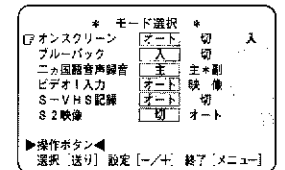
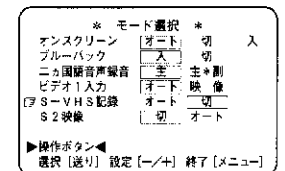
例　S-VHS記録を**切**にする

準備　18 19 ページをご覧いただき、テレビにビデオの画面が映るようにしてください。

テレビ画面

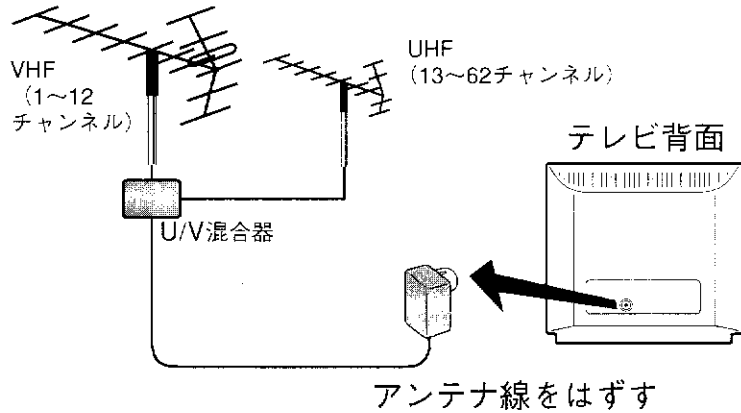
1 **メニューボタン**を押す
●メニュー画面を表示します。

2 **合わせ−/＋ボタン**で
モード選択を選ぶ

3 **送りボタン**を押す
●モード選択画面を表示します。

本体右側

4 **送りボタン**で
S-VHS記録を選ぶ
●送りボタンを押すごとに、☞表示が下の項目へ移動します。

5 **合わせ−/＋ボタン**で
切を選ぶ

6 **メニューボタン**を押す
●設定が完了し、テレビ番組画面に戻ります。

アンテナ・ビデオ・テレビの接続

アンテナ ←→ ビデオの接続

次のページもご覧ください。➡

ビデオ ←→ テレビの接続

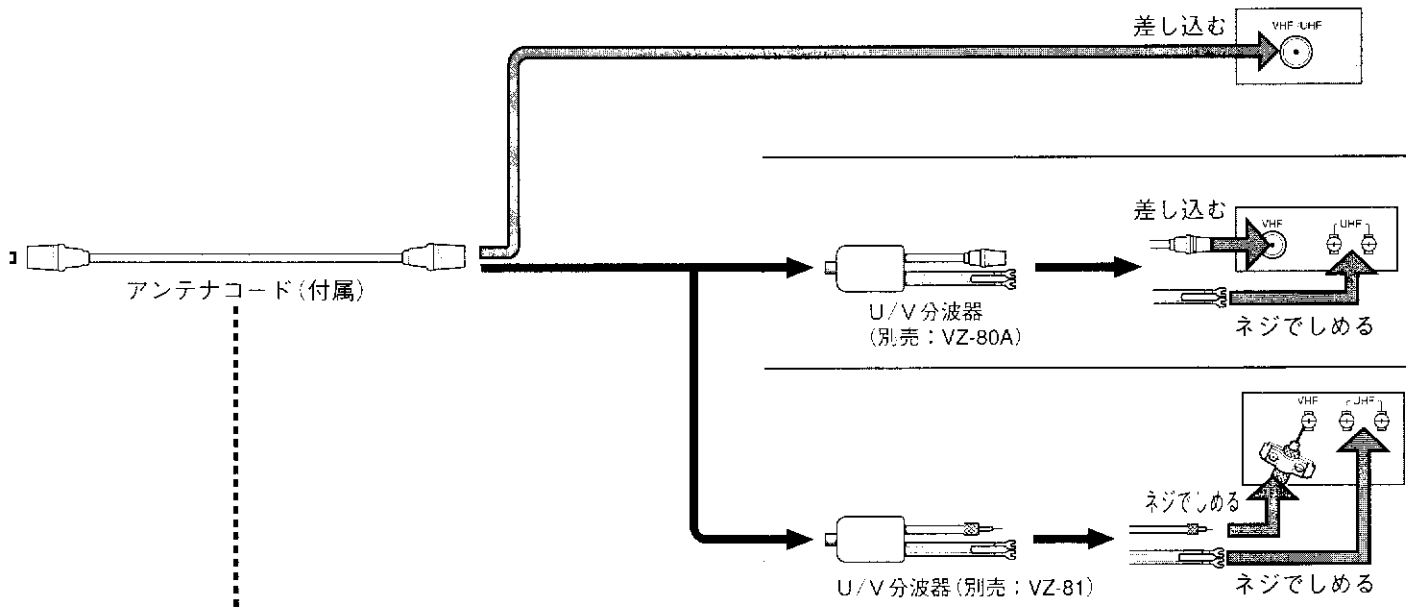
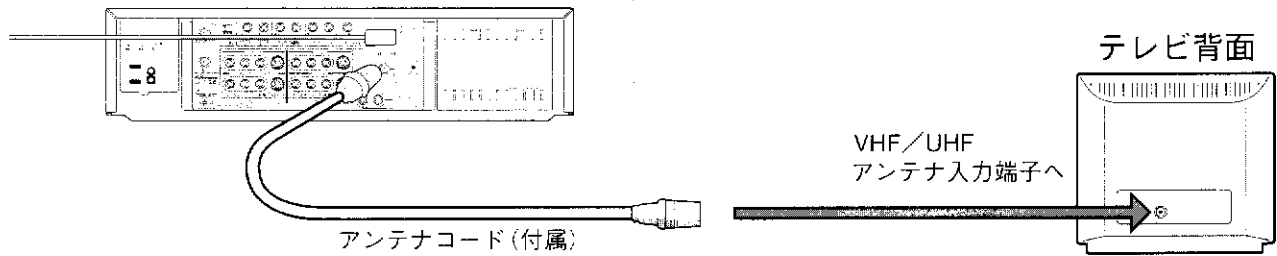
3 ビデオ背面の VHF/UHFアンテナ出力端子と アンテナコードを接続する

4 テレビ背面の VHF/UHFアンテナ入力端子へ 接続する

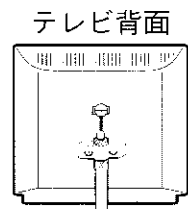
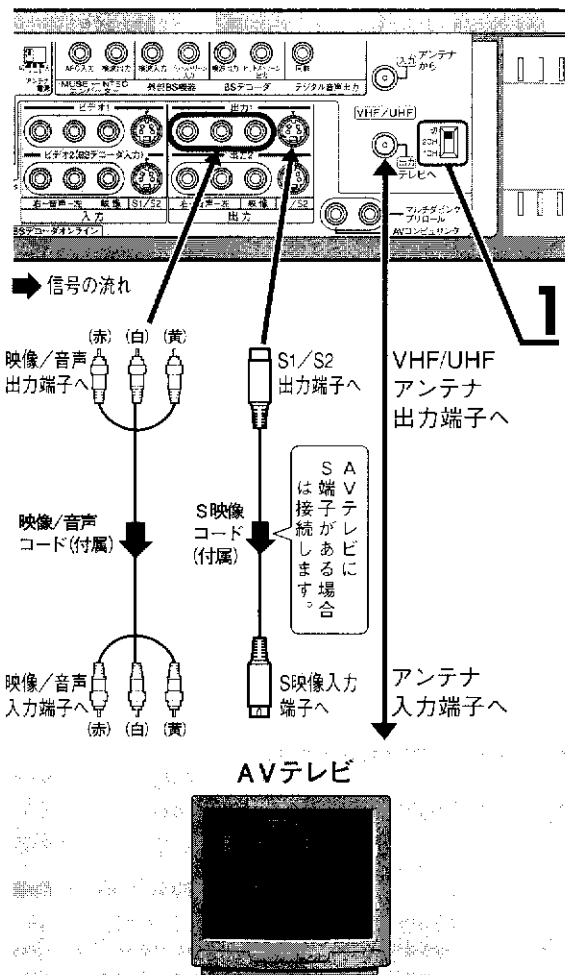
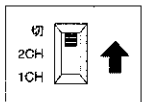
準備編

差し込む
VHF·UHF

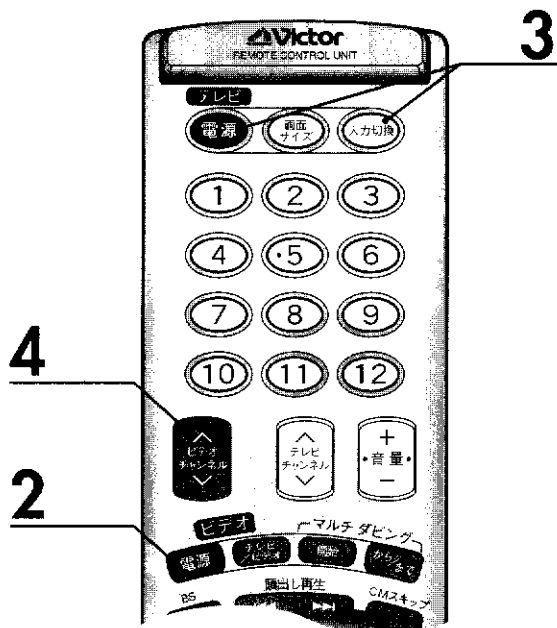
差し込む
VHF
UHF
U/V分波器
（別売：VZ-80A）
ネジでしめる

VHF
UHF
ネジでしめる
U/V分波器（別売：VZ-81）
ネジでしめる

アンテナコード（付属）

アンテナとテレビが下のように接続されているかたは、付属のアンテナコードを右のように加工してください。

テレビ背面

切断する。	すじを入れ、切り取る。	網線を折り返す。	芯線を傷つけないように。	芯線を出し、テレビに接続する。

(本機背面)

AVテレビ

表面

映像/音声入力端子のあるテレビ(AVテレビ)をお持ちの方は、付属の映像/音声コードを使ってテレビとビデオを接続してください。(左図参照)

AV接続後の確認

1 本機背面の**ビデオチャンネルスイッチ**を**切**にする

2 ビデオの電源を入れる

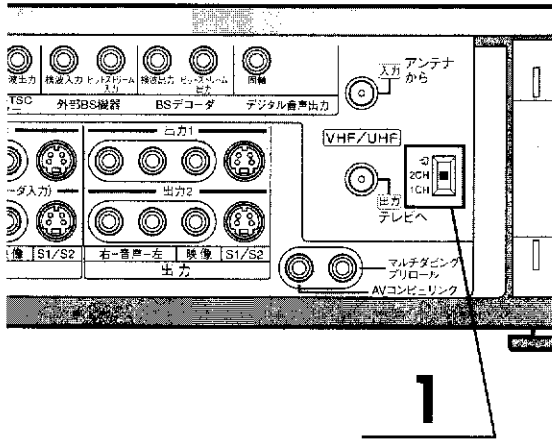
3 テレビの電源を入れ、本機と接続した入力端子(ビデオ1、ビデオ2など)を選ぶ

●ビクター以外のテレビを操作する場合は 42 ページをご覧ください。

4 ビデオのチャンネルを変えて、映ることを確認する

●ビデオソフトまたは録画済みカセットがある場合は、再生して映ることを確認します。

●AV接続の場合、録画中に別の番組を見るときに、テレビ/ビデオボタンを操作する必要はありません。(48 ページ参照)

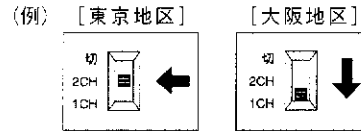
（本機背面）

映像/音声入力端子のないテレビとの接続（RF接続）は、16 17 ページで済んでいます。RF接続後の確認を行ってください。

RF接続後の確認

1 本機背面の**ビデオチャンネルスイッチ**を放送のない空きチャンネルに合わせる

（例） ［東京地区］ ［大阪地区］

2 ビデオの電源を入れる

表面

3 **テレビ/ビデオボタン**で本体表示窓に ビデオ 表示を点灯させる

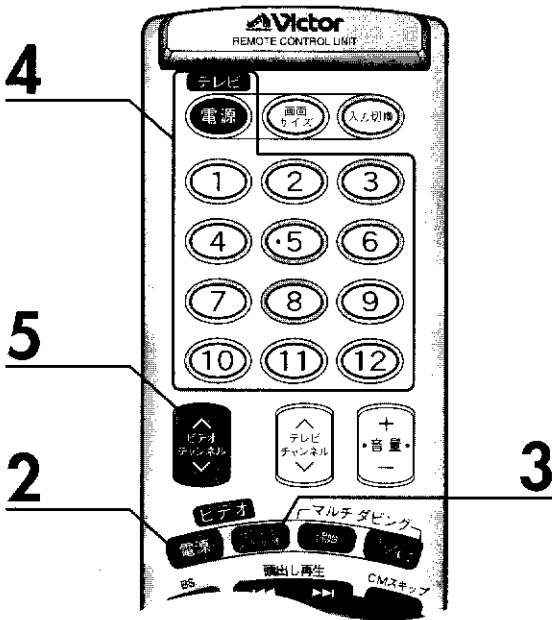
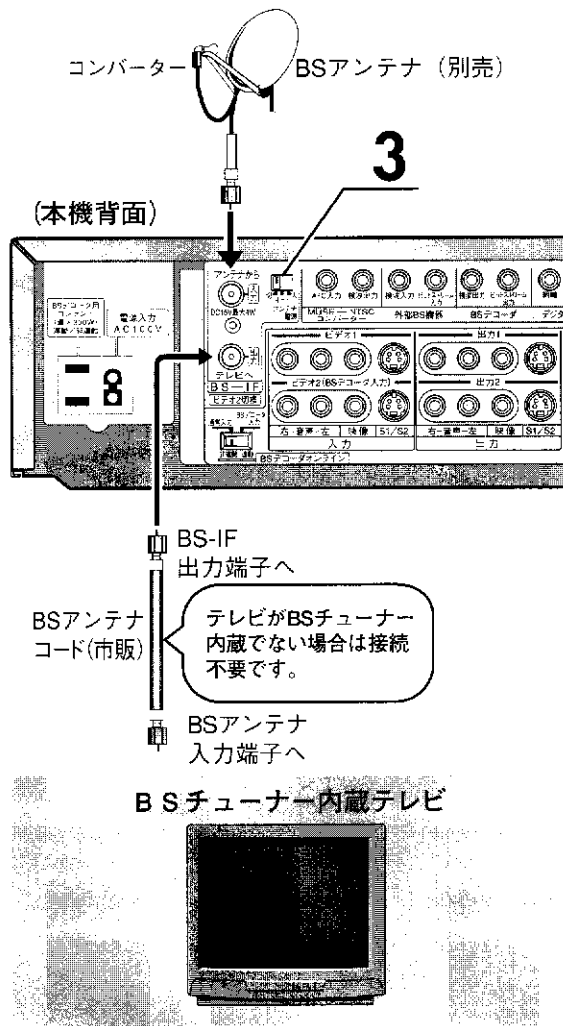
4 テレビの電源を入れ、**操作1で合わせたチャンネル**を選ぶ

- ビクター以外のテレビを操作する場合は 42 ページをご覧ください。

5 ビデオのチャンネルを変えて、映ることを確認する

- ビデオソフトまたは録画済みカセットがある場合は、再生して映ることを確認します。

メモ

- ビデオチャンネルとは
ビデオから出力される信号（映像と音声）をテレビに映して見るとき、テレビのチャンネルを何も放送されていないチャンネルに合わせて見ます。このテレビのチャンネルをビデオチャンネルといいます。

準備編

BSアンテナの接続

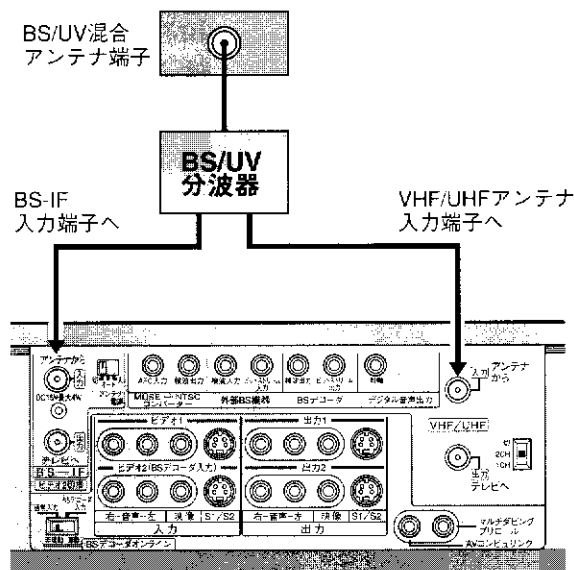
BSアンテナの接続とアンテナ電源スイッチの設定

BSアンテナを接続するときは、アンテナ電源スイッチを「切」にしてから始めてください。

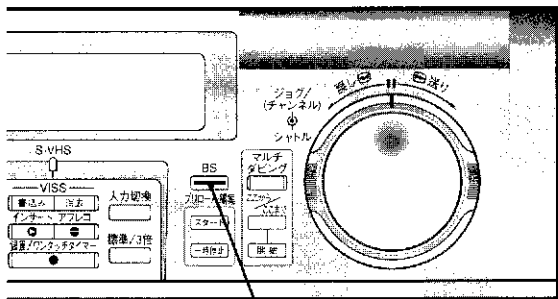
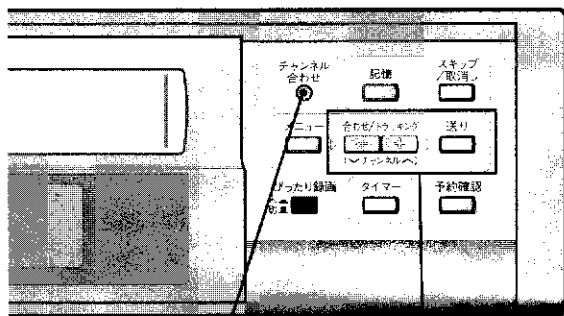
1 本機とBSアンテナを接続する

2 BSチューナー内蔵テレビをお持ちのかたは、BSアンテナコードで本機の**BS-IF出力端子**とテレビの**BSアンテナ入力端子**を接続する

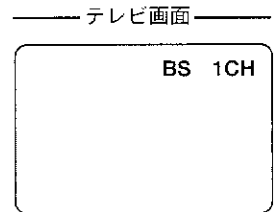
3 **アンテナ電源スイッチ**を設定する

切	・共同受信している場合（マンションなど） 本機からBSアンテナへ電源を供給しません。
オート	・本機以外にBS機器がない場合 ・他のBS機器のアンテナ電源スイッチに「入（連動）または電源連動」がある場合は、本機のアンテナ電源スイッチを「オート」、他のBS機器を「入（連動）または電源連動」にします。 本機の電源が「入」のとき、または本機の電源が「切」でも他のBS機器の電源を入れると、自動的にBSアンテナに電源を供給します。
入	・他にもBS機器があり分配器を使用している場合は、本機のアンテナ電源スイッチを「入」、他のBS機器を「切」にします。 本機の電源プラグをコンセントに差し込んでいれば、常にBSアンテナに電源を供給します。

アンテナ端子がBS／UV混合の場合

マンションなどの共同受信施設でBSアンテナとVHF／UHFアンテナが混合されたアンテナ端子の場合は、BS／UV分波器（別売：型名VZ－BS20HF）が必要です。
接続のしかたは、左の図をご覧ください。

ドア内右側

本体右側

●雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり、一時的に画面や音声に雑音が出たり、ひどい場合には全く受信できなくなることがあります。これは気象条件によるもので、BSアンテナやビデオの故障ではありません。
●春分と秋分の前後は、食（放送衛星が地球や月の影に入ること）により電波が途切れるため、放送が一時的に休止する場合があります。
●BS入力レベルは雨、雪、温度、アンテナコードの長さなどの影響を受け、時間によって数値が増えたり、減ったりすることがあります。この数値はアンテナ設置のために目安にするものであり、画質や音質のレベルとは関係ありません。
●BSアンテナの設置についてはBSアンテナの取扱説明書をご覧ください。

BSアンテナの方向調節

準備
①本機のアンテナ電源スイッチを確認します。（左ページ参照）
② 18 19 ページをご覧いただき、テレビにビデオの画面が映るようにしてください。

テレビ画面

1 BSオレンジボタンを押す

BS 1CH

2 本体の**チャンネル合わせボタン**を押す
●チャンネル合わせ画面を表示します。

＊ チャンネル合わせ ＊
記憶／スキップ／表示変更／微調整
オートチャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
▶操作ボタン◀
◆選択 ［－／＋］
＊実行 ［送り］
＊終了 ［チャンネル合わせ］

3
1 **送りボタン**を押す
●BSチャンネル合わせ画面を表示します。

2 **合わせ－／＋ボタン**で放送があるチャンネルを選ぶ
●BS番組を受信していないと、青い画面になります。

4 **送りボタン**を押す
●BS番組を受信していないと、ノイズ画面になります。
●BS番組が映ったら5へ進みます。

5
1 BSアンテナを動かして、BS番組が映るようにする
●BSアンテナ合わせ画面を表示します。

2 BS入力レベルの数値が最大になるように、BSアンテナを動かして微調整する
●数値が小さくても、画面がきれいに映っていれば大丈夫です。

6 **チャンネル合わせボタン**を押す
●設定が完了し、BS番組画面に戻ります。

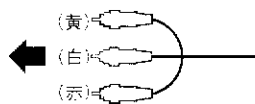
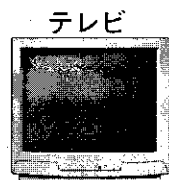
■BSアンテナ設置完了後、28 ページのオートチャンネル設定を行ってください。

準備編

BSデコーダとの接続

WOWOW、St.GIGAを視聴するにはBSデコーダが必要です。放送局との所定の手続きを行ってください。
テレビがBSチューナー内蔵でない場合は、　　　部分の接続は不要です。
WOWOWの見かたは50ページ、St.GIGAの聞きかたは51ページをご覧ください。

テレビ

すでに、映像／音声リターン入力端子に接続されている

接続を変更する

テレビ

ビデオ１、ビデオ２などの映像／音声入力端子に差し替える

ビットストリーム入力端子

メモ

●本機背面の電源コンセントには、BSデコーダまたはMUSE-NTSCコンバーターの電源プラグを接続します。他の機器は接続しないでください。
また、消費電力は最大300Wまでです。

●本機背面のビデオ2切換スイッチを「通常入力」にすると、ビデオ2は通常の外部入力になります。

左ページの※のかたは、テレビとの接続を変更してください。(左図参照)

テレビでWOWOWを見る

例　テレビの映像／音声リターン入力端子からコードを抜き、ビデオ２の映像／音声入力端子に差し替えた場合

1 テレビのチャンネルを「WOWOW」にする
●テレビ画面には、スクランブル画像が映ります。

2 テレビの入力切換を「ビデオ２」にする
●テレビ画面には、WOWOWが映ります。

ビデオでWOWOWを録画中に、テレビで他のBSチャンネルを見る

1 テレビのチャンネルを見たい番組にする

本機の電源を入れたときに、自動的にBSデコーダの電源を入れる

22 24 25 ページのいずれかの接続をしたあとに操作します。

1 本機背面の**BSデコーダオンラインスイッチ**を**連動**にする

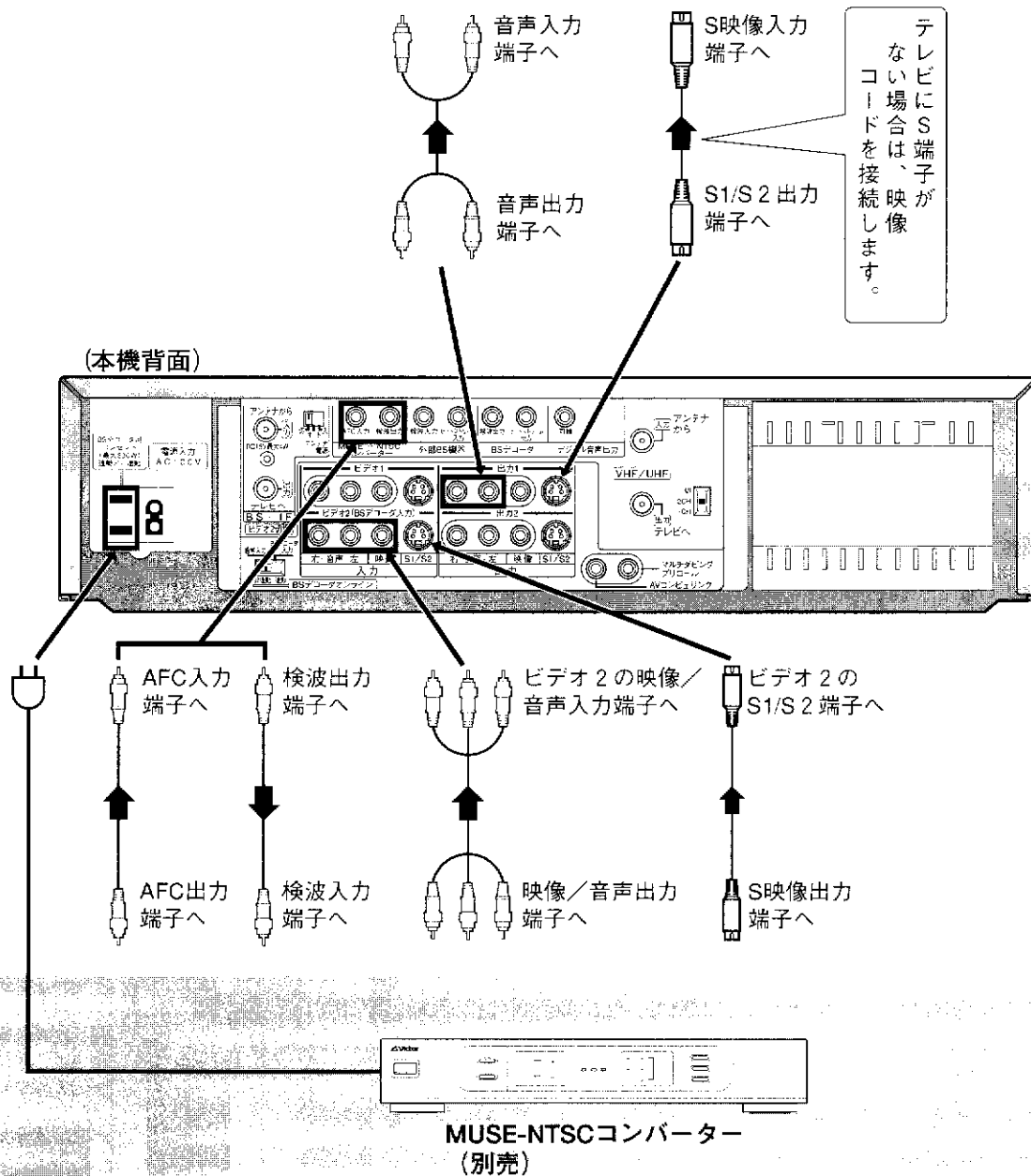
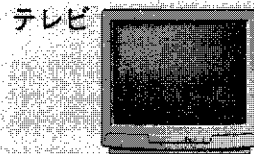
2 本機の電源を入れ、続けてBSデコーダの電源を入れる
●本機の電源を入／切すると、BSデコーダの電源も連動して入／切することを確認してください。

BSデコーダの電源が自動的に入る条件
●本機の電源を入れたとき
●タイマー録画中
●本機の電源が「切」のときに、BSオレンジボタンを押したとき
●本機の電源が「切」のときに、本機背面のビットストリーム入力端子に外部BS機器から信号が入力されたとき
・MUSE-NTSCコンバーター接続時も同じです。

準備編

MUSE-NTSCコンバーターとの接続

MUSE-NTSCコンバーターと接続する

23 ページをご覧いただき、本機の電源を入れたときに、MUSE-NTSCコンバーターの電源が自動的に入るようにしてください。

MUSE-NTSCコンバーターおよびBSデコーダと接続する

テレビがBSチューナー内蔵でない場合は、 部分の接続は不要です。
23ページをご覧いただき、本機の電源を入れたときに、MUSE-NTSCコンバーターおよびBSデコーダの電源が自動的に入るようにしてください。

関連システムとの接続

当社のAVコンピュリンク機能付きのテレビ・オーディオシステムをお持ちの方は、[　　　]部の接続も行ってください。
各機器の電源を切ってから接続してください。テレビ、オーディオシステムの取扱説明書も合わせてお読みください。

テレビ・コンパクトコンポとの連携プレー　AVコンピュリンク

当社のAVコンピュリンクシステムで、複雑な各機器間の操作が簡略化され、本格的なAVシステムを手軽に楽しめます。

(例)ワンタッチ再生

録画済テープをビデオに入れ、再生ボタンを押すと

コンパクトコンポ：電源が入り、ビデオの音声を出力します。
テレビ　　　　　：電源が入り、ビデオの映像を出力します。

（本機背面）

長時間のBS番組をタイマー録画する
BSリレーREC

ＢＳチューナーを独立に使用し、長時間のＢＳ番組を２台のビデオでリレー録画します。

1 本機のタイマー予約を設定する

●番組の終わりの時刻をタイマー終了時刻にします。

2 他機のタイマー予約を設定する

●本機のテープがなくなる時刻から番組終了時刻まで設定します。
●外部入力にします。

3 本機、他機ともタイマースタンバイにする

［設定完了］

BSリレーRECのしくみ

〈例〉120分テープを2本使用して衛星放送の番組を3倍モードで12時間録画する場合

チャンネル：BS 11
開始時刻：午前 10:00
終了時刻：午後 10:00

午前10:00　午後10:00
本機の予約
BSチューナーの電源は、番組の終わり（終了時刻）まで切れません。

午前10:00　テープ終了
本機の録画　録画
テープがなくなると録画は終了します。
↓ リレー
午後4:00
他機の録画　タイマースタンバイ　録画
本機の録画終了後、録画を始めます。

●他機で録画中に本機を操作しないでください。
●他機のタイマー録画のしかたは、他機の取扱説明書をご覧ください。
●本機のテープがなくなると、タイマーランプと本体表示窓のBS表示が点滅し、テープが出てきます。
●番組の終わり（終了時刻）になると、本機のタイマーランプと本体表示窓の[○○]表示が点滅します。タイマーボタンを押すと点滅は解除します。
●ワイドテレビをお持ちのかたへ
BS9チャンネルを録画中にリレーすると、他機のビデオに16:9の信号を出力しません。BSリレーREC終了後、テープを再生して見る場合は、テレビ側でお好みの画面サイズに切り換えてください。

準備編

ドア内右側

BSオレンジボタン

本体右側

表面

オートチャンネル設定

本機は、チャンネルを自動的に設定します。
BSアンテナを接続していれば、BS番組も自動的に設定します。
また、C13(63)～C41(91)のCATVチャンネルも受信できます。
CATVをご覧になるには、使用する機器ごとに受信契約が必要です。

準備

- 18 19 ページをご覧いただき、テレビにビデオの画面が映るようにしてください。
- BS番組だけのオートチャンネル設定を行う場合は、BSオレンジボタンを押してBSチャンネルを表示させてから1の操作をします。

1 本体の **チャンネル合わせボタン**を押す

- チャンネル合わせ画面を表示します。

テレビ画面

＊ チャンネル合わせ ＊
記憶／スキップ／表示変更／微調整
オートチャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
▶操作ボタン◀
◆選択 [ー／＋]
＊実行 [送り]
＊終了 [チャンネル合わせ]

2 **合わせー/＋ボタン**で、**オートチャンネル合わせ**を選ぶ

3 **送りボタン**を押す

- 選局が始まり、放送のあるチャンネルを自動的に記憶します。
- 終了すると、一番小さい数字のチャンネルが映ります。
- 選局中、本体表示窓にも受信チャンネルが表示されます。

＊ オートチャンネル合わせ ＊
チャンネル表示 1CH
受信チャンネル 1
オートチャンネル合わせ実行中

4 **ビデオチャンネル切換ボタン**で、選局されたチャンネルを確認する

- 不要なチャンネルを飛ばすとき→ 29 ページ参照
- チャンネル表示の変更 → 30 ページ参照
- きれいに映らないとき → 31 ページ参照

メモ

- Gコード予約をするかたは、34～37 ページをご覧いただき、必要に応じてガイドチャンネル設定をしてください。
- スクランブル方式など有料のCATVの場合は、受信契約に加え、ホームターミナル(アダプター)の使用が必要になります。詳しくは、CATV関係各社にお問い合わせください。
- CATVは、サービスの行われている地域のみ受信できます。
- CATVチャンネルのC36(86)～C41(91)は、多少映りが悪いことがあります。

本体右側

記憶ボタン 4

1,5 3 2

不要なチャンネルを飛ばす
チャンネルスキップ

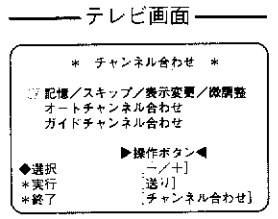
チャンネルのスキップ設定をすると、ビデオチャンネル切換ボタンの選局操作が早く行えます。

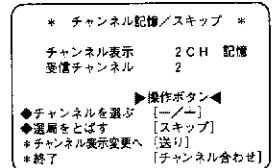
準備 18 19 ページをご覧いただき、テレビにビデオの画面が映るようにしてください。

――テレビ画面――

* チャンネル合わせ *
記憶／スキップ／表示変更／微調整
オートチャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
▶操作ボタン◀
◆選択 [－／＋]
*実行 [送り]
*終了 [チャンネル合わせ]

1 本体のチャンネル合わせボタンを押す

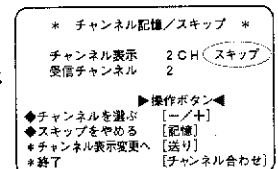
●チャンネル合わせ画面を表示します。

2 送りボタンを押す

●チャンネル記憶/スキップ画面を表示します。

3 合わせー/十ボタンで、飛ばしたいチャンネルを選ぶ

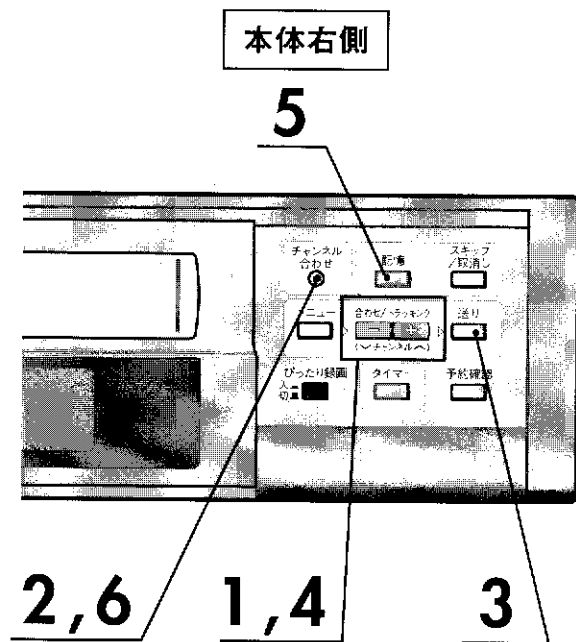
●テレビ画面が見づらいときは、本体表示窓をご覧ください。

4 スキップボタンを押す

＊ チャンネル記憶／スキップ ＊
チャンネル表示 2CH スキップ
受信チャンネル 2
▶操作ボタン◀
◆チャンネルを選ぶ [－／＋]
◆スキップをやめる [記憶]
＊チャンネル表示変更へ [送り]
＊終了 [チャンネル合わせ]

●「スキップ」が表示されると、チャンネルがスキップ設定されました。
本体表示窓では、「：」を表示します。
●スキップボタンを1秒以上押し続けると、表示しているチャンネルをスキップ設定してから、次に記憶しているチャンネルを呼び出します。
●表示しているチャンネルを記憶したまま次に記憶しているチャンネルを呼び出すときは、記憶ボタンを1秒以上押します。
●他にも飛ばしたいチャンネルがあるときは、3、4の操作を繰り返します。

5 チャンネル合わせボタンを押す

●設定が完了し、テレビ番組画面に戻ります。

●誤ってチャンネルを飛ばしたときに再び記憶するには、3の操作で記憶したいチャンネルに合わせ、記憶ボタンを押します。
「記憶」が表示されると設定完了です。
●オートチャンネル設定以外にも特定のチャンネルを受信したいときは記憶を行ってください。

チャンネルの表示を変更する

例　テレビ神奈川（42チャンネル）のチャンネル表示を5にする

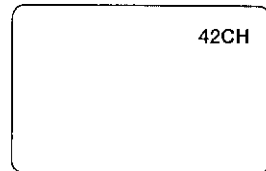
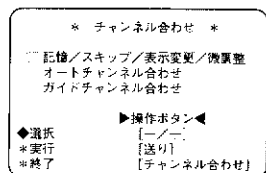
準備　18 19 ページをご覧いただき、テレビにビデオの画面が映るようにしてください。

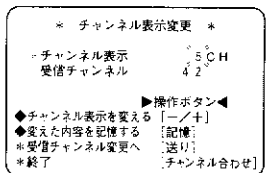
―テレビ画面―

42CH

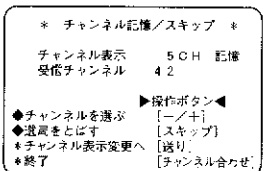
1 **合わせ－/＋ボタン**で、変更したいチャンネルを選ぶ

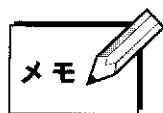
2 本体の**チャンネル合わせボタン**を押す
●チャンネル合わせ画面を表示します。

＊ チャンネル合わせ ＊
記憶／スキップ／表示変更／微調整
オートチャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
▶操作ボタン◀
◆選択 [－／－]
＊実行 [送り]
＊終了 [チャンネル合わせ]

3 **送りボタン**を**2回**押す
●チャンネル表示変更画面を表示し、チャンネル表示が点滅します。

＊ チャンネル表示変更 ＊
チャンネル表示 5CH
受信チャンネル 42
▶操作ボタン◀
◆チャンネル表示を変える [－／＋]
◆変えた内容を記憶する [記憶]
＊受信チャンネル変更へ [送り]
＊終了 [チャンネル合わせ]

4 **合わせ－/＋ボタン**を**5CH**が表示されるまで押す
●押し続けると早く変わります。

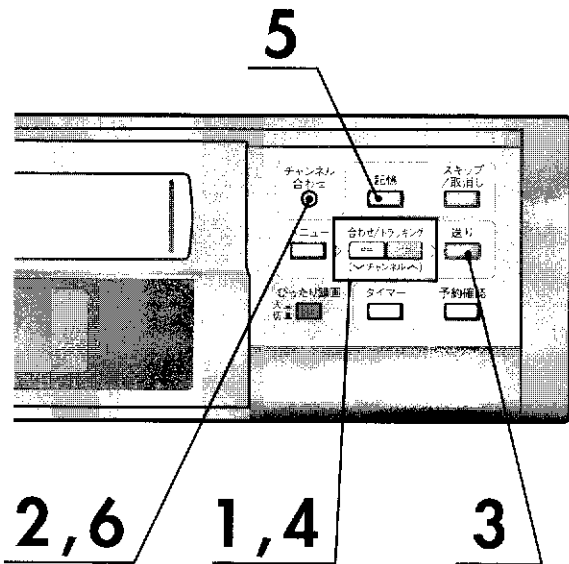
5 **記憶ボタン**を押す
●チャンネル表示が変更され、チャンネル記憶/スキップ画面に戻ります。

＊ チャンネル記憶／スキップ ＊
チャンネル表示 5CH 記憶
受信チャンネル 42
▶操作ボタン◀
◆チャンネルを選ぶ [－／＋]
◆選局をとばす [スキップ]
＊チャンネル表示変更へ [送り]
＊終了 [チャンネル合わせ]

6 **チャンネル合わせボタン**を押す
●設定が完了し、テレビ番組画面に戻ります。
●他にもチャンネル表示を変更したいときは、1～6を繰り返します。

■チャンネル表示を元の設定に戻すには、28 ページのオートチャンネル設定をしてください。（微調整したチャンネルも元の設定に戻ります。）

●タイマー予約をするときは、チャンネル表示の数字で予約します。
●チャンネル表示を変更したときは、ガイドチャンネル設定をしてください。（34～37 ページ参照）

本体右側

5

2,6　1,4　3

チャンネルの微調整をする

受信したチャンネルが白黒画面のときや、しま模様の画面になっているときは微調整が必要です。
また、すでにテレビ側で受信しているチャンネルが、ビデオのオートチャンネル設定で見つからないときは、下の設定を行い登録します。

準備 18 19 ページをご覧いただき、テレビにビデオの画面が映るようにしてください。

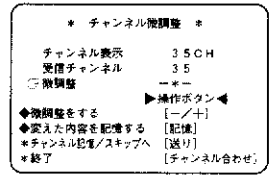
本体表示窓

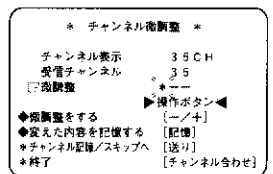
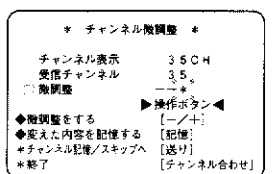
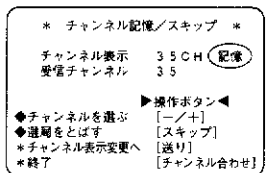
1 **合わせー/+ボタン**で、微調整したいチャンネルを選ぶ

テレビ画面

2 本体の**チャンネル合わせボタン**を押す
●チャンネル合わせ画面を表示します。

3 **送りボタン**を**4回**押す
●チャンネル微調整画面を表示します。

しま模様画面のとき

白黒画面のとき

4 **合わせー/+ボタン**で微調整する
●しま模様の画面のときは、合わせ(ー)ボタンを押します。
●白黒画面のときは、合わせ(+)ボタンを押します。
●調整前の状態に戻したいときは、合わせ(ー)と(+)ボタンを同時に押します。

5 **記憶ボタン**を押す
●「記憶」を表示します。

6 **チャンネル合わせボタン**を押す
●設定が完了し、テレビ番組画面に戻ります。
●他にも微調整したいチャンネルがあるときは、1~6を繰り返します。

時計合わせ

時計を合わせ直すには

例：分を合わせ直す

1. 時計合わせボタンを押す

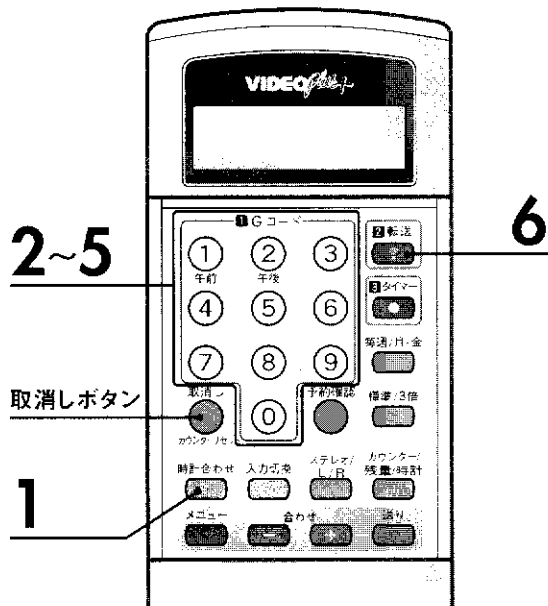
1分以内

2. 数字ボタンで分を入力する

時間の時も合わせ直すときは、取消しボタンを押したあと4、5の操作をします。

3. 時計合わせボタンを押す

時計が動き始めます。
本体の時計も同時に合わせたいときは、時計合わせボタンの代わりに転送ボタンを押します。

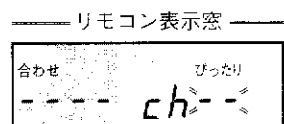
- 時計を正確に合わせたいときは、6の操作で時報（☎117）に合わせて転送ボタンを押してください。
- リモコンの時計だけをスタートさせるときは、6の操作で転送ボタンの代わりに時計合わせボタンを押してください。
- 設定中にまちがえて入力したときは取消しボタンを押し、もう一度数字ボタンで入力してください。

リモコンと本体の時計を合わせる

リモコンの時計を合わせ、本体へ転送します。本体の時計を合わせることなく、リモコンと本体の時計が自動的に動き始めます。
時計は12時間（午前・午後）方式です。

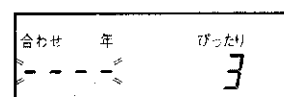
準備 本体の受信チャンネルを設定していないかたは、28～31ページをご覧いただき設定してください。

例 1995年12月24日 午後3時35分、ぴったりクロックのチャンネルを3（関東地区）に合わせるとき

1 時計合わせ開始
時計合わせボタンを押す

リモコン表示窓：合わせ　ぴったり　---- ch--

ぴったりチャンネルの入力

2 **数字ボタン**を押す
- NHK教育テレビのチャンネルを入力します。
- 1ケタの場合は0を先に押します。

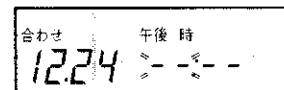
表示窓：合わせ　年　ぴったり　----　3

年/月/日の入力

3 点滅する順番に
数字ボタンを押す
- 年→月→日の順番に合わせます。
- 年は西暦（4ケタ）で入力します。
- 1ケタの場合は0を先に押します。

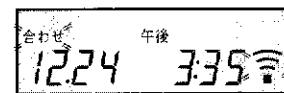
表示窓：合わせ　年　ぴったり　1995　3
表示窓：合わせ　午前午後　時　12.24　--:--

午前/午後の入力

4 午前：**数字ボタンの1**を押す
午後：**数字ボタンの2**を押す
- 正午は午後0：00、深夜0時は午前0：00です。

表示窓：合わせ　午後　時　12.24　--:--

時間（時/分）の入力

5 点滅する順番に
数字ボタンを押す
- 時→分の順番に合わせます。
- 1ケタの場合は0を先に押します。

表示窓：合わせ　午後　12.24　3:35

6 本体に向けて**転送ボタン**を押す
- 本体に時計が転送され、正しく受け取ると「ピー」と音が鳴り、リモコンと本体の時計が同時に動き始めます。
- ブザー音（ピー音）を出したくないときは、52ページをご覧ください。

裏面

1~5

本体右側

1～5

ぴったりクロックについて

- 自動的にテレビ放送局の時報で時計を修正してくれる機能です。
  NHK教育テレビの時報で1日3回（7、12、19時）時計を修正します。
- ビデオ使用中や、現在時刻とのずれが±3分以上あるときは働きません。
- 音楽入りの時報では機能しないことがあります。
- NHK教育テレビのチャンネルは地域によって異なります。新聞などでご確認の上チャンネルを設定してください。

画面表示で時計を合わせる

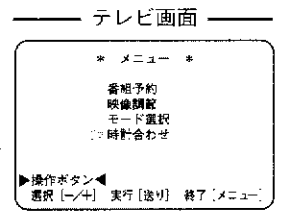
メニュー画面の時計合わせモードを使って本体の時計を合わせることができます。時計は12時間（午前・午後）方式です。

準備 18 19 ページをご覧いただき、テレビにビデオの画面が映るようにしてください。

例 1995年12月24日 午後3時35分、ぴったりクロックのチャンネルを12（関西地区）に合わせるとき

テレビ画面

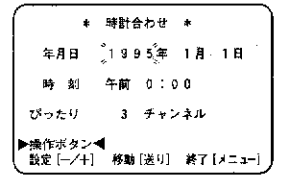
1

1 メニューボタンを押す
- メニュー画面を表示します。

2 合わせー/十ボタンで時計合わせを選ぶ

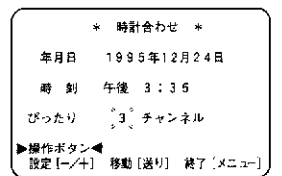
2

送りボタンを押す
- 時計合わせ画面を表示します。

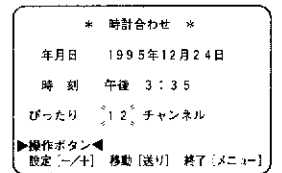
10秒以内

3

1 合わせー/十ボタンで年を合わせる

2 送りボタンを押す
- 同じように、月→日→時→分の順番に合わせます。
- 時・分を合わせるときは、合わせー/十ボタンを押し続けると30分刻み、1回ずつ押すと1分刻みで変わります。

4

合わせー/十ボタンでぴったりクロックのチャンネルを合わせる
- NHK教育テレビのチャンネルに合わせます。

NHK教育テレビが3チャンネルの地域では特に合わせる必要はありません。

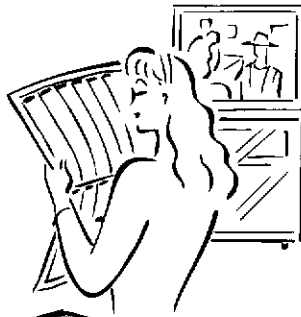
5

メニューボタンを押す
- 時計が動き始め、テレビ番組画面に戻ります。
- 正確に合わせたいときは、時報（☎117）に合わせてメニューボタンを押してください。

■途中で修正するときは、送りボタンで点滅部分を移動させ、合わせー/十ボタンで修正します。

■30分以上の停電があると、本体表示窓が 0:00 で点滅します。再度、時計合わせをしてください。

準備編

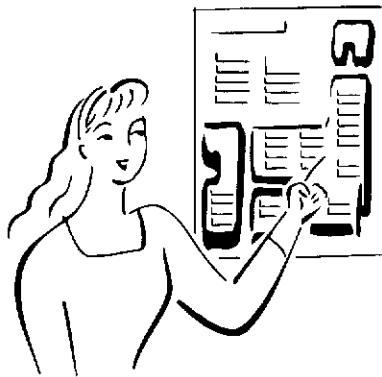
Gコードを使ってタイマー予約する前の準備

Gコード予約を正しく働かせるために、ガイドチャンネル設定をします。
ガイドチャンネルとは、Gコード予約で放送局を正しく受信するために付けられた、その放送局専用の番号です。実際のチャンネルとは異なる場合がありますのでご注意ください。

次のような放送局（チャンネル）は、ガイドチャンネル設定の操作は不要です。
- ビデオのチャンネルが「NHK総合=1、NHK教育=3」で受信している場合（東京近郊）
- チャンネル表示とガイドチャンネルの数字が同じ場合
- BS番組を受信している場合
  （CATVなどでBS番組を受信している場合は設定が必要です。）

28～31 ページの受信チャンネル設定終了後

1 ビデオで受信できる放送局名を調べて、4の表に記入する

●例えば、大阪市なら9つです。

NHK総合	毎日放送	朝日放送
関西テレビ	読売テレビ	NHK教育
テレビ大阪	京都テレビ	サンテレビ

2 本体表示窓に表示される各放送局のチャンネルを調べて、4の表に記入する

NHK総合=2　　NHK教育=12
毎日放送=4　　テレビ大阪=19
朝日放送=6　　京都テレビ=34
関西テレビ=8　　サンテレビ=36
読売テレビ=10

3 各放送局のガイドチャンネルを一覧表（37ページ参照）から調べて、4の表に記入する

●ガイドチャンネル一覧表から

放送局	ガイドチャンネル
NHK総合	80
毎日放送	4
朝日放送	6
関西テレビ	8
読売テレビ	10

放送局	ガイドチャンネル
NHK教育	90
テレビ大阪	19
京都テレビ	34
サンテレビ	36

(例) 大阪市の場合

	1 から放送局名	2 からチャンネル表示	3 からガイドチャンネル
✓	NHK総合	2	80
	毎日放送	4	4
	朝日放送	6	6

4

あなたのお住まいの地区に合わせて表をつくる

1 から放送局名	2 からチャンネル表示	3 からガイドチャンネル

5

上の表より、チャンネル表示とガイドチャンネルが違っている放送局を本体に記憶する
(36 ページ参照)

●違っているところに✓印を入れます。

> チャンネル表示とガイドチャンネルの数字が同じ場合は、本体に記憶する必要はありません。
> ただし、ビデオチャンネルの1と3がNHK総合／教育でない場合は、ガイドチャンネル設定が必要です。

メモ

●引っ越しして受信するチャンネルが変わったときは、ガイドチャンネル設定をしてください。
●Gコード予約をされない方は、ガイドチャンネル設定の必要はありません。

準備編

Gコード予約の準備（ガイドチャンネル設定）つづき

ガイドチャンネルを本体に記憶する

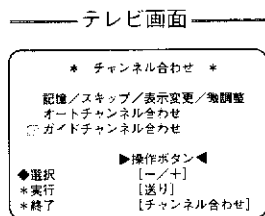
例　NHK総合テレビのガイドチャンネル（80）を記憶する場合（大阪市）

準備
①34ページの1〜3を行い、表を作成します。
②18 19ページをご覧いただき、テレビにビデオの画面が映るようにしてください。

1 本体の**チャンネル合わせボタン**を押す

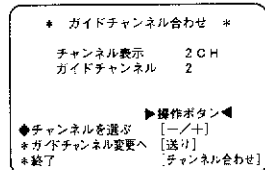
●チャンネル合わせ画面を表示します。

―― テレビ画面 ――

* チャンネル合わせ *
記憶／スキップ／表示変更／微調整
オートチャンネル合わせ
☞ガイドチャンネル合わせ
▶操作ボタン◀
◆選択 [－／＋]
*実行 [送り]
*終了 [チャンネル合わせ]

2 **合わせ－／＋ボタン**で ガイドチャンネル合わせを選ぶ

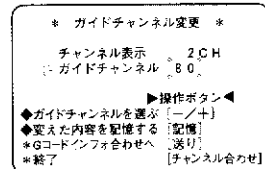
3 **送りボタン**を1回押す

●ガイドチャンネル合わせ画面を表示します。

* ガイドチャンネル合わせ *
チャンネル表示 2CH
ガイドチャンネル 2
▶操作ボタン◀
◆チャンネルを選ぶ [－／＋]
*ガイドチャンネル変更へ [送り]
*終了 [チャンネル合わせ]

4 **合わせ－／＋ボタン**で 記憶するチャンネル（NHK総合）を選ぶ

5 **送りボタン**を1回押す

●ガイドチャンネル変更画面を表示します。

* ガイドチャンネル変更 *
チャンネル表示 2CH
☞ガイドチャンネル 80
▶操作ボタン◀
◆ガイドチャンネルを選ぶ [－／＋]
◆変えた内容を記憶する [記憶]
*Gコードインフォ合わせへ [送り]
*終了 [チャンネル合わせ]

6 **合わせ－／＋ボタン**で 記憶するガイドチャンネル（80）に合わせる

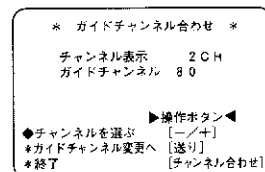
7 **記憶ボタン**を押す

●他にも記憶するチャンネルがあるときは、4〜7を繰り返します。

* ガイドチャンネル合わせ *
チャンネル表示 2CH
ガイドチャンネル 80
▶操作ボタン◀
◆チャンネルを選ぶ [－／＋]
*ガイドチャンネル変更へ [送り]
*終了 [チャンネル合わせ]

8 **チャンネル合わせボタン**を押す

●設定が完了し、テレビ番組画面に戻ります。

メモ

●CATVなどでBS番組を外部入力録画している方へ
4の操作で、入力切換ボタン（ドア内中央）を押してチャンネル表示を「ビデオ1（またはビデオ2、ムービー）」にします。そのあと、5〜8の操作をします。
（例）NHK衛星第1のガイドチャンネルを記憶する
チャンネル表示：ビデオ1
ガイドチャンネル：74
操作手順は右と同じです。4と6の操作のみ下のように行ってください。
4の操作で、入力切換ボタンを押してチャンネル表示を「ビデオ1」にします。
6の操作で、ガイドチャンネルを「74」にします。
●テレビに「Gコードインフォ合わせ」画面が表示されたときは、チャンネル合わせボタンを押してテレビ番組画面に戻し、1〜8の操作をやり直してください。
Gコードインフォについては、38ページをご覧ください。

ガイドチャンネル一覧表

右の数字がガイドチャンネルです。(1995年4月現在)

地域	局名	ch
全国共通	NHK総合	80
	NHK教育	90
	BS1	71
	BS3	72
	BS5 WOWOW	73
	BS7 NHK衛星第1	74
	BS9 ハイビジョン放送	75
	BS11 NHK衛星第2	76
	BS13	77
	BS15	78

地域	局名	ch
CS放送	CNN	81
	MTV	82
	スター・チャンネル	83
	スペースシャワーTV	84
	スポーツ・アイ	85
	衛星劇場	86
	GAORA(ガオラ)	87
	LET's TRY	88
	スカイ・A	89
	BBC	91
	朝日ニュースター	99

地域	局名	ch
北海道	北海道放送 (HBC)	1
	札幌テレビ (STV)	5
	テレビ北海道 (TVH)	17
	北海道文化 (UHB)	27
	北海道テレビ (HTB)	35

地域	局名	ch
岡山	西日本放送 (RNC)	9
	山陽放送 (RSK)	11
	テレビせとうち(TSC)	23
	瀬戸内海放送 (KSB)	33
	岡山放送 (OHK)	35
広島	中国放送 (RCC)	4
	広島テレビ (HTV)	12
	テレビ新広島 (TSS)	31
	広島ホーム (HOME)	35
鳥取・島根	日本海テレビ (NKT)	1
	山陰放送 (BSS)	10
	山陰中央 (TSK)	34
山口	山口放送 (KRY)	11
	山口朝日 (YAB)	28
	テレビ山口 (TYS)	38

地域	局名	ch
新潟	新潟放送 (BSN)	5
	新潟テレビ21 (NT21)	21
	テレビ新潟 (TNN)	29
	新潟総合 (NST)	35
富山	北日本放送 (KNB)	1
	テレビュー富山(TUT)	32
	富山テレビ (T34)	34
石川	北陸放送 (MRO)	6
	北陸朝日 (HAB)	25
	テレビ金沢 (KTK)	33
	石川テレビ (ITC)	37
福井	福井放送 (FBC)	11
	福井テレビ (FTB)	39

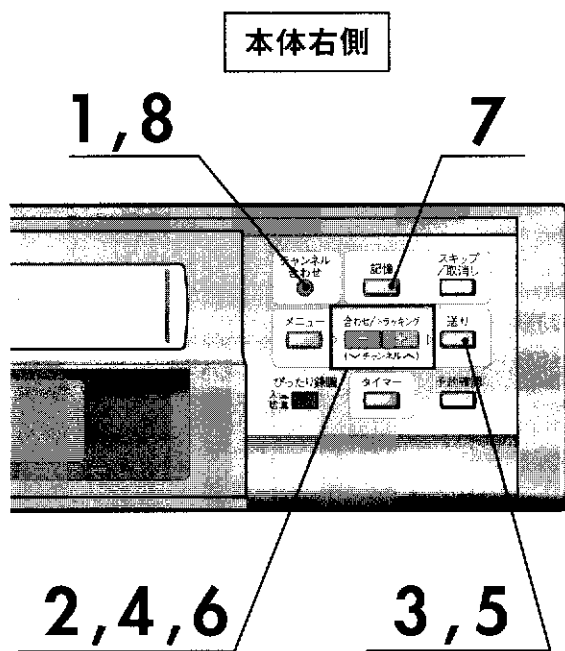
地域	局名	ch
青森	青森放送 (RAB)	1
	青森朝日 (ABA)	34
	青森テレビ (ATV)	38
岩手	岩手放送 (IBC)	6
	めんこい (MIT)	33
	テレビ岩手 (TVI)	35
秋田	秋田放送 (ABS)	11
	秋田朝日 (AAB)	31
	秋田テレビ (AKT)	37
宮城	東北放送 (TBC)	1
	仙台放送 (OX)	12
	東日本放送 (KHB)	32
	宮城テレビ (MMT)	34
山形	山形放送 (YBC)	10
	テレビュー山形(TUY)	36
	山形テレビ (YTS)	38
福島	福島テレビ (FTV)	11
	テレビュー福島(TUF)	31
	福島中央 (FCT)	33
	福島放送 (KFB)	35

地域	局名	ch
関西	毎日放送 (MBS)	4
	朝日放送 (ABC)	6
	関西テレビ (KTV)	8
	読売テレビ (YTV)	10
	テレビ大阪 (TVO)	19
	テレビ和歌山(WTV)	30
	びわ湖放送 (BBC)	30
	近畿放送(京都テレビ)(KBS)	34
	サンテレビ (SUN)	36
	奈良テレビ (TVN)	55

地域	局名	ch
関東	日本テレビ (NTV)	4
	東京放送 (TBS)	6
	フジテレビ (CX)	8
	テレビ朝日 (ANB)	10
	テレビ東京 (TX)	12
	放送大学	16
	テレビ埼玉 (TVS)	38
	テレビ神奈川 (TVK)	42
	千葉テレビ (CTC)	46
	群馬テレビ (GTV)	48

地域	局名	ch
福岡	九州朝日放送 (KBC)	1
	RKB毎日 (RKB)	4
	テレビ西日本 (TNC)	9
	TXN九州 (TVQ)	19
	福岡放送 (FBS)	37
大分	大分放送 (OBS)	5
	大分朝日 (OAB)	24
	テレビ大分 (TOS)	36
佐賀	サガテレビ (STS)	36
長崎	長崎放送 (NBC)	5
	長崎国際 (NIB)	25
	長崎文化 (NCC)	27
	テレビ長崎 (KTN)	37
熊本	熊本放送 (RKK)	11
	熊本朝日 (KAB)	16
	熊本県民 (KKT)	22
	テレビ熊本 (TKU)	34
宮崎	宮崎放送 (MRT)	10
	テレビ宮崎 (UMK)	35
鹿児島	南日本放送 (MBC)	1
	鹿児島読売テレビ(KYT)	30
	鹿児島放送 (KKB)	32
	鹿児島テレビ (KTS)	38
沖縄	沖縄テレビ (OTV)	8
	琉球放送 (RBC)	10

地域	局名	ch
香川	西日本放送 (RNC)	9
	山陽放送 (RSK)	11
	テレビせとうち(TSC)	23
	瀬戸内海放送 (KSB)	33
	岡山放送 (OHK)	35
愛媛	南海放送 (RNB)	10
	愛媛朝日 (EAT)	25
	伊予テレビ (ITV)	29
	愛媛放送 (EBC)	37
徳島	四国放送 (JRT)	1
高知	高知放送 (RKC)	8
	テレビ高知 (KUTV)	38

地域	局名	ch
長野	信越放送 (SBC)	11
	長野朝日 (ABN)	20
	テレビ信州 (TSB)	30
	長野放送 (NBS)	38
山梨	山梨放送 (YBS)	5
	テレビ山梨 (UTY)	37
静岡	静岡放送 (SBS)	11
	静岡第一 (SDT)	31
	静岡朝日テレビ(SATV)	33
	テレビ静岡 (SUT)	35
中京	東海テレビ (THK)	1
	中部日本放送 (CBC)	5
	名古屋テレビ (NBN)	11
	テレビ愛知 (TVA)	25
	三重テレビ (MTV)	33
	中京テレビ (CTV)	35
	岐阜放送 (GBS)	37

Gコードインフォのガイドチャンネルを本体に記憶する

Gコードインフォとは、「0」から始まるGコードを使って録画予約するシステムです。比較的短い時間の録画予約に使用されます。録画予約の方法はGコード予約(52ページ参照)と同じです。

Gコードインフォのサービスが始まるまで使用できません。

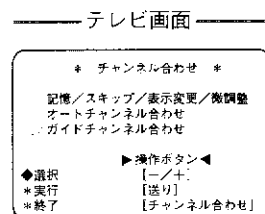
例 テレビ大阪(19チャンネル)のGコードインフォのガイドチャンネル(106)を記憶する場合(関西地区)

準備 18 19 ページをご覧いただき、テレビにビデオの画面が映るようにしてください。

1 本体の**チャンネル合わせボタン**を押す

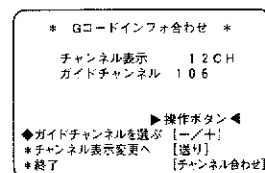
●チャンネル合わせ画面を表示します。

テレビ画面

＊ チャンネル合わせ ＊
記憶／スキップ／表示変更／微調整
オートチャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
▶操作ボタン◀
◆選択 [－／＋]
＊実行 [送り]
＊終了 [チャンネル合わせ]

2 **合わせ－／＋ボタン**で ガイドチャンネル合わせを選ぶ

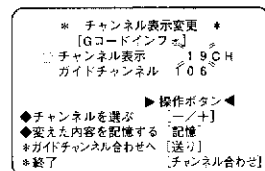
3 **送りボタン**を**3回**押す

●Gコードインフォ合わせ画面を表示します。

＊ Gコードインフォ合わせ ＊
チャンネル表示 12CH
ガイドチャンネル 106
▶操作ボタン◀
◆ガイドチャンネルを選ぶ [－／＋]
＊チャンネル表示変更へ [送り]
＊終了 [チャンネル合わせ]

4 **合わせ－／＋ボタン**で 記憶するガイドチャンネル(106)を選ぶ

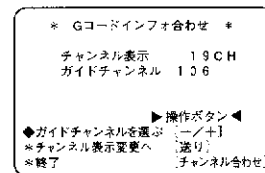
5 **送りボタン**を**1回**押す

●チャンネル表示変更画面を表示します。

＊ チャンネル表示変更 ＊
[Gコードインフォ]
チャンネル表示 19CH
ガイドチャンネル 106
▶操作ボタン◀
◆チャンネルを選ぶ [－／＋]
◆変えた内容を記憶する [記憶]
＊ガイドチャンネル合わせへ [送り]
＊終了 [チャンネル合わせ]

6 **合わせ－／＋ボタン**で 記憶するチャンネル(19)に合わせる

7 **記憶ボタン**を押す

●他にも記憶するチャンネルがあるときは、4~7を繰り返します。

＊ Gコードインフォ合わせ ＊
チャンネル表示 19CH
ガイドチャンネル 106
▶操作ボタン◀
◆ガイドチャンネルを選ぶ [－／＋]
＊チャンネル表示変更へ [送り]
＊終了 [チャンネル合わせ]

8 **チャンネル合わせボタン**を押す

●設定が完了し、テレビ番組画面に戻ります。

地域別民放ネットワークのガイドチャンネル一覧表

民放ネットワーク	ガイドチャンネル
TBSテレビ（JNN）	102
日本テレビ（NNN）	103
フジテレビ（FNN）	104
テレビ朝日（ANN）	105
テレビ東京（TXN）	106

地域	放送局	ガイドチャンネル
北海道	北海道放送（HBC）	102
	札幌テレビ（STV）	103
	北海道文化（UHB）	104
	北海道テレビ（HTB）	105
	テレビ北海道（TVH）	106
青森	青森テレビ（ATV）	102
	青森放送（RAB）	103
	青森朝日（ABA）	105
岩手	岩手放送（IBC）	102
	テレビ岩手（TVI）	103
	めんこい（MIT）	104
秋田	秋田放送（ABS）	103
	秋田テレビ（AKT）	104
	秋田朝日（AAB）	105
宮城	東北放送（TBC）	102
	宮城テレビ（MMT）	103
	仙台放送（OX）	104
	東日本放送（KHB）	105
山形	テレビュー山形（TUY）	102
	山形放送（YBC）	103
	山形テレビ（YTS）	105
福島	テレビュー福島（TUF）	102
	福島中央（FCT）	103
	福島テレビ（FTV）	104
	福島放送（KFB）	105
関東	東京放送（TBS）	102
	日本テレビ（NTV）	103
	フジテレビ（CX）	104
	テレビ朝日（ANB）	105
	テレビ東京（TX）	106
新潟	新潟放送（BSN）	102
	テレビ新潟（TNN）	103
	新潟総合（NST）	104
	新潟テレビ21（NT21）	105
富山	テレビュー富山（TUT）	102
	北日本放送（KNB）	103
	富山テレビ（T34）	104
石川	北陸放送（MRO）	102
	テレビ金沢（KTK）	103
	石川テレビ（ITC）	104
	北陸朝日（HAB）	105
福井	福井放送（FBC）	103
	福井テレビ（FTB）	104
	福井放送（FBC）	105
長野	信越放送（SBC）	102
	テレビ信州（TSB）	103
	長野放送（NBS）	104
	長野朝日（ABN）	105
山梨	テレビ山梨（UTY）	102
	山梨放送（YBS）	103
静岡	静岡放送（SBS）	102
	静岡第一（SDT）	103
	テレビ静岡（SUT）	104
	静岡朝日テレビ（SATV）	105
愛知・岐阜・三重	中部日本放送（CBC）	102
	中京テレビ（CTV）	103
	東海テレビ（THK）	104
	名古屋テレビ（NBN）	105
	テレビ愛知（TVA）	106
関西	毎日放送（MBS）	102
	読売テレビ（YTV）	103
	関西テレビ（KTV）	104
	朝日放送（ABC）	105
	テレビ大阪（TVO）	106
岡山	山陽放送（RSK）	102
	西日本放送（RNC）	103
	岡山放送（OHK）	104
	瀬戸内海放送（KSB）	105
	テレビせとうち（TSC）	106
広島	中国放送（RCC）	102
	広島テレビ（HTV）	103
	テレビ新広島（TSS）	104
	広島ホーム（HOME）	105
鳥取・島根	山陰放送（BSS）	102
	日本海テレビ（NKT）	103
	山陰中央（TSK）	104
山口	テレビ山口（TYS）	102
	山口放送（KRY）	103
	山口朝日（YAB）	105
香川	山陽放送（RSK）	102
	西日本放送（RNC）	103
	岡山放送（OHK）	104
	瀬戸内海放送（KSB）	105
	テレビせとうち（TSC）	106
愛媛	伊予テレビ（ITV）	102
	南海放送（RNB）	103
	愛媛放送（EBC）	104
	愛媛朝日（EAT）	105
徳島	毎日放送	102
	四国放送（JRT）	103
	関西テレビ	104
	朝日放送	105
高知	テレビ高知（KUTV）	102
	高知放送（RKC）	103
福岡	RKB毎日（RKB）	102
	福岡放送（FBS）	103
	テレビ西日本（TNC）	104
	九州朝日放送（KBC）	105
	TXN九州（TVQ）	106
大分	大分放送（OBS）	102
	テレビ大分（TOS）	103
	テレビ大分（TOS）	104
	大分朝日（OAB）	105
佐賀	熊本放送（RKK）	102
	サガテレビ（STS）	104
長崎	長崎放送（NBC）	102
	長崎国際（NIB）	103
	テレビ長崎（KTN）	104
	長崎文化（NCC）	105
熊本	熊本放送（RKK）	102
	熊本県民（KKT）	103
	テレビ熊本（TKU）	104
	熊本朝日（KAB）	105
宮崎	宮崎放送（MRT）	102
	テレビ宮崎（UMK）	103
	テレビ宮崎（UMK）	104
	テレビ宮崎（UMK）	105
鹿児島	南日本放送（MBC）	102
	鹿児島読売テレビ（KYT）	103
	鹿児島テレビ（KTS）	104
	鹿児島放送（KKB）	105
沖縄	琉球放送（RBC）	102
	沖縄テレビ（OTV）	104

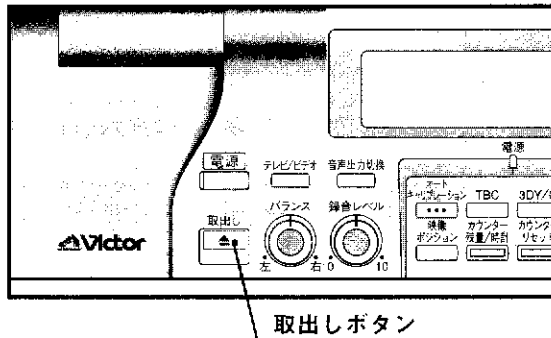
（1995年4月現在）

カセットの出し入れ

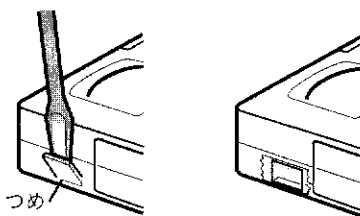
カセットの入れかた

テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押す

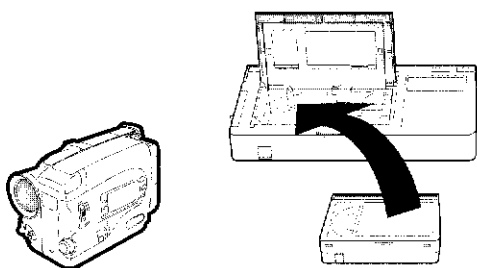
●電源が入ります。(オートパワーオン)
●カウンターが0.00.00になります。(オートカウンターリセット)
●つめのないカセットを入れると、自動的に再生を始めます。(オートプレイ)

カセットの出しかた

取出しボタンを押す

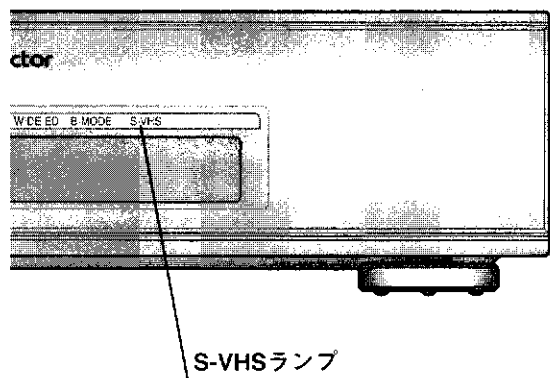
●タイマースタンバイ(タイマーランプ点灯)中は、テープを取り出すことはできません。タイマーボタン(本体右側)を押してランプを消灯してから、取り出してください。
●カセットの出し入れ口には、手や異物を入れないでください。特に小さなお子様にはご注意ください。
●**テープを入れたらつまってしまい、数秒後にテープが自動的に出てきたときは**
テープを斜めに入れるなど、入れかたによっては内部の保護回路が働きテープが自動的に出てきます。このようなときは、数秒待ち、もう一度正しく入れ直してください。

大切な記録を消さないために

つめ(誤消去防止用)を折って、取り除いてください。

●ふたたび録画したいときは、セロハンテープを2重に貼ってください。

ビデオムービーで録画した VHS C テープを見るには

別売のVHSカセットアダプターC-P6をご使用ください。

ビデオとテープの互換性について

S-VHS 録画する

S−VHSテープを入れると、自動的にS−VHS録画をします。
本体のS−VHSランプが点灯していることを確認してください。

使用テープと録画方式

使用テープ	録画方式	S−VHSランプ	操作方法
S−VHS	S−VHS	S−VHS 点灯	S−VHSテープを入れると、S−VHS録画ができます。
	VHS	S−VHS 消灯	モード選択画面のS−VHS記録を**切**にします。（15 ページ参照）
VHS	VHS	S−VHS 消灯	S−VHS録画はできません。

ビデオとテープの互換性について

録画時

録画用S−VHSテープ → 本機（S−VHS方式） → オート → 録画後 S−VHS録画

切 → VHS録画

モード選択画面のS−VHS記録で選択（15 ページ参照）

録画用VHSテープ → 本機（S−VHS方式） → VHS録画

自動的にVHS録画

再生時

録画済S−VHSテープ / 録画済VHSテープ → 本機またはSQPB(S−VHS簡易再生機能)付ビデオ

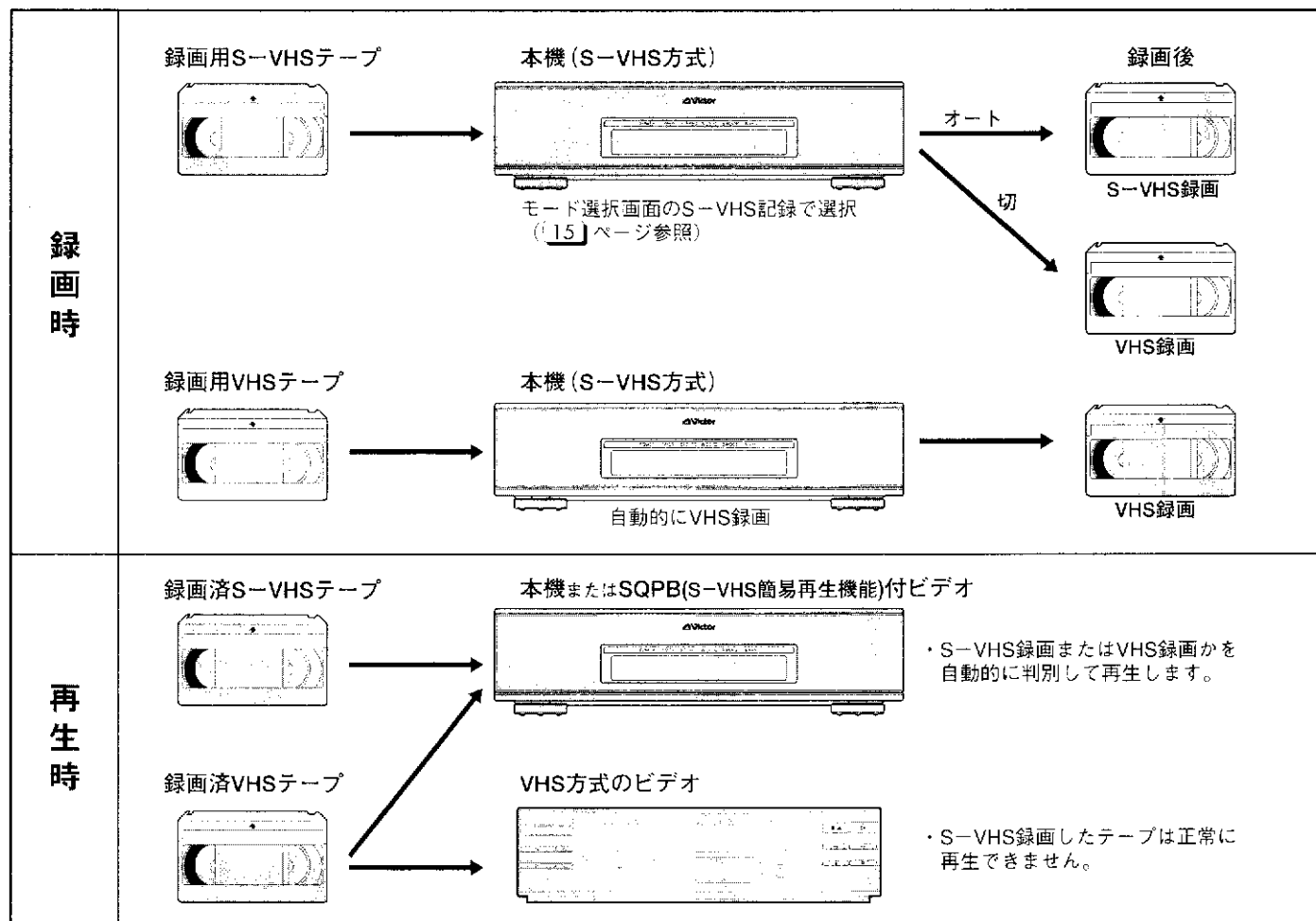
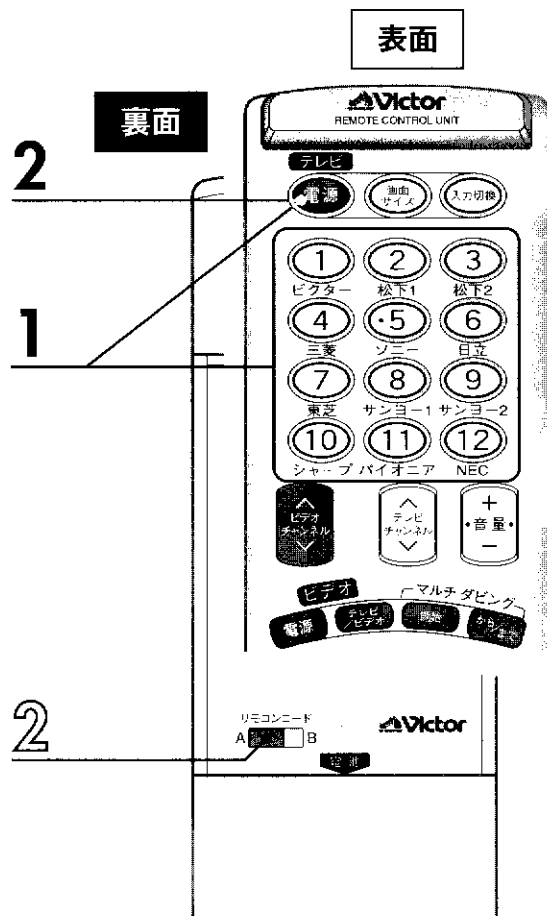
・S−VHS録画またはVHS録画かを自動的に判別して再生します。

録画済VHSテープ → VHS方式のビデオ

・S−VHS録画したテープは正常に再生できません。

リモコンの準備

表面

裏面

ビクター以外のテレビを操作する
TVマルチブランド対応

国内メーカー10社のテレビ操作（電源の入/切、チャンネル、音量、入力切換、画面サイズ切換）ができます。
ご購入時は、ビクター製テレビの指定になっています。

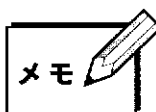
準備 テレビの主電源を「入」にしてください。

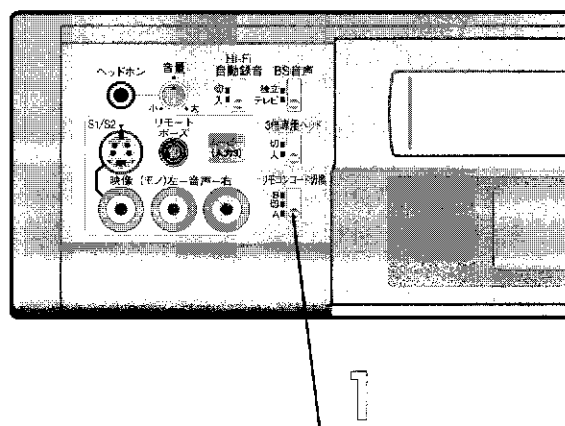
1 リモコンの**テレビ電源ボタン**を押しながら、**メーカー指定ボタン**を押す

●松下1、サンヨー1で動作しないときは2を設定してください。

2 **テレビ電源ボタン**を押し、テレビの電源が入/切するか確認する

●テレビのチャンネル、音量、入力切換、画面サイズ切換（ワイドテレビをお持ちの場合）も操作できるか確認してください。
●フルサイズ、シネマサイズなど画面サイズの種類はテレビによって異なります。テレビの取扱説明書をご覧ください。

メモ

●まちがえたときは、もう一度設定し直してください。
●電池交換後、リモコン表示窓が で点滅するときは、テレビのメーカー指定をやり直してください。
●テレビによっては操作できないものや、特定のボタンだけ操作できないものがあります。
●使用するテレビによっては、選択できない画面サイズがあります。
●リモコンのフタの裏側に「テレビメーカーの合わせ方」を載せていますので、ご利用ください。

本体左側

本機のリモコンで2台のビクタービデオを操作する
リモコンコード切換

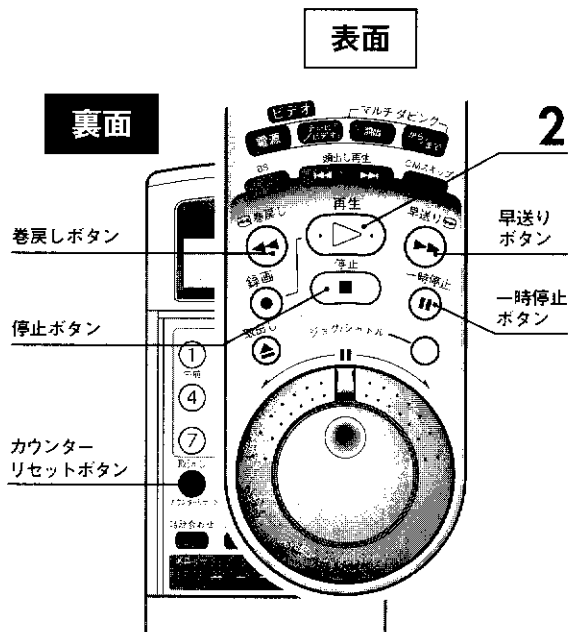
ご購入時は、本体のリモコンコードが「A」になっていますので、リモコンも「Aコード」でお使いください。
2台のビクタービデオをお使いになるときは、それぞれのリモコンコードを別のコード（A、B）にしてください。ビデオ操作するときに、2台が同時に同じ動きをすることはありません。

1 ビデオ本体の**リモコンコード切換スイッチ**が**A**の場合

2 リモコンの**リモコンコード切換スイッチ**も**A**にする

■Bコードにする場合は、本体もリモコンもBコードにします。
■リモコンで操作させたくないときは、本体のリモコンコード切換スイッチを「切」にしてください。

ビデオテープを再生する

表面

ドア内中央

再生する

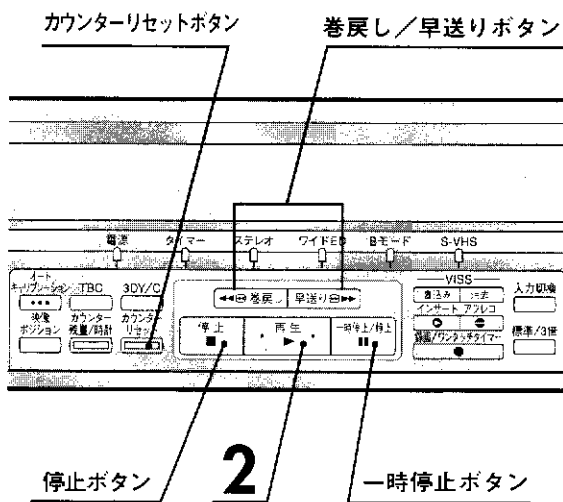
準備 18 19 ページをご覧いただき、テレビにビデオの画面が映るようにしてください。

テレビ画面

本体表示窓

1 テープを入れる
- 電源が入ります。
- つめのないテープを入れると、自動的に再生を始めます。

2 **再生ボタン**を押す
- 再生が始まります。

■再生をやめるときは、停止ボタンを押します。

画像を見ながら早送り/巻戻し再生をする

再生中に、**早送りボタン**または**巻戻しボタン**をポンと押す
- 画像を見ながら早送り/巻戻し再生ができます。
- 通常の再生に戻すには、再生ボタンを押します。
- 早送りボタンまたは巻戻しボタンを2秒以上押し続けると、押している間、早送り/巻戻し再生され、指を離すと通常の再生に戻ります。

静止画再生/コマ送り/スロー再生をする

再生中に、**一時停止ボタン**を押す
- 静止画再生になります。

再生中に、**一時停止ボタン**を1回ずつ押す
- 押すごとに、1コマずつ進みます。

再生中に、**一時停止ボタン**を2秒以上押す
- 1/6倍速でスロー再生します。

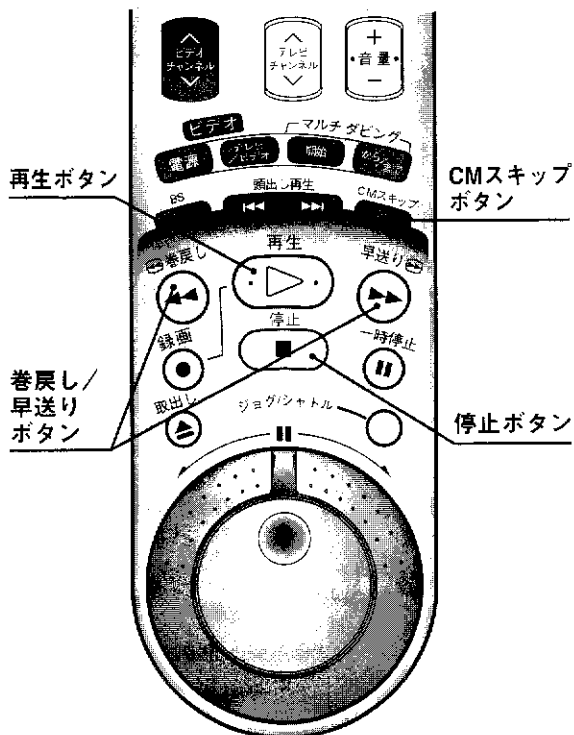
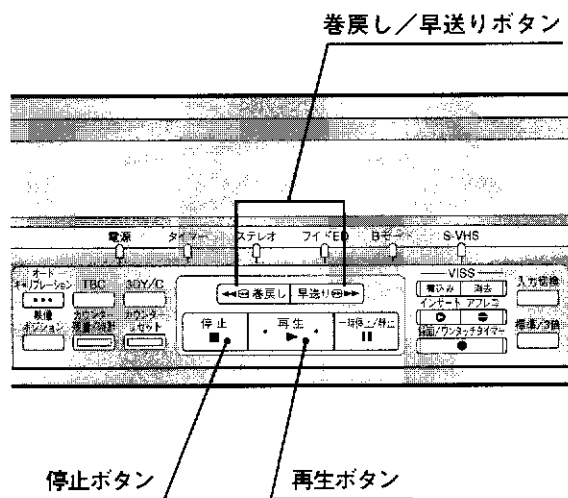
■通常の再生に戻すには、再生ボタンを押します。

メモ

- 再生中や早送り中にテープがなくなると、自動的に巻き戻します。(オートリワインド)
- カウンターを0:00:00にするときは、カウンターリセットボタンを押します。(カウンターリセット)
- 静止画再生、スロー再生を5分以上続けると、テープやビデオヘッド保護のため、自動的に停止します。
- 静止画再生またはスロー再生中にノイズが出るときは、トラッキング調節を行ってください。(68 ページ参照)調節してもノイズが消えないことがありますが故障ではありません。

操作編

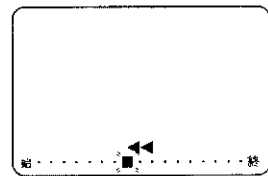
表面

再生ボタン
CMスキップボタン
巻戻し/早送りボタン
停止ボタン

ドア内中央

巻戻し/早送りする

停止中に操作します。

巻戻しボタンを押す

早送りボタンを押す

●巻戻し/早送り中は、テレビ画面に現在のテープ位置を表示します。

■巻戻し/早送りをやめるときは、**停止ボタン**を押します。

巻戻し/早送り中の画像を確認する　オープンサーチ

巻戻し/早送り中に操作します。

巻戻し中のときは
巻戻しボタンを押し続ける

早送り中のときは
早送りボタンを押し続ける

●押している間、巻戻し/早送り再生で画像が確認できます。
●指を離すと、もとの巻戻し/早送りに戻ります。

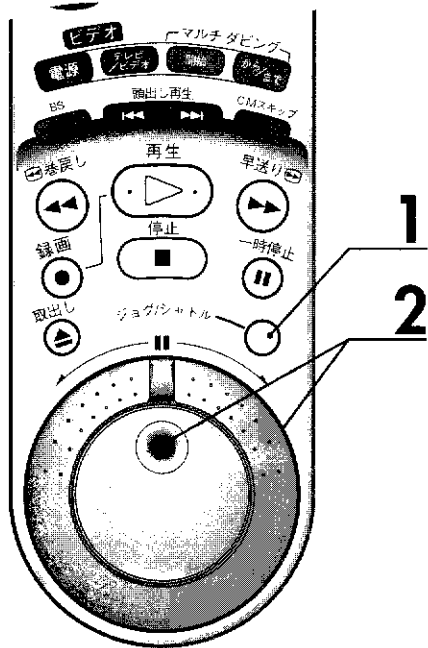
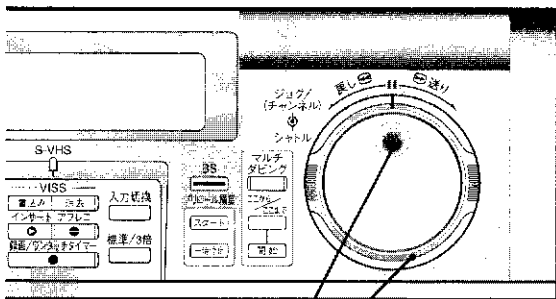
CMを飛ばす　CMスキップサーチ

再生中に、30秒単位で2分間ぶんまでの早送り再生ができます。

再生中に、リモコンの**CMスキップボタン**を必要な回数だけ押す

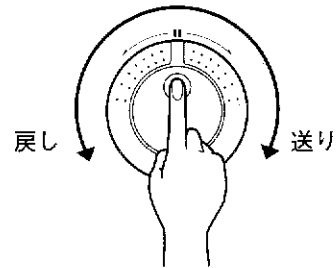
1回 → 2回 → 3回 → 4回
(30秒ぶん)(1分ぶん)(1分30秒ぶん)(2分ぶん)

●早送り再生中に再生ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。

表面

ドア内右側

●リモコンのジョグ／シャトルボタンについて
ジョグダイヤル／シャトルリングを操作するときは、ジョグ／シャトルボタンを押してランプを点灯させます。
もう一度押すとランプは消えます。
約１分以内に次の操作をしないとランプは自動的に消えます。
●コマ送り再生、可変速再生中は音声が出ません。
●静止画再生、スロー再生を５分以上続けると、テープ保護のため自動的に停止します。

ジョグダイヤルを使ってコマ送り再生する

1 リモコンの**ジョグ／シャトルボタン**を押してランプを点灯させる
●本体で操作するときは必要ありません。

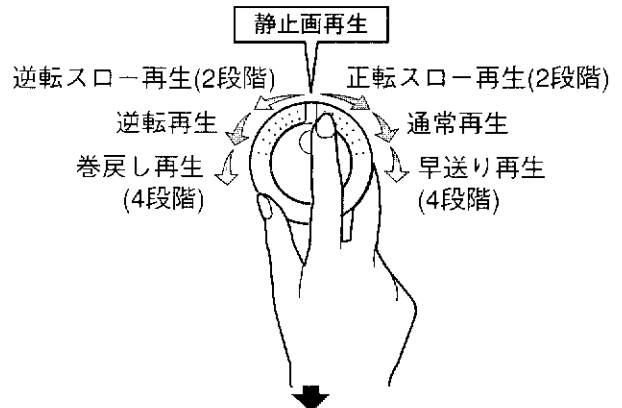
2 再生または静止画再生中に、
ジョグダイヤルを回してコマ送り再生する

●ジョグダイヤルの動きを止めると、
静止画再生になります。

停止中に、本体のジョグダイヤルを回すと、ビデオのチャンネル切り換えができます。

シャトルリングを使って再生スピードを変える

1 リモコンの**ジョグ／シャトルボタン**を押してランプを点灯させる
●本体で操作するときは必要ありません。

2 再生または静止画再生中に、
シャトルリングを回して再生スピードを変える

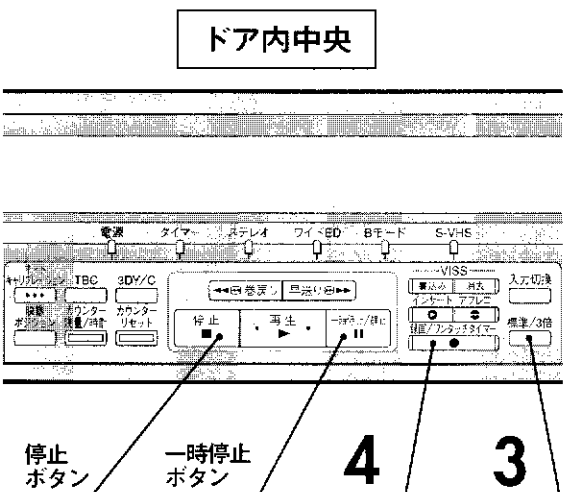
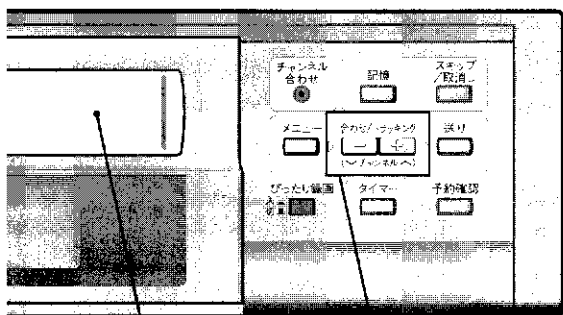
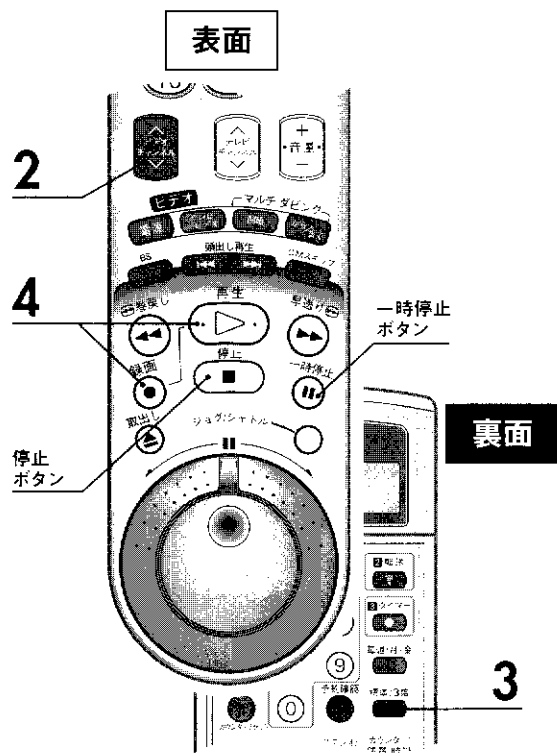
静止画再生
逆転スロー再生(2段階)
正転スロー再生(2段階)
逆転再生
通常再生
巻戻し再生(4段階)
早送り再生(4段階)

シャトルリングから手を離すと、
静止画再生になります。

操作編

テレビ番組を録画する

表面

本体右側

ドア内中央

録画する

準備 18 19 ページをご覧いただき、テレビにビデオの画面が映るようにしてください。

テレビ画面

本体表示窓

1 つめのついたテープを入れる
●自動的に電源が入ります。

2 **ビデオチャンネルボタン**でチャンネルを選ぶ
●本体のジョグダイヤルでも選べます。

6CH

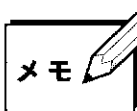
6

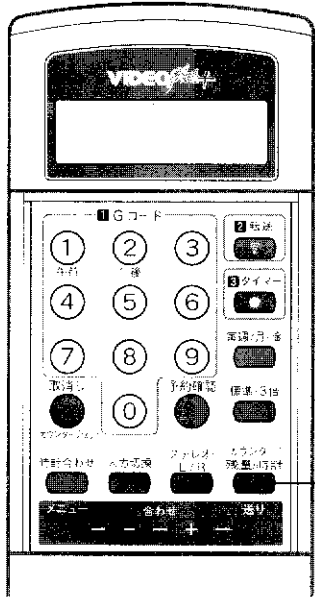
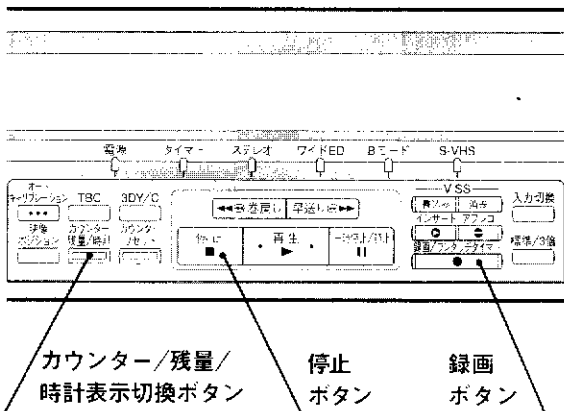
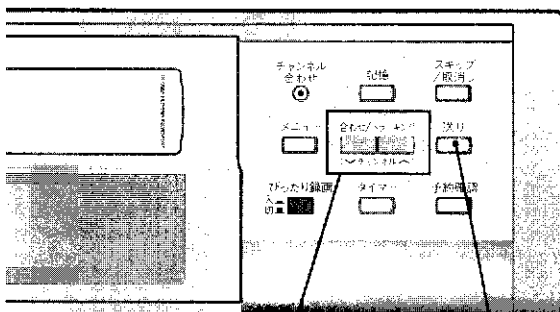
3 **標準/3倍ボタン**で録画スピードを選ぶ
●標準……画質を重視するとき
●3倍……3倍長く録画するとき

4 **録画ボタン**を押しながら、**再生ボタン**を押す
●本体の場合は録画ボタンを押します。
●録画を始めます。

録画

■録画を一時的にやめるときは、一時停止ボタンを押します。
●再生ボタンで、また録画を始めます。
■録画をやめるときは、停止ボタンを押します。

つめのないテープには録画できません。

●録画を始めると自動的に頭出し信号を書き込みます。番組の頭出しに使用します。（58 ページ参照）
●テープがなくなると、自動的に巻き戻します。
●録画一時停止を5分以上続けると、テープやビデオヘッド保護のため自動的に停止状態になります。
●録画一時停止中は、本体のジョグダイヤルでビデオのチャンネル切り換えはできません。ビデオチャンネルボタンで切り換えてください。
●本機の3倍モードで録画したカセットテープは、標準モード専用のVHSビデオでは再生できません。
●大切な録画の場合は、必ず事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確かめてください。
●万一本機およびビデオカセットテープ等の不具合により、正常に録画・録音や再生できなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

裏面

ドア内中央

本体右側

テープの残り時間を調べる　テープ残量

カウンター/残量/時計表示切換ボタンを押す

●ボタンを押すごとに、下のように変わります。

テレビ画面

標準
残量　1：35

→テープ残量表示 → 時計表示 → カウンター表示

●表示している録画スピード（標準/3倍）で計算します。

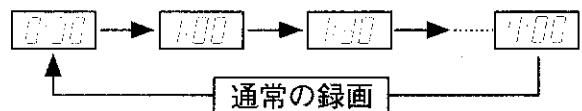
メモ
●残量時間は目安です。
●使用するカセットによっては、残量表示に時間がかかったり、正しい残量を表示しないことがあります。
●残量計算中は「-- : --」表示または、残量表示が点滅することがあります。

録画中に録画時間を設定し、自動的にビデオの電源を切る　ワンタッチタイマー録画

録画中に、もう一度本体の**録画ボタン**を押す

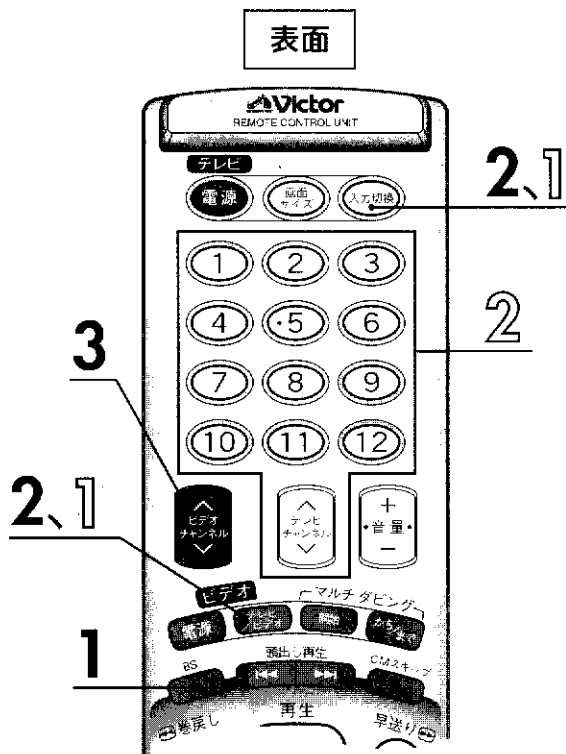
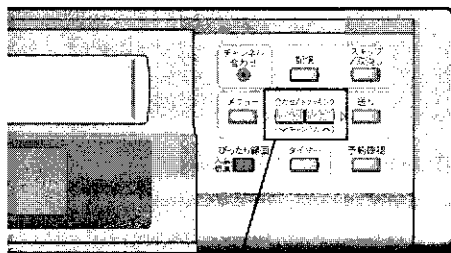
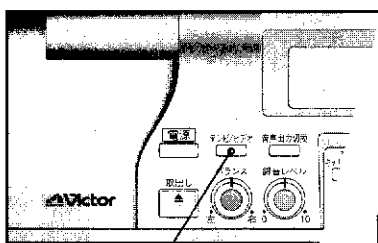
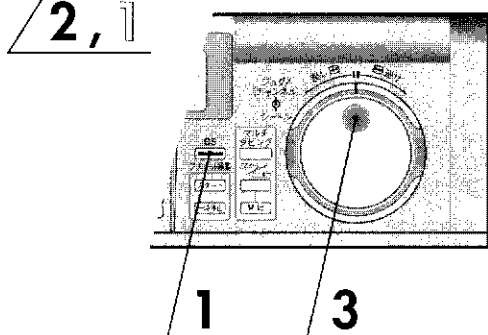
●録画ボタンを押すたびに、30分刻みで4時間まで設定できます。

本体表示窓

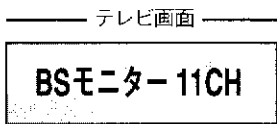
2:00 OTR

●表示された時間だけ録画したあと、自動的に電源が切れます。
●ワンタッチタイマー録画中でも録画ボタンを押すと録画時間を変更できます。

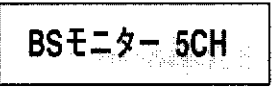
■ワンタッチタイマー録画を途中でやめるには、停止ボタンを押します。

リモコンの録画ボタンではワンタッチタイマー録画はできません。

メモ
●分刻みで合わせるときは
（例） 1時間50分にする
1. OTR 表示中に、送りボタンを押します。
（以後10秒以内に次の操作をします。）
2. 合わせボタンで1（時間）にします。
3. 送りボタンを押します。
4. 合わせボタンで50（分）にします。
5. 送りボタンを押します。（設定終了）
・最大10時間59分まで設定できます。
●ワンタッチタイマー録画中にテープがなくなると、自動的にテープが出て電源が切れます。

テレビ番組を録画しながらBS番組を見る

1 テレビ番組を録画中に、**BSオレンジボタン**を押す

テレビ画面：BSモニター 11CH

2 **テレビ/ビデオボタン**で本体表示窓に ビデオ 表示を点灯させる

- AV接続（ 18 ページ参照）の場合は、テレビの入力切換を「テレビ」から「ビデオ」にします。
- ビクター以外のテレビを操作する場合は 42 ページをご覧ください。

3 **ビデオチャンネルボタン**で見たいBS番組にする

- 本体のジョグダイヤルでも選べます。

BSモニター 5CH

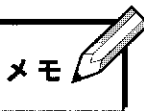
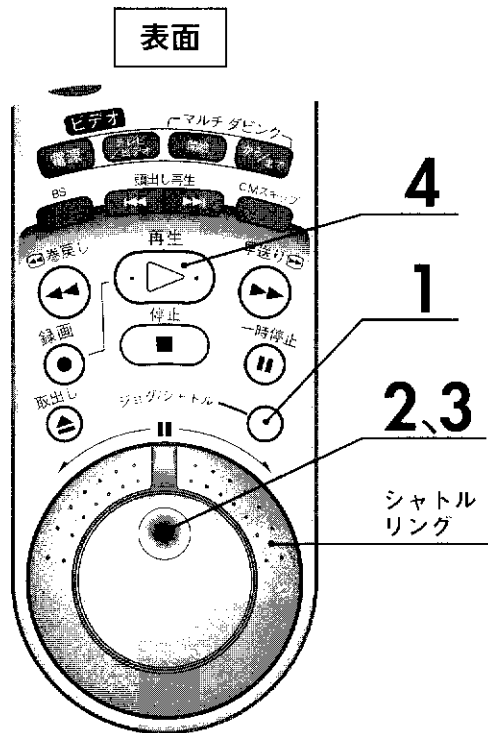
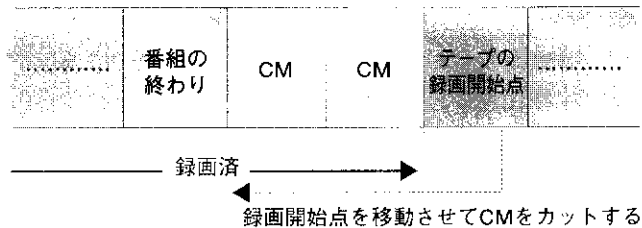
テレビがBSチューナー内蔵でない場合は、BS番組を録画しながら別のBS番組を見ることはできません。

録画しながらテレビ番組を見る

1 録画中に、**テレビ/ビデオボタン**で本体表示窓の ビデオ 表示を消す

- AV接続（ 18 ページ参照）の場合は、テレビの入力切換を「ビデオ」から「テレビ」にします。
- ビクター以外のテレビを操作する場合は 42 ページをご覧ください。

2 テレビのチャンネルを見たい番組にする

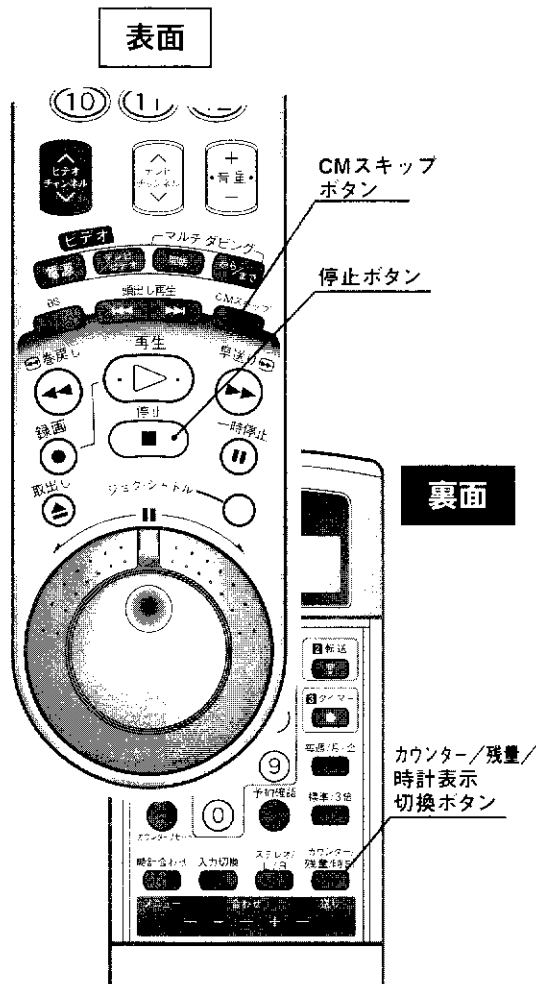
- 録画には影響しません。

- VHF/UHF放送番組をテレビ番組と説明しています。
- 衛星放送番組をBS番組と説明しています。

録画中に不要な部分をカットし続けて録画する
リテイク機能

準備 CM中に録画一時停止にします。

1 リモコンの**ジョグ／シャトルボタン**を押す
- ●ランプが点灯します。
- ●本体で操作するときは必要ありません。

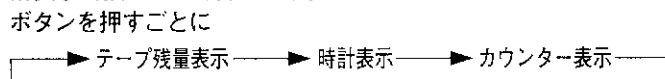
2 録画一時停止状態から
ジョグダイヤルで番組の終わりを探す
- ●シャトルリングも使用できます。

3 終わりが見つかったら手を離す
- ●静止画再生のあと録画一時停止状態になります。

4 録画したい場面で**再生ボタン**を押す
- ●録画を始めます。

巻戻し（または早送り）ボタンでも操作できます。
1. 録画一時停止状態から、巻戻し（または早送り）ボタンを押し続けると、正逆1倍速でテープを再生します。
2. 頭出ししたい場面で手を離すと、録画一時停止状態になります。
3. 録画したい場面で再生ボタンを押すと、録画を始めます。

録画していない部分を探す
ブランクサーチ

停止状態で、リモコンの
CMスキップボタンを押す

- ●未録画部分を探して停止します。
- ●テープ残量を表示します。
- ●表示を戻すときは、カウンター／残量／時計表示切換ボタンを押します。
  ボタンを押すごとに
  → テープ残量表示 → 時計表示 → カウンター表示

テレビ画面
ブランクサーチ

■途中でやめるときは、停止ボタンを押します。

ブランクサーチ終了後、録画を始める前に再生して、ここから録画してよいか確認しましょう。

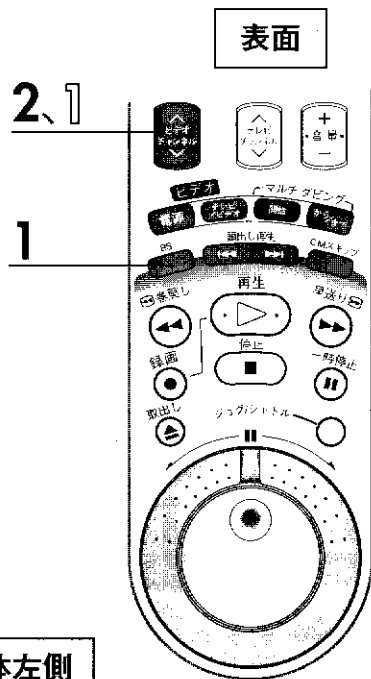
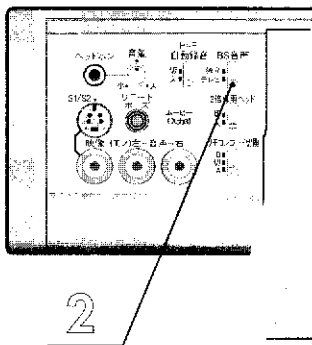
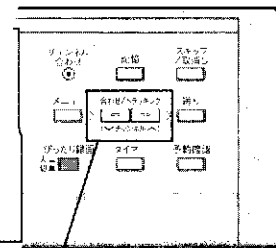
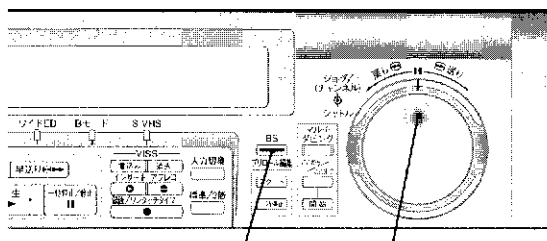
操作編

衛星放送を見る

表面

本体左側

本体右側

2，1

ドア内右側

メモ

●BSデコーダの取扱説明書もお読みください。
●WOWOWを見る場合は、本機とBSデコーダのBS音声スイッチを両方とも「テレビ」にしてください。
●ビデオチャンネル切換時、スクランブル放送を受信すると、テレビ画面の左上に「デコーダ入力」を約5秒間表示します。

本機をBSチューナーとして使う

準備 テレビの電源を入れ、ビデオの画面が映るチャンネルにしてください。

1 ビデオ電源「切」の状態で、**BSオレンジボタン**を押す
●ビデオ電源が入っていても操作できます。

テレビ画面
BSモニター 7CH

2 **ビデオチャンネルボタン**で見たい衛星放送を選ぶ
●本体のジョグダイヤルでも選べます。

BSモニター11CH

メモ
●録画、再生、タイマーランプ点灯中でも、BSオレンジボタンを押すと、衛星放送を見ることができます。(BSモニター)もう一度BSオレンジボタンを押すと、前の状態に戻ります。
●BSモニター出力は、ワイドテレビの画面サイズ自動切換に対応できない場合があります。

WOWOWを見る

準備
① 22 ページの接続をしてください。
② 23 ページをご覧いただき、本機の電源を入・切したときに、自動的にBSデコーダの電源も連動して入・切するようにしてください。
③ 18 19 ページをご覧いただき、テレビにビデオの画面が映るようにしてください。

1 **ビデオチャンネルボタン**でWOWOWを選ぶ
●本体のジョグダイヤルでも選べます。

2 本体の**BS音声スイッチ**を**テレビ**にする
●ご購入時は、「テレビ」側になっています。

3 WOWOWの音声が聞こえないときは、BSデコーダの**音声選択ボタン**を押して**テレビ**にする
●スクランブル放送時に二カ国語放送を聞く場合は、BSデコーダの音声選択ボタンで聞きたい音声を選んでください。

St.GIGAを聞く

準備

① 22 ページの接続をしてください。
② 23 ページをご覧いただき、本機の電源を入・切したときに、自動的にBSデコーダの電源も連動して入・切するようにしてください。
③ 18 19 ページをご覧いただき、テレビにビデオの画面が映るようにしてください。

1 **ビデオチャンネルボタン**で St.GIGAを選ぶ
●本体のジョグダイヤルでも選べます。

2 本体の **BS音声スイッチ**を**独立**にする
●独立音声が聞こえます。

3 独立音声が聞こえないときは、BSデコーダの **音声選択ボタン**を押して**独立**にする
●スクランブル放送時に二カ国語放送を聞く場合は、BSデコーダの音声選択ボタンで聞きたい音声を選んでください。

St.GIGAに加入している方は、録音時の音途切れを防ぐため、下の設定をしてください。本体側で操作します。
①ビデオチャンネルボタンで、St.GIGAを選びます。
②チャンネル合わせボタンを押します。
・チャンネル合わせ画面を表示します。
③送りボタンを押します。
・BSチャンネル合わせ画面を表示します。
④入力切換ボタンを押します。
・「デコーダ入力」を表示します。
⑤チャンネル合わせボタンを押します。
・設定が完了し、テレビ番組画面に戻ります。

②の画面

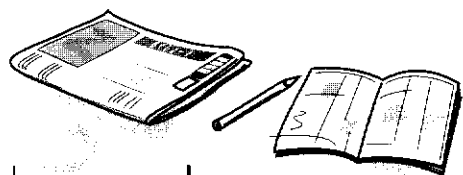
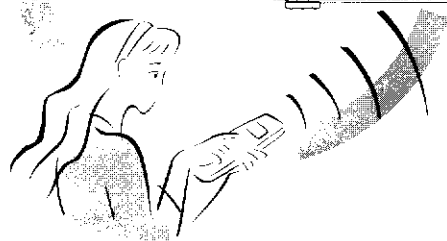
③、④の画面

●ノンスクランブル放送時もBSデコーダを経由するため、St.GIGA録音中はBSデコーダの電源を切らないでください。

本体左側

ドア内中央

●BSデコーダの取扱説明書もお読みください。
●St.GIGAを聞く場合は、本機とBSデコーダのBS音声スイッチを両方とも「独立」にしてください。
●独立音声放送がないときに「独立」の位置にすると、音声は出ません。
●St.GIGA放送時、放送局と契約していない場合は音声が聞こえません。
●WOWOWの画面が乱れていても、独立音声は正常に録音できます。

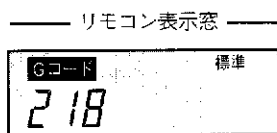
操作編

番組予約番号Gコードは新聞・雑誌等のテレビ欄に掲載されています。

Gコードを使ってタイマー予約する

リモコンにGコードを入れ、本体へ転送します。
本体では1ヵ月先まで8つの番組が予約できます。

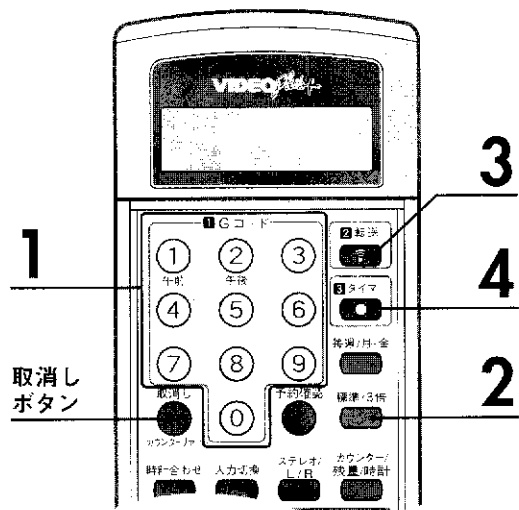
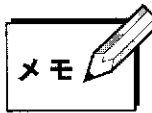
例 左のテレビ欄の午後7時から7時30分の番組を3倍モードで予約します。

準備
① 本体表示窓の現在時刻を確認します。
② つめのついたカセットを入れます。
③ リモコンの時計合わせをします。(32 ページ参照)
④ 本体のガイドチャンネル設定をします。(34 ページ参照)
⑤ 新聞や雑誌などを用意してください。

1 Gコード（番組予約番号）の入力
数字ボタンを押す
●間違えて入力したときは取消しボタンを押し、もう一度数字ボタンを押してください。

―― リモコン表示窓 ――
Gコード 標準
218

2 録画スピードを選ぶ
標準/3倍ボタンを押す

3 Gコードを本体へ転送する
転送ボタンを押す
●本体が正しく受け取ると「ピー」と音が鳴り、予約内容を10秒間表示します。

メモ
●リモコンには1番組しか入力できません。
●2つ以上予約するときは、1～3の操作を繰り返します。
●Gコード転送時、本体表示窓に「Err」、「Full」が表示されたときは87 ページをご覧ください。
●ブザー音（ピー音）を出したくないときは、電源「切」の状態で、本体の停止ボタンを2秒以上押します。確認音が「ピッ」と鳴り、ブザー音は出ません。ブザー音を出したいときは、電源「切」の状態で、本体の停止ボタンを2秒以上押します。確認音が「ピー」と鳴ります。

4 タイマースタンバイにする
タイマーボタンを押す
●本体のタイマーランプが点灯し、電源が切れます。
●タイマーランプが点滅するときは87 ページをご覧ください。

タイマーランプ

メモ
●リモコン表示窓に“Error”を表示したら
① 番組の開始時刻が過ぎている
② Gコードの入力が正しくないとき
（数字ボタンで再度Gコードを入力してください。）
●Gコード予約の場合、実際の番組よりも多少長めに録画されることがあります。開始/終了時刻を変更したいときは、右ページをご覧ください。
●本体へ転送した予約の確認／取消しをするときは56 ページをご覧ください。

裏面

リモコンからGコードを転送後、予約の開始/終了時刻を細かく変更する

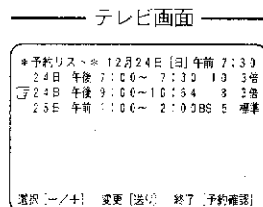
準備 本体のタイマーランプが点灯しているときは、タイマーボタンを押してランプを消灯させます。

1 **予約確認ボタン**を押す

●予約リスト画面を表示します。

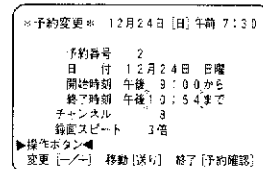
テレビ画面

```
＊予約リスト＊ 12月24日[日]午前 7:30
  24日 午後 7:00～ 7:30 10 3倍
☞24日 午後 9:00～10:54  3 3倍
  25日 午前 1:00～ 2:00BS 5 標準

選択[ー/＋] 変更[送り] 終了[予約確認]
```

2 **合わせー/＋ボタン**を押し、変更したいプログラムに「☞」マークを移動させる

3 **送りボタン**を押し、変更したい項目に点滅を移動させる

```
＊予約変更＊ 12月24日[日]午前 7:30

    予約番号    2
    日  付  12月24日 日曜
    開始時刻  午後 9:00から
    終了時刻  午後10:54まで
   チャンネル     3
   録画スピード   3倍
▶操作ボタン◀
 変更[ー/＋] 移動[送り] 終了[予約確認]
```

4 **合わせー/＋ボタン**で変更する

●押し続けると30分刻み、1回ずつ押すと1分刻みで変わります。

5 **タイマーボタン**を押し、タイマースタンバイにする

●本体のタイマーランプが点灯し、電源が切れます。

毎週または月～金曜日の同じ時間の番組を予約するには

左ページの2の操作後
毎週/月-金ボタンを1回押す→毎週予約
毎週/月-金ボタンを2回押す→月～金曜日の予約
毎週/月-金ボタンを3回押す→元に戻ります

本体右側

録画切れを防ぐには　ぴったり録画

標準モードでタイマー録画中にテープが不足する場合、途中で自動的に3倍モードに切り換わり、録画切れを防ぎます。
2時間以上の番組を1本のテープに収めたいときに便利です。

1 **ぴったり録画スイッチ**を**入**にする

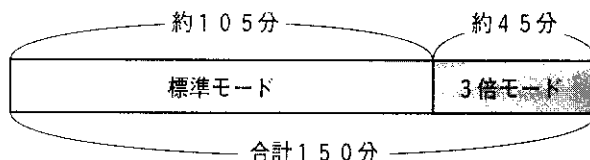
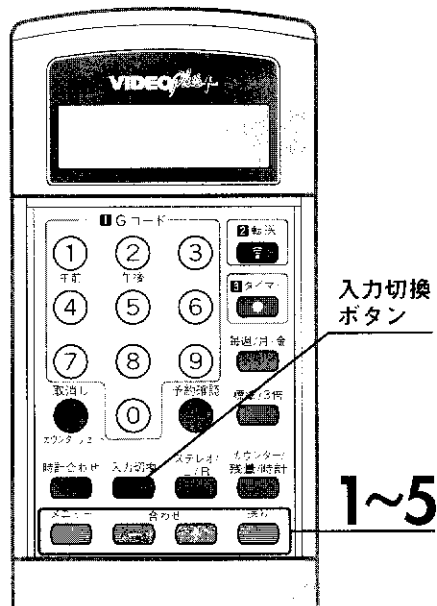
[例] ぴったり録画スイッチを「入」にして、150分の番組を120分（**T-120**）テープでタイマー録画した場合

約105分	約45分
標準モード	3倍モード

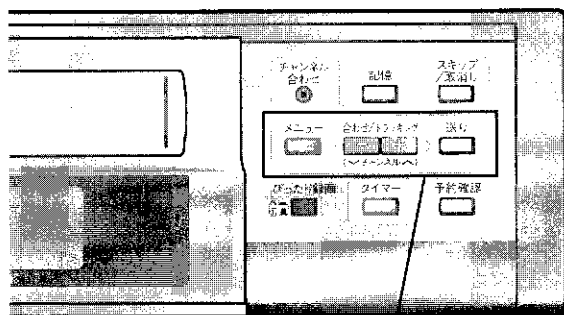
合計150分

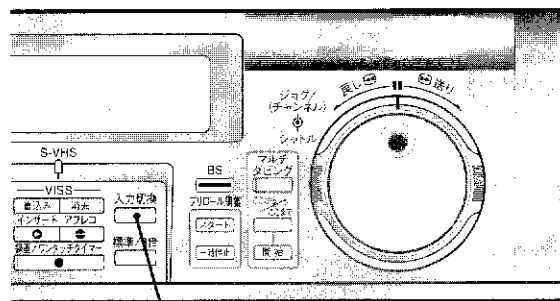
メモ

●複数の番組をタイマー予約したときは、予約の合計時間ではなく、1つ1つの予約についてぴったり録画が働きます。
●T−30、T−60、T−90、T−120のビデオテープ以外では、正しく動作しません。
●再生時、標準から3倍に切り換わる部分で多少ノイズが出ます。
●多少テープが残ることがあります。
●ワンタッチタイマー録画時、ぴったり録画は働きません。

操作編

裏面

入力切換ボタン

1~5

本体右側

1~5

ドア内右側

入力切換ボタン

メニュー画面を使ってタイマー予約する

例 12月24日、午後9時から10時54分まで、BS 5チャンネルを3倍モードで予約します。

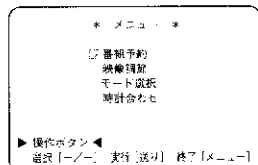
準備
① 18 19 ページをご覧いただき、テレビにビデオの画面が映るようにしてください。
② 本体表示窓の現在時刻を確認します。
③ つめのついたカセットを入れます。

1 予約開始

1 メニューボタンを押す
- メニュー画面を表示します。

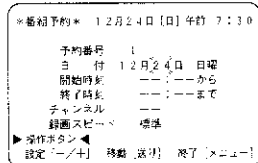
2 送りボタンを押す
- 番組予約画面を表示します。
- 今日の日付の場合は2の 2 へ進みます。

テレビ画面

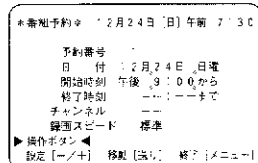
* メニュー *
番組予約
映像調整
モード選択
時計合わせ
▶操作ボタン◀
選択［－/－］ 実行［送り］ 終了［メニュー］

2 日付の入力

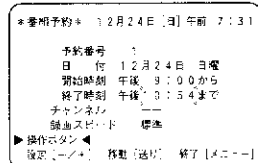
1 合わせ－/＋ボタンを押す
- 毎週/毎日予約をする場合は、右ページの下欄をご覧ください。

2 送りボタンを押す
- 開始時刻に現在時刻を表示します。

番組予約 12月24日［日］午前 7:30
予約番号 1
日付 12月24日 日曜
開始時刻 --:--から
終了時刻 --:--まで
チャンネル --
録画スピード 標準
▶操作ボタン◀
設定［－/＋］ 移動［送り］ 終了［メニュー］

3 開始時刻の入力

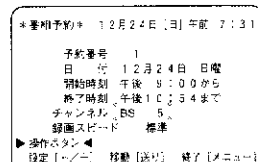
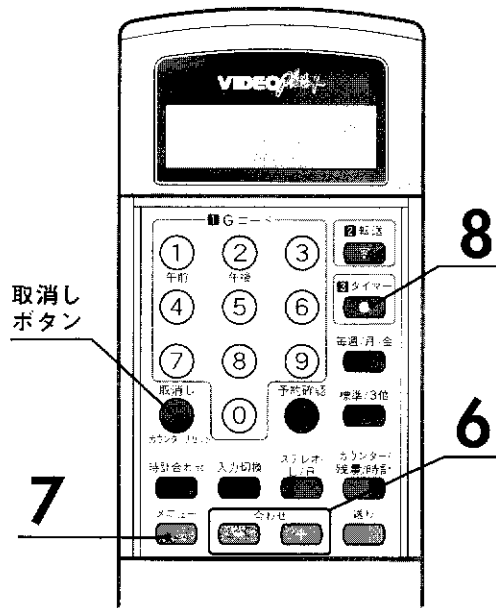
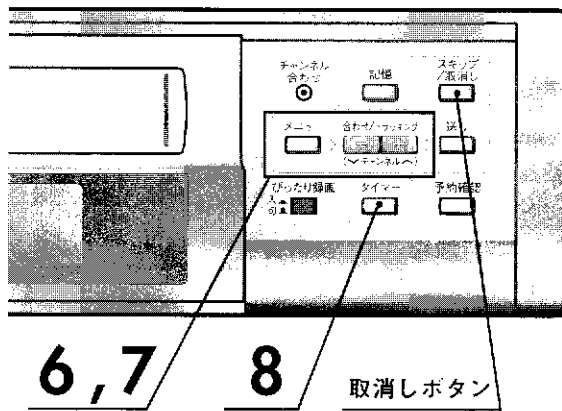
1 合わせ－/＋ボタンを押す
- 押し続けると30分刻み、1回ずつ押すと1分刻みで変わります。

2 送りボタンを押す
- 終了時刻に開始時刻を表示します。

4 終了時刻の入力

1 合わせ－/＋ボタンを押す
- 押し続けると30分刻み、1回ずつ押すと1分刻みで変わります。

2 送りボタンを押す

5 チャンネルの入力

1 合わせ－/＋ボタンを押す
- BS番組を予約するときは、合わせーボタンを押すと早く呼び出せます。
- 外部入力予約をするときは、入力切換ボタンを押して接続した端子（入力1、入力2、入力3）を選びます。

2 送りボタンを押す

番組予約 12月24日［日］午前 7:31
予約番号 1
日付 12月24日 日曜
開始時刻 午後 9:00から
終了時刻 午後10:54まで
チャンネル BS 5
録画スピード 標準
▶操作ボタン◀
設定［－/－］ 移動［送り］ 終了［メニュー］

6 録画スピードを選ぶ
合わせー/＋ボタン
を押す

＊番組予約＊ 12月24日［日］午前 7:3
予約番号 1
日 付 12月24日 日曜
開始時刻 午後 9:00から
終了時刻 午後10:54まで
チャンネル BS 5
録画スピード 3倍
▶操作ボタン◀
設定［－/＋］ 移動［送り］ 終了［メニュー］

7 テレビ番組画面に戻す
メニューボタンを押す

●2つ以上予約するときは、1～7の操作を繰り返します。

8 タイマースタンバイにする
タイマーボタンを押す

●本体のタイマーランプが点灯し、電源が切れます。
●タイマーランプが点滅するときは 87 ページをご覧ください。

メモ

●予約内容を取り消すときは、2～6の操作中に取消しボタンを押します。テレビ番組画面に戻すときは、メニューボタンを押します。
●7、8の操作後に取り消すときは、次のページをご覧ください。

毎週または毎日、同じ時間の番組を予約するには

2の■の操作で合わせ＋ボタンを押すごとに、日付の表示が下のように変わります。
合わせーボタンを押すと戻ります。

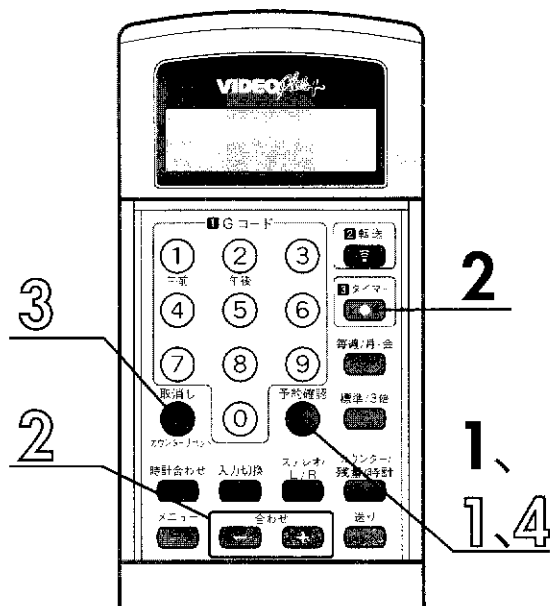
毎週予約の表示例

＊番組予約＊ 12月24日［日］午前 7:30
予約番号 1
日 付 毎週日曜
開始時刻 --:--から
終了時刻 --:--まで
チャンネル --
録画スピード 標準
▶操作ボタン◀
設定［－/＋］ 移動［送り］ 終了［メニュー］

毎日予約の表示例

日付：→1日→2日・・30日→31日→
毎週予約：毎週日曜→毎週月曜・・毎週金曜→毎週土曜→
毎日予約：毎週日～土曜→毎週月～土曜→毎週月～金曜→毎週月～木曜→（1日に戻る）

操作編

タイマー予約[確認/取消し/変更]

予約の確認をする

準備
①本体のタイマーランプが点灯しているときは、タイマーボタンを押してランプを消灯させます。
② 18 19 ページをご覧いただき、テレビにビデオの画面が映るようにしてください。

—— テレビ画面 ——

```
＊予約リスト＊ 12月24日［日］午前 7:30
☞24日 午後 7:00～ 7:30 10 3倍
 24日 午後 9:00～10:54  8 3倍
 25日 午前 1:00～ 2:00BS 5 標準

選択［－／＋］ 変更［送り］ 終了［予約確認］
```

1 **予約確認ボタン**を押す
- 予約リスト画面を表示します。
- 録画予約実行順に並び変えて表示します。
- 本体表示窓には、「☞」マークのあるプログラムを表示します。合わせ＋ボタンを押すごとに次のプログラムを表示します。

2 **タイマーボタン**を押し、タイマースタンバイにする
- 本体のタイマーランプが点灯し、電源が切れます。

本体右側

予約の取消しをする

上の準備と同じ操作をしてください。

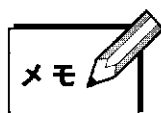
```
＊予約リスト＊ 12月24日［日］午前 7:30
 24日 午後 7:00～ 7:30 10 3倍
☞24日 午後 9:00～10:54  8 3倍
 25日 午前 1:00～ 2:00BS 5 標準

選択［－／－］ 変更［送り］ 終了［予約確認］
```

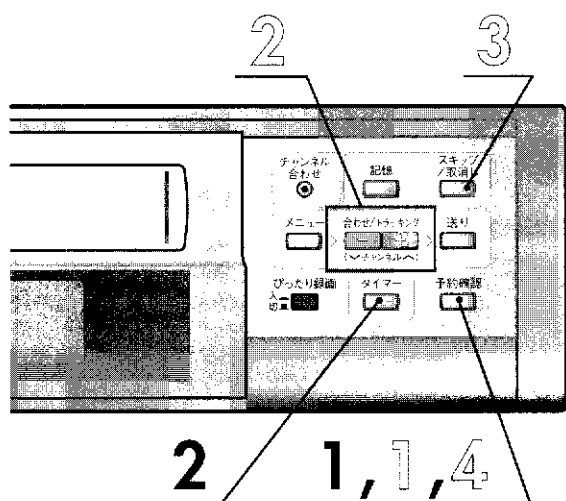
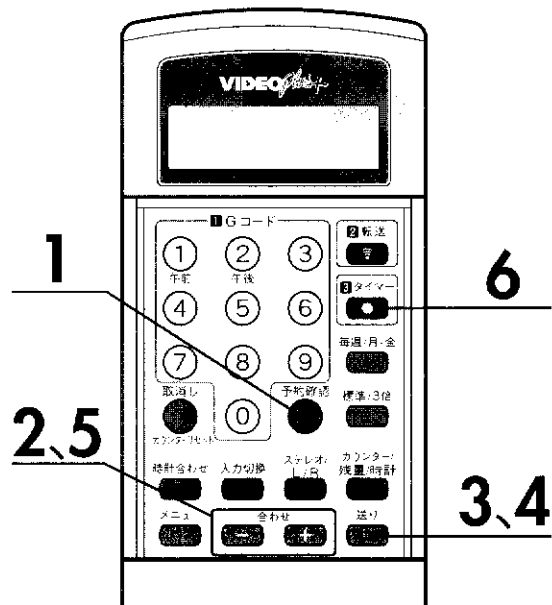
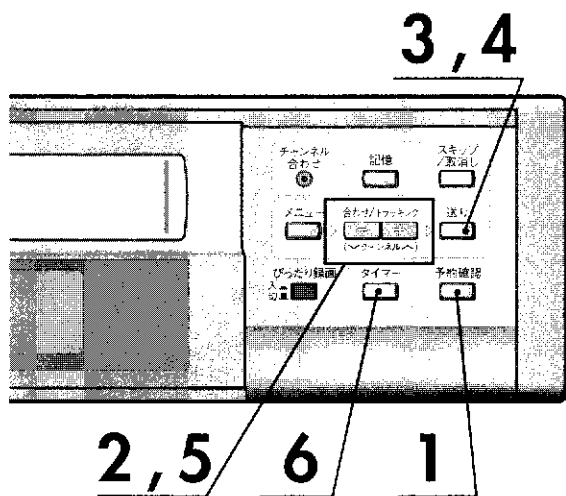
1 **予約確認ボタン**を押す
- 予約リスト画面を表示します。

2 **合わせー／＋ボタン**を押し、取り消したいプログラムに「☞」マークを移動させる

3 **取消しボタン**を押す

4 **予約確認ボタン**を押し、テレビ番組画面に戻す
- タイマースタンバイにするときは、タイマーボタンを押し、タイマーランプを点灯させます。

- 予約の確認／取消しは、ビデオ電源が切れている状態で、本体表示窓を見ながらでも操作できます。
ただし、本体のタイマーランプが点灯しているときは取消しできません。

裏面

1　2、5　6　3、4

本体右側

予約内容を変更する

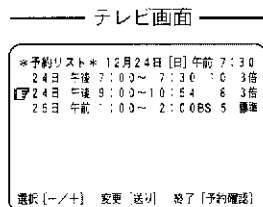
準備

① 本体のタイマーランプが点灯しているときは、タイマーボタンを押してランプを消灯させます。
② 18、19ページをご覧いただき、テレビにビデオの画面が映るようにしてください。

1 予約確認ボタンを押す

●予約リスト画面を表示します。

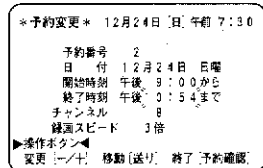
――― テレビ画面 ―――

```
＊予約リスト＊ 12月24日［日］午前 7：30
  24日 午後 7：00～ 7：30 10 3倍
☞24日 午後 9：00～10：54  6 3倍
  25日 午前 1：00～ 2：00BS 5 標準
選択［－／＋］ 変更［送り］ 終了［予約確認］
```

2 合わせ－／＋ボタンを押し、変更したいプログラムに「☞」マークを移動させる

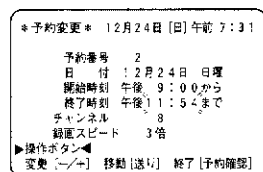
3 送りボタンを押す

●予約変更画面を表示し、開始時刻が点滅します。

4 送りボタンを押し、変更したい項目に点滅を移動させる

```
＊予約変更＊ 12月24日［日］午前 7：30
   予約番号    2
   日　　付   12月24日 日曜
   開始時刻   午後 9：00から
   終了時刻   午後 0：54まで
   チャンネル      8
   録画スピード   3倍
▶操作ボタン◀
 変更［－／＋］ 移動［送り］ 終了［予約確認］
```

5 合わせ－／＋ボタンで変更する

●開始／終了時刻を変更するときは、合わせ－／＋ボタンを押し続けると30分刻み、1回ずつ押すと1分刻みで変わります。
●変更後、テレビ番組画面に戻したいときは、戻るまで予約確認ボタンを押します。

```
＊予約変更＊ 12月24日［日］午前 7：31
   予約番号    2
   日　　付   12月24日 日曜
   開始時刻   午後 9：00から
   終了時刻   午後11：54まで
   チャンネル      8
   録画スピード   3倍
▶操作ボタン◀
 変更［－／＋］ 移動［送り］ 終了［予約確認］
```

6 タイマーボタンを押し、タイマースタンバイにする

●本体のタイマーランプが点灯し、電源が切れます。

メモ

●予約内容の変更は、ビデオ電源が切れている状態で、本体表示窓を見ながらでも操作できます。
ただし、本体のタイマーランプが点灯しているときは操作できません。

番組の頭出し

表面

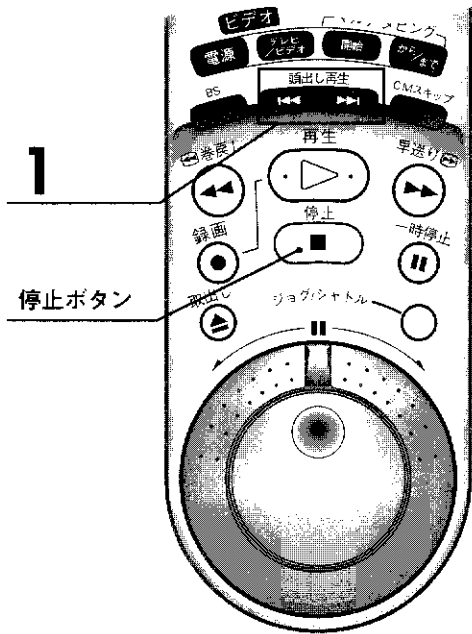
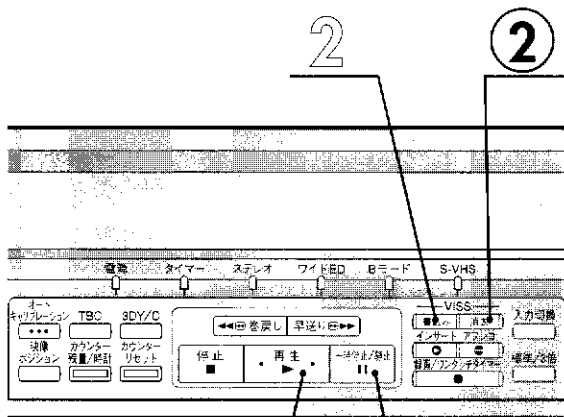
ドア内中央

番地のかぞえかた

今見ている番組

ニュース	前の番組	ドラマ	次の番組	映画

番地…-3　-2　-1　1　2　3

◀── 巻戻し　早送り ──▶

［例］**次の番組を頭出しする場合**
頭出し再生▶▶|ボタンを1回押します。
前の番組を頭出しする場合
頭出し再生|◀◀ボタンを2回押します。

番組の頭出しをして再生する

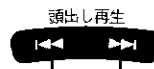
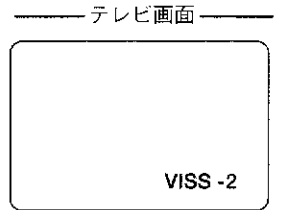
頭出し再生

録画やタイマー録画の開始点に自動的にマーク（VISS）をつけ、それを目印に番組の頭出しをします。

1 停止または再生中に
頭出し再生ボタンで
番地を選ぶ

巻戻し方向　早送り方向

テレビ画面

VISS -2

●2つ前の番地を選ぶ

- ●希望の番地を探し自動的に再生します。
- ●押すごとに数字が増え、逆方向のボタンを押すと数字が減ります。
- ●最高±9番組まで指定できます。

■途中でやめるときは、停止ボタンを押します。

頭出し信号を書き込むには

1 書き込みたい場面で
一時停止ボタンを押す

2 本体の**書込みボタン**を押したあと、**再生ボタン**を押す

テレビ画面

VISS書込み

- ●「VISS書込み」表示が約2秒間点滅し、消えると書き込み完了です。
- ●録画一時停止状態から書き込むときも同じ操作方法です。
- ●再生中または録画中に書き込みたいときは、書込みボタンを押すだけです。

■つめのないテープや、未録画部分には書き込みできません。

頭出し信号を消去するには

① 取り消したい頭出し信号の数秒前からテープを再生または静止画再生にする

② 本体の**消去ボタン**を押す

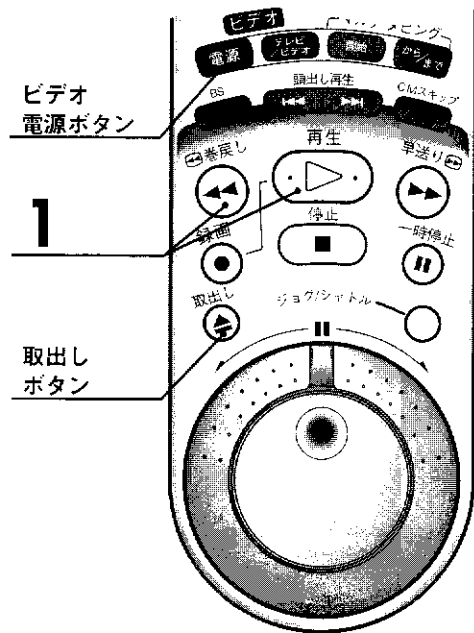
テレビ画面

VISS消去

- ●「VISS消去」を表示し、自動的に書き込まれている頭出し信号を探します。
- ●消去中は「VISS消去」表示が約2秒間点滅し、消えると設定完了です。テープは再生状態になります。

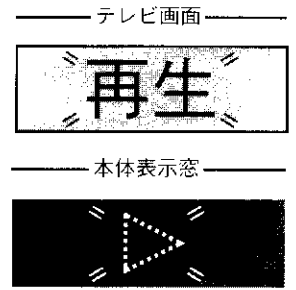
メモ

- ●となりの頭出し信号とは多少離して書き込んでください。近すぎると誤動作することがあります。
- ●「VISS書込み／消去」表示が点灯、点滅しているときは、他のボタン操作はしないでください。
- ●頭出し信号のそばで「標準」から「3倍」に切り換えられていると、頭出し信号の書込みや消去をしたあとで、画像が乱れることがあります。

表面

テープの始めから自動的に再生する ネクストファンクションメモリー

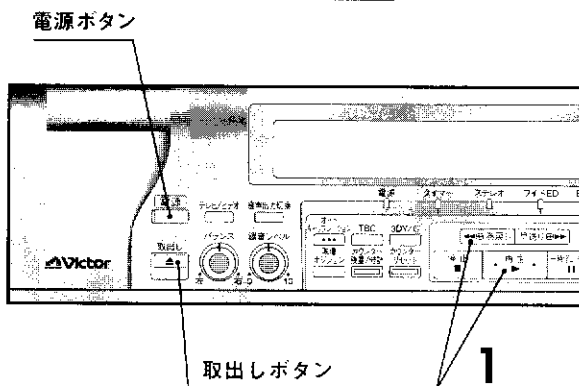
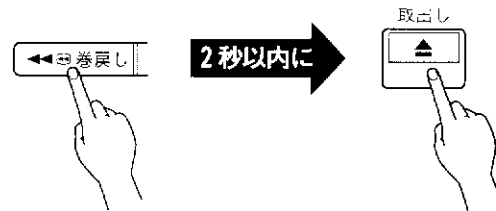
タイマー録画終了後、テープの始めから見たいときに便利です。

テレビ画面

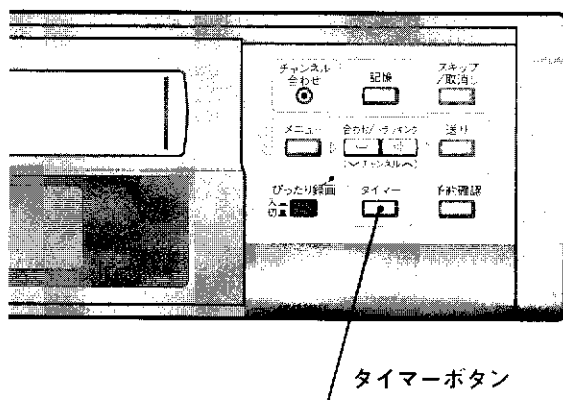
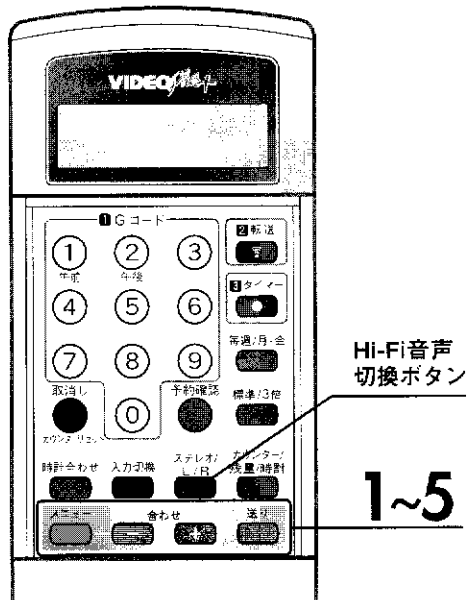
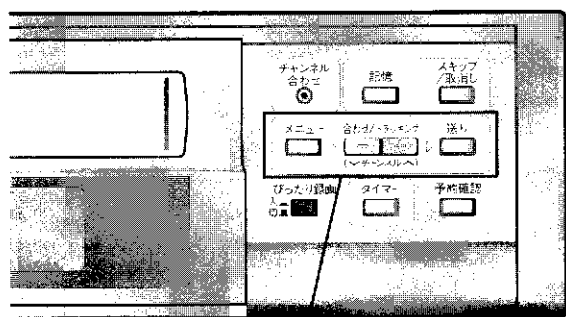
再生

本体表示窓

1 巻戻しボタンを押し、2秒以内に再生ボタンを押す

●テープの始めから自動的に再生します。

ドア内左側

本体右側

操作編

裏面

本体右側

二カ国語放送（日本語と外国語）を録音する

ご購入時、二カ国語放送を録音すると、主音声（日本語など）だけを録音します。外国語も録音したい方は、録音音声をあらかじめ選んでください。テレビ画面に出る表示項目を見ながら設定します。

準備 18 19 ページをご覧いただき、テレビにビデオの画面が映るようにしてください。

1

1 メニューボタンを押す

●メニュー画面を表示します。

2 合わせ－/＋ボタンでモード選択を選ぶ

テレビ画面

＊ メニュー ＊
番組予約
映像調節
☞モード選択
時計合わせ
▶操作ボタン◀
選択［－/＋］ 実行［送り］ 終了［メニュー］

2

送りボタンを押す

●モード選択画面を表示します。

＊ モード選択 ＊
☞オンスクリーン オート 切 入
ブルーバック 入 切
二カ国語音声録音 主 主＊副
ビデオ1入力 オート 映像
S－VHS記録 オート 切
S2映像 切 オート
▶操作ボタン◀
選択［送り］ 設定［－/＋］ 終了［メニュー］

3

送りボタンで二カ国語音声録音を選ぶ

●送りボタンを押すごとに、☞表示が下の項目へ移動します。

4

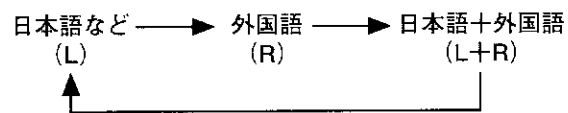
合わせ－/＋ボタンで主＊副を選ぶ

●二カ国語放送を録音すると、日本語と外国語の両方を録音します。

5

メニューボタンを押す

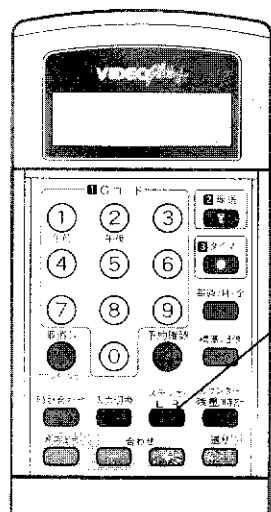
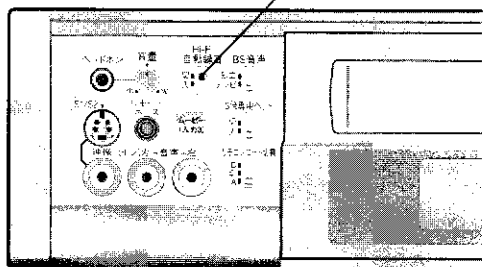
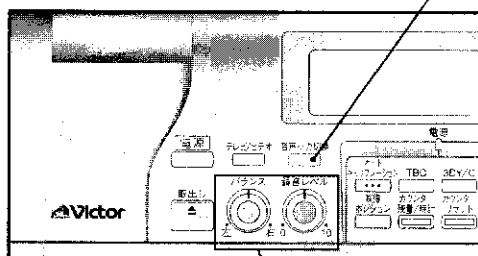
●設定が完了し、テレビ番組画面に戻ります。

●日本語と外国語が同時に聞こえたら、リモコンのHi-Fi音声切換ボタンで聞きたい音声を選びます。
ボタンを押すごとに

録画中に切り換えても大丈夫です。

●**主＊副**の位置で二カ国語放送を録音すると、ノーマル音声トラックには**主音声**が録音されます。

●停電などがあり、本体の時計が 0:00 で点滅しているときは、**主**のポジションに戻りますので、**主＊副**にしたい方は、もう一度設定し直してください。

聞きたい音声を選ぶ

裏面

本体左側

ドア内左側

メモ

●Hi-Fi録音されていないテープは、ノーマル音声を再生します。
●Hi-Fi音声とノーマル音声に同じ音声が記録されたテープを再生する場合、ミックスはさけてください。若干の時間ズレが生じ、音が歪むことがあります。
●停電などがあり、本体の時計が 0:00 で点滅しているときは、Hi-Fi音声に戻ります。

日本語と外国語が同時に聞こえたら

リモコンの**Hi-Fi音声切換ボタン**を押す

●押すごとに、次のように表示が変わります。

	主音声＋副音声	主音声(日本語など)	副音声(外国語)
テレビ画面	左　右	左	右
本体表示窓	L　R	L	R

インサート編集やアフレコ編集したテープを聞く

本体の**音声出力切換ボタン**を押す

●押すごとに、次のように表示が変わります。

	Hi-Fi音声	ノーマル音声	ミックス音声
テレビ画面	左　右	ノーマル	ミックス
本体表示窓	L　R	ノーマル	L ノーマル R

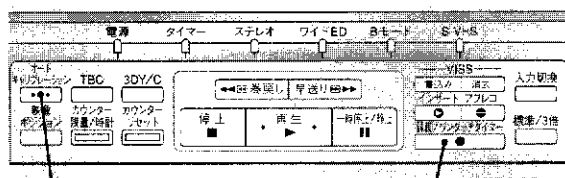
Hi-Fi録音レベルを手動調節する

大きな音から小さな音までのレベル差（ダイナミックレンジ）が大きい音声は、手動調節したほうが迫力のある音で録音できます。
クラシックなどでシーンと静かな演奏からいきなり大きな演奏曲に変わったり、逆にシンバルやドラムの大きな音から静かな演奏にと、変化の激しい音声のときに効果的です。
通常は、Hi-Fi自動録音スイッチを「入」にしてください。自動的に適正なレベルに調節します。

1 本体の**Hi-Fi自動録音スイッチ**を**切**にする

2 本体の**バランスつまみ**と**録音レベルつまみ**で調節する

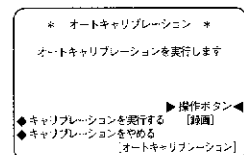
●音声レベルメーターを見ながら、赤いランプがときどき点灯する程度に調節してください。
●録音レベルが低すぎるとノイズが多くなり、高すぎると歪みが多くなりますのでご注意ください。

ドア内中央

オートキャリブレーション

使用するテープの特性を調べて、記録レベルを最適状態に設定し録画します。
本機のオートキャリブレーションは、標準モードでのみ測定を行います。3倍モードは、標準モードの測定結果を基に、最適記録レベルを設定します。3倍モードで録画する場合でも、自動的に標準モードで測定し、測定終了後は自動的に3倍モードに戻ります。

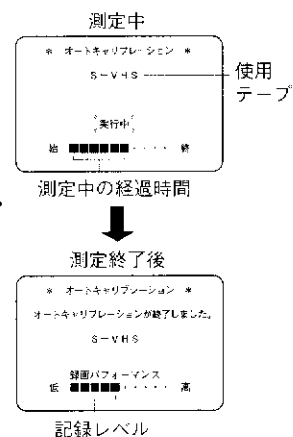
1 つめのついたテープを入れる

2 停止状態で、本体の**オートキャリブレーションボタン**を押す

- オートキャリブレーション画面を表示します。
- 本体表示窓には A.CAL を表示します。

テレビ画面

3 **録画ボタン**を押す

- 自動的にテープの特性を調べます。(約15秒かかります。)
- 動作内容：
  録画→巻戻し→再生→巻戻し→停止
- 測定終了後は、テレビ画面に最適記録レベルを約1分間表示します。
- テレビ番組画面に戻すときは、オートキャリブレーションボタンを押します。
- 本体表示窓は、次のような表示になります。
  測定中　　：A.CAL 点滅
  測定終了後：A.CAL 点灯

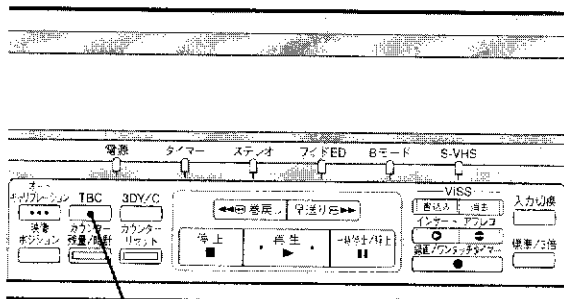
測定中

4 録画を始めるときは、**録画ボタン**を押す

- タイマー録画するときは、本体表示窓の A.CAL 表示が点灯している状態で、タイマーボタンを押してください。

■次のような場合は、測定結果が取り消されます。
- テープを取り出したとき
- 停電したときや電源プラグをコンセントから抜いたとき

このとき、本体表示窓の A.CAL 表示は消灯します。

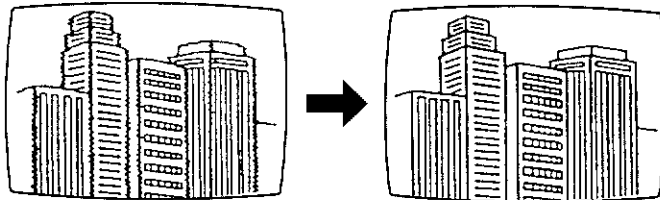
- オートキャリブレーションを行うときは、テープの未録画部分または消してもよい部分で行ってください。
- つなぎ録りする場合は、録画を始める前に再生して、ここから録画してよいか確認しましょう。
- オートキャリブレーション実行中は、音声が出ません。また、チャンネルの切り換えもできません。
- テープの傷のある部分では、正しく動作しないことがあります。
- オートキャリブレーションの録画パフォーマンス（記録レベル）は、相対的な最適記録特性を示しているもので、テープの優劣をあらわしているものではありません。

ドア内中央

画面のゆがみや歪みを補正し安定した画面で再生する 629デジタルTBC

本機は、テープの伸びや変形によって再生画像に発生する微妙な横揺れや画面の曲がりを補正し、安定した画面で再生するデジタルタイムベースコレクターを採用しています。

（TBC：Time Base Corrector（タイム ベース コレクター）の略）

■このようなときに効果を発揮します。
- ●ビデオムービーで記録したテープを再生するとき
- ●何度も繰り返し使用したテープを再生するとき
- ●ダビング時、本機を再生側で使用するとき

微妙な横揺れ

再生中に、本体のTBCボタンを押す

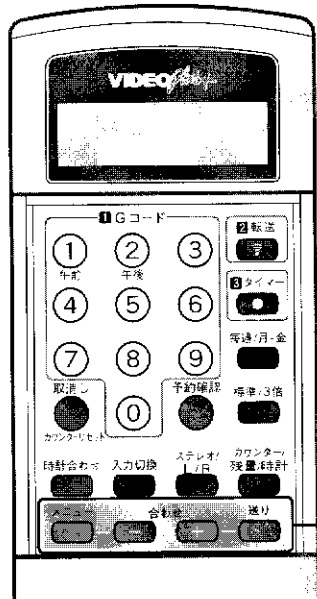
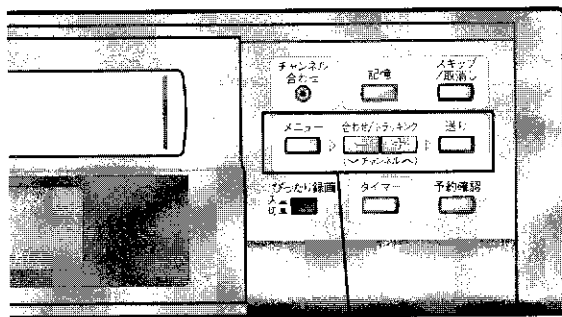
- ●1回押すと現在の状態を表示し、表示中にもう1回押すと、入／切の切り換えができます。表示は約5秒間です。
- ●ご購入時は、TBCが「入」になっています。

テレビ画面

TBC 入

メモ

- ●TBCが「切」でも、テープを取り出したり、電源を切ると「入」に戻ります。
- ●電波の弱い地域でテレビ番組を録画したテープなど、ノイズが多いテープの場合は、TBCボタンを押して「切」にすると、見やすい場合があります。
- ●TBC「入」で特殊な信号（パソコン、一部のキャラクタージェネレーターなど）を録画したテープを再生すると、画面が乱れることがあります。このようなときは、「切」にしてください。

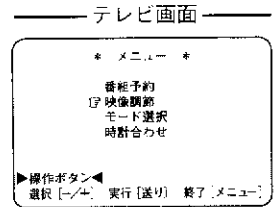
裏面

本体右側

再生中に、お好みの画質に合わせる シャープネス

準備 18 19 ページをご覧いただき、テレビにビデオの画面が映るようにしてください。

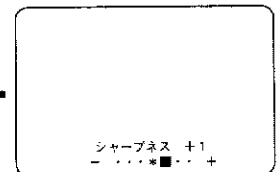
1 メニューボタンを押す
- メニュー画面を表示します。

テレビ画面
＊ メニュー ＊
番組予約
☞映像調節
モード選択
時計合わせ
▶操作ボタン◀
選択［－/＋］ 実行［送り］ 終了［メニュー］

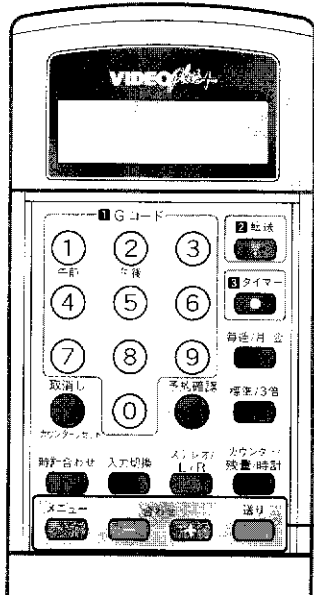
2 合わせー/十ボタンで映像調節を選ぶ

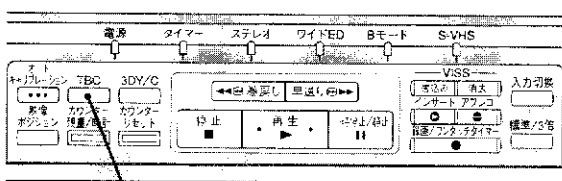
＊ 映像調節 ＊
☞シャープネス 0
Y/Cタイミング 0
ビデオステータス設定へ
▶操作ボタン◀
選択［－/＋］ 設定［送り］ 終了［メニュー］

3 送りボタンを押す
- 映像調節画面を表示します。

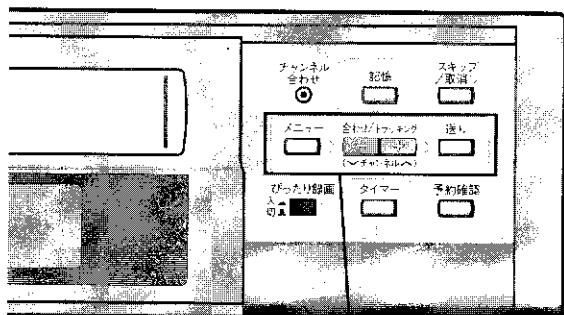
4 送りボタンを押す
- シャープネスの調節画面を表示します。
- テレビ画面には、再生画像が同時に映ります。

シャープネス ＋1
－ ・・・＊■・・ ＋

5 合わせー／十ボタンで調節する
- ±3段階で調節できます。
- 十側 ……鮮明な画像
  ー側 ……ノイズの目立たないやわらかな画像
- 約1分間表示します。
- 続けて、Y/Cタイミングを調節するときは、右ページの3の操作へ進みます。

6 メニューボタンを押す
〔設定完了〕

裏面

2～5

ドア内中央

1

本体右側

2～5

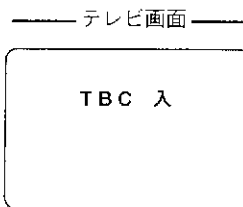
再生中に、横方向の色ズレを調節する Y／Cタイミング

準備 18 19 ページをご覧いただき、テレビにビデオの画面が映るようにしてください。

―― テレビ画面 ――

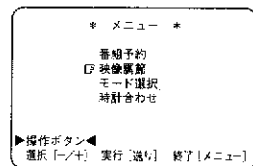
1 再生中に、本体の**TBCボタン**を押し、**TBC 入**にする

TBC 入

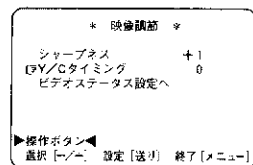
2

1 メニューボタンを押す
- メニュー画面を表示します。

2 合わせー／＋ボタンで映像調節を選ぶ

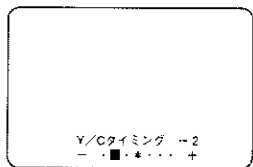
* メニュー *
番組予約
☞映像調節
モード選択
時計合わせ
▶操作ボタン◀
選択［－/＋］ 実行［送り］ 終了［メニュー］

3

1 送りボタンを押す
- 映像調節画面を表示します。

2 合わせー／＋ボタンでY／Cタイミングを選ぶ

* 映像調節 *
シャープネス +1
☞Y/Cタイミング 0
ビデオステータス設定へ
▶操作ボタン◀
選択［－/＋］ 設定［送り］ 終了［メニュー］

4

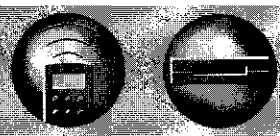
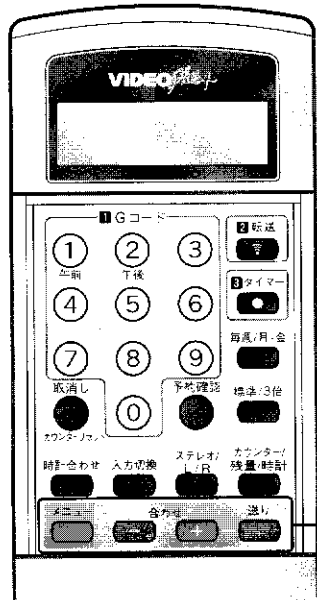
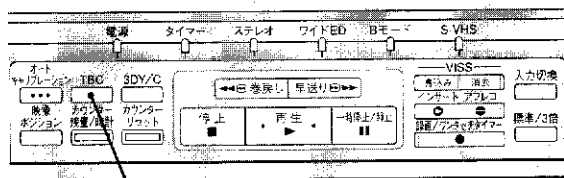
1 送りボタンを押す
- Y／Cタイミングの調節画面を表示します。
- テレビ画面には、再生画像が同時に映ります。

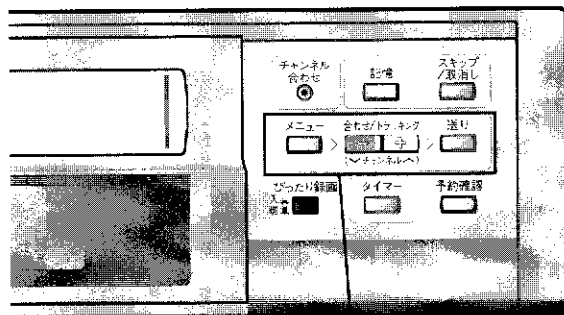
Y/Cタイミング －2

2 合わせー／＋ボタンで調節する
- ±3段階で調節できます。
- ＋側 ……色が左側にズレているとき
  －側 ……色が右側にズレているとき
- 約1分間表示します。
- 続けて、ビデオステータス設定を行うときは、66 ページの3の操作へ進みます。

5 **メニューボタン**を押す
〔設定完了〕

操作編

裏面

2～4

ドア内中央

1

本体右側

2～4

再生中に、各種デジタル信号処理の設定をする
ビデオステータス設定

準備 18 19 ページをご覧いただき、テレビにビデオの画面が映るようにしてください。

―――テレビ画面―――

1

再生中に、
本体の**TBCボタン**を
押し、**TBC 入**にする

TBC 入

2

1 メニューボタンを押す

●メニュー画面を表示します。

2 合わせ－／＋ボタンで映像調節を選ぶ

＊ メニュー ＊
番組予約
☞映像調節
モード選択
時計合わせ
▶操作ボタン◀
選択［－/＋］ 実行［送り］ 終了［メニュー］

3

1 送りボタンを押す

●映像調節画面を表示します。

2 合わせ－／＋ボタンでビデオステータス設定へを選ぶ

＊ 映像調節 ＊
シャープネス ＋1
Y／Cタイミング －2
☞ビデオステータス設定へ
▶操作ボタン◀
選択［－/＋］ 設定［送り］ 終了［メニュー］

4

1 送りボタンを押す

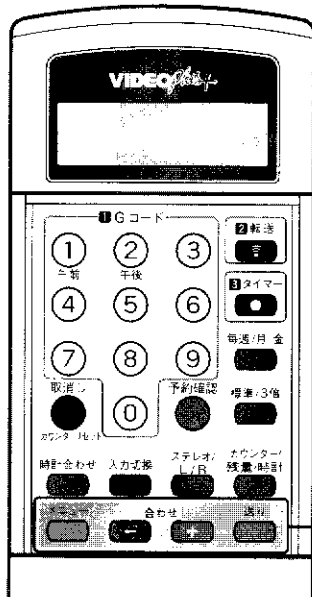
●ビデオステータス設定画面を表示します。

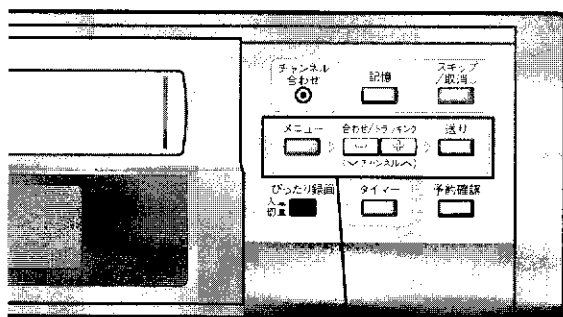
●テレビ画面には、再生画像が同時に映ります。

2 合わせ－／＋ボタンで設定する項目を選ぶ

●Y－DSP、C－DSPを調節する場合は、5の操作へ進みます。

●CNRのオート／切を選ぶ場合は、送りボタンを押します。

裏面

5,6

本体右側

5,6

各項目の内容

Y-DSP	明暗の表現に関する設定です。 一側……動きを重視した設定 十側……ノイズ低減を重視した設定
C-DSP	色の表現に関する設定です。 一側……動きを重視した設定 十側……色のクリアさを重視した設定
CNR	色信号のノイズ低減回路の設定です。 オート…再生時、CNRを自動的に動作させ、色のざらつきを少なくします。また、垂直方向の色の境界線が若干やわらかになります。 切……再生時、CNRは動作しません。

5

1 送りボタンを押す

●Y－DSPまたはC－DSP調節画面を表示します。

●テレビ画面には、再生画像が同時に映ります。

2 合わせ－／＋ボタンで調節する

●±３段階で調節できます。

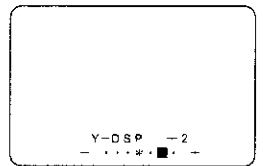
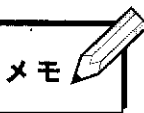
●約１分間表示します。

●Y－DSP調節後、C－DSPも調節する場合は、4～5の操作を繰り返します。

6

メニューボタンを押す

〔設定完了〕

メモ

●4の操作で、ビデオステータス設定画面を表示すると、映像ポジションは自動的に「ビデオステータス」のポジションになります。（次ページ参照）

操作編

ドア内中央

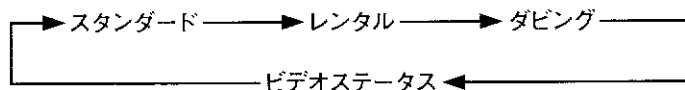
本体右側

テープに合わせた画質調節
映像ポジション

本体の
映像ポジションボタンで
画質を選ぶ

●ボタンを押すごとに、テレビ画面に約５秒間表示します。

テレビ画面
ビデオステータス

→スタンダード→レンタル→ダビング→ビデオステータス→

スタンダード	通常はこの位置でお使いください。
レンタル	レンタルビデオを再生するときなど。 ノイズを抑え、見やすい映像にします。
ダビング	ダビングするとき。 ダビング時の画質劣化を抑えます。
ビデオステータス	各種デジタル信号処理の設定データで再生するとき。あらかじめ、ビデオステータス設定画面でお好みの画質に設定しておいてください。（66ページ参照）

メモ
●現在どのポジションであるか確認するときは、本体の映像ポジションボタンを１回押します。テレビ画面に約５秒間表示します。

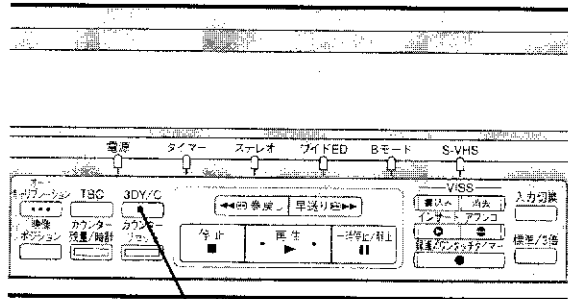
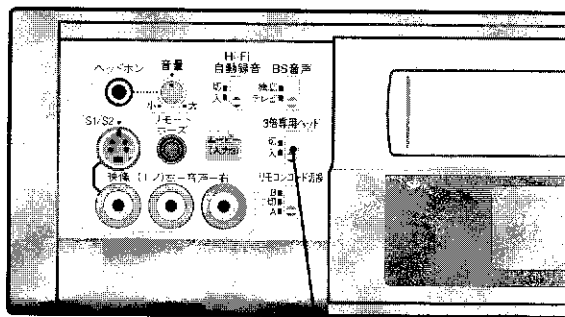
ノイズで見づらいとき
トラッキング調節

本機のオートトラッキング機能で、ちらつきが止まらないときは、手動でトラッキングを調節します。

1 再生中に、本体の**合わせー**と**＋ボタン**を同時に押す
●本体表示窓のAT表示が消え、オートトラッキングが解除されます。
●もう一度同時に押すと、オートトラッキングモードに戻ります。

2 **合わせー/＋ボタン**で調節する
●リモコンでも操作できます。

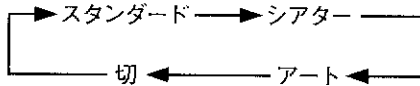
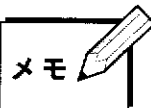
メモ
●オートトラッキングで調整中はAT表示が点滅します。
●ビデオの電源を入れたときやテープを挿入すると、AT表示が点灯し、自動的にオートトラッキングモードになります。
●静止画再生またはスロー再生中にノイズが出るときは、一時停止ボタンを2秒以上押してスロー再生にし、合わせー/＋ボタンで調節します。調節してもノイズが消えないことがありますが故障ではありません。
●録画状態の悪いテープや他のビデオで録画したテープの場合、十分に調節できない場合があります。
●オートトラッキングの解除は、リモコンでは操作できません。

ドア内中央

映像の特徴に合わせて最適な映像で録画する
3次元デジタルY／C分離

停止状態で、
本体の**3D Y／Cボタン**を押し、
最適なポジションを選ぶ

●ボタンを押すごとに、テレビ画面に約5秒間表示します。

テレビ画面

3D Y/C シアター

スタンダード	通常はこの位置でお使いください。
シアター	映画の場面の中で、カメラをゆっくりと移動させて撮影した場面など、画面全体が動くような、動きの多い映像を録画するとき。
アート	絵画が映っている映像など、静止している部分が多く、動きの少ない映像を録画するとき。
切	3次元Y/C分離は行わず、2次元Y/C分離を行います。スタンダードとの映像の違いを見たいときにお使いください。

●3次元デジタルY/C分離は、録画時に効果を発揮します。次のような場合は働きません。
・再生中およびBSモニター中
・外部入力のS1/S2端子からの信号を録画するとき

●現在どのポジションであるか確認するときは、停止状態で、本体の3D Y／Cボタンを1回押します。テレビ画面に約5秒間表示します。

本体左側

3倍モードで録画したテープの画質を調節する
3倍専用ヘッド

本体の **3倍専用ヘッドスイッチ**で合わせる

入	3倍モードが高画質で楽しめます。 通常はこの位置でお使いください。
切	3倍モードで録画したテープを再生中、ざらつきがある場合や、画面の上下にノイズが出るときは「切」にしてください。

●3倍モードで録画するときは、自動的に3倍専用ヘッドで録画します。

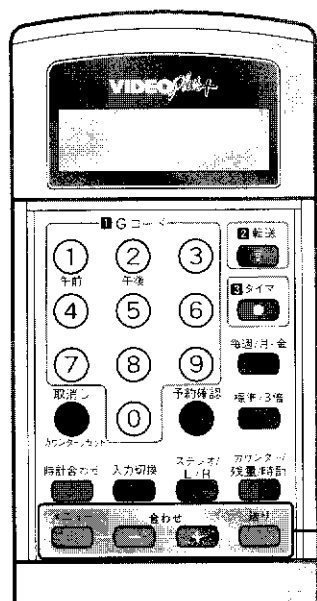
●S—VHSの3倍モードで録画したテープを再生中、ノイズが多いときや、少しソフトな映像にしたいときは、3倍専用ヘッドスイッチを「切」にしてください。

●3倍専用ヘッドで再生中、いろいろな速さに変えるときや通常再生に戻すときに、ノイズやゆれが出ることがあります。

編集の種類

本機では次のような編集ができます

編集名	こんなときに	本機の用途	参照ページ
ダビング	・同じ内容のテープをもう1本作りたいとき ・S-VHS方式で録画したテープをVHS方式のテープに録画し直したいとき	再生機／録画機	71～73
プリロール編集	・編集精度の高いダビングをしたいとき	録画機	74
マルチダビング	・不要な場面をカットしたり、順序を入れ換えて別のビデオにダビングしたいとき	再生機	76
アフレコ編集	・BGMを入れたいとき	録画機	79
インサート編集	・タイトルを入れたいとき ・ビデオムービーを使って別の映像を入れたいとき	録画機	80
プリロールインサート編集	・編集精度の高いインサート編集をしたいとき	録画機	82

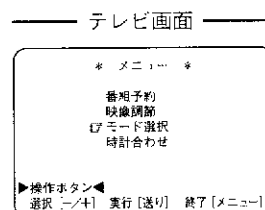
背面のビデオ１入力端子の映像入力を選ぶ

ビデオ１のS１／S２と映像端子の両方に接続しているときに、映像端子の信号を選ぶことができます。
セレクターとの接続時などに便利です。

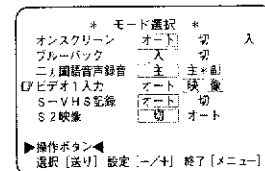
1

❶メニューボタンを押す
●メニュー画面を表示します。

❷合わせ－／＋ボタンでモード選択を選ぶ

―― テレビ画面 ――

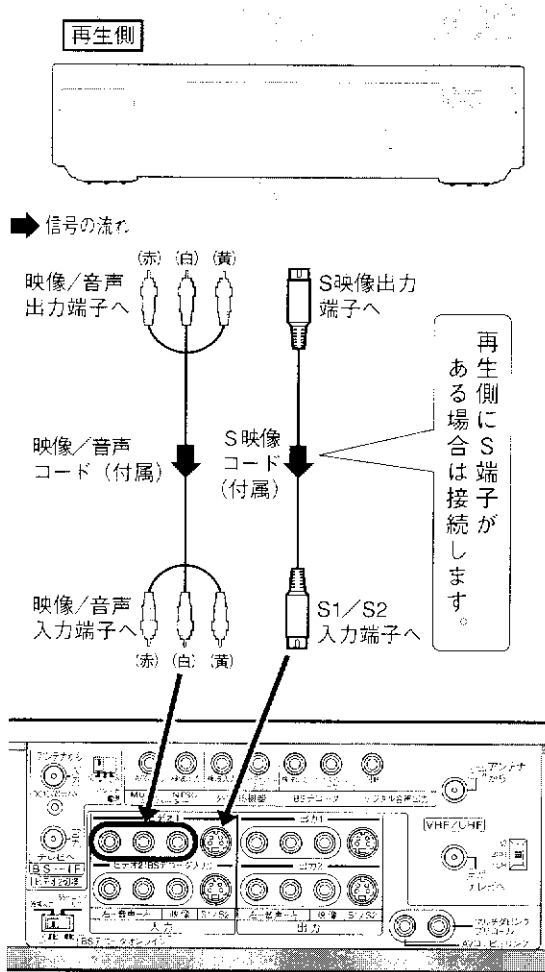
2

❶送りボタンを押す
●モード選択画面を表示します。

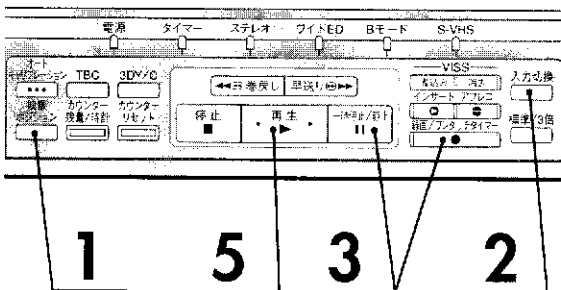
❷送りボタンを押し、ビデオ１入力を選ぶ
●送りボタンを押すごとに、☞表示が下の項目へ進みます。

❸合わせ－／＋ボタンで映像を選ぶ

3

メニューボタンを押す
●設定が完了し、テレビ番組画面に戻ります。

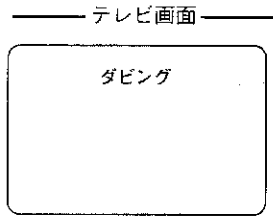
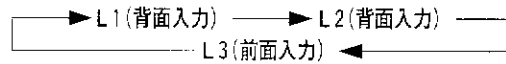
●ご購入時、ビデオ１入力は「オート」になっています。ビデオ１入力のS１／S２と映像端子の両方に接続していると、S１／S２端子が優先されます。
●ビデオ１入力のS１／S２端子を選ぶときは、ビデオ１入力を「オート」にします。
●背面のビデオ２（入力２）および前面のムービー（入力３）の映像は、S１／S２端子が優先されます。

テープのコピー[ダビング]

テレビに接続

ドア内中央

他のビデオで再生、本機で録画する場合

本機側

1 本体の**映像ポジションボタン**でダビングポジションにする
(68 ページ参照)

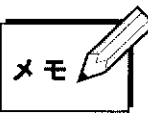
テレビ画面: ダビング

2 **入力切換ボタン**でチャンネルを**L1(外部入力)**にする
●入力切換ボタンを押すごとに
→L1(背面入力)→L2(背面入力)→L3(前面入力)→
●BSデコーダ接続時、L2は表示しません。

3 **一時停止ボタン**を押しながら**録画ボタン**を押し、録画一時停止にする

再生側

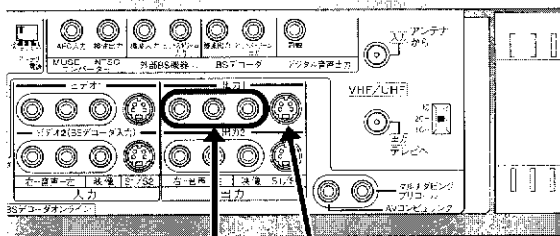
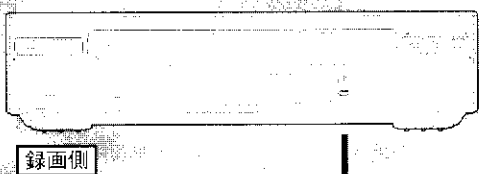
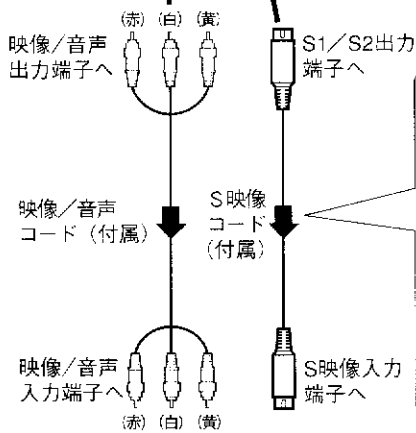
4 ダビングしたい部分の少し前から再生する

本機側

5 ダビングしたい場面で**再生ボタン**を押す
●録画を始めます。

■録画を一時的に止めるには、一時停止ボタンを押します。
■終了するときは停止ボタンを押します。
●本機→再生側の順に停止してください。
■L1(外部入力)チャンネルからテレビ番組のチャンネルに戻すときは、ビデオチャンネルボタンを押します。

●ダビング終了後は、映像ポジションボタンで**スタンダードポジション**に戻してください。
●本機背面のビデオ2切換スイッチをBSデコーダ入力にすると、ビデオ2の入力端子はBSデコーダ入力専用となり、入力切換ボタンを押してもL2チャンネルは表示しません。
●録画一時停止が5分以上続くと、テープやビデオヘッド保護のため自動的に停止します。
●あなたがビデオテープレコーダーで録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

操作編

再生側 （本機背面）

ドア内中央

本機で再生、他のビデオで録画する場合

本機側

1 本体の**映像ポジションボタン**でダビングポジションにする
（68 ページ参照）

テレビ画面

ダビング

2 モード選択画面のオンスクリーンを**切**にする
（12 ページ参照）

録画側

3 ❶外部入力にする
❷録画一時停止にする

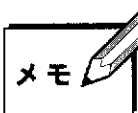
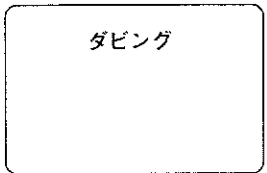
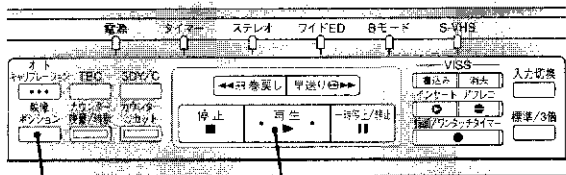
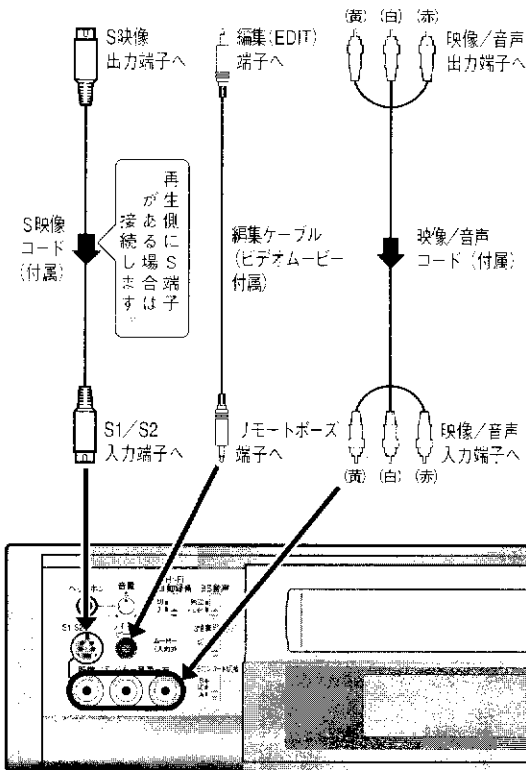
本機側

4 ダビングしたい部分の少し前から再生する

録画側

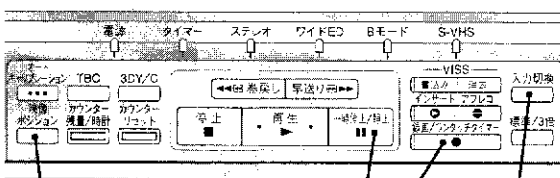
5 ダビングしたい場面で録画する

■終了するときは停止ボタンを押します。
●録画側→本機の順に停止してください。

メモ

●ダビング終了後は、映像ポジションボタンで**スタンダードポジション**に戻してください。
また、モード選択画面のオンスクリーンを**オート**に戻してください。
●ダビングすると、画質はもとのテープに比べて劣ります。ダビング時は**標準モード**で録画することをおすすめします。

再生側 ビクタービデオムービー

録画側 (本体左側)

テレビに接続

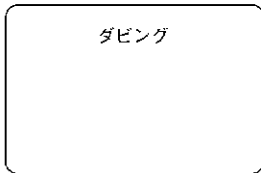
ドア内中央

ビクタービデオムービーで再生、本機で録画する場合

ダビング時、本機の録画スタート/ストップをビクタービデオムービー側で操作します。

本機側

1 本体の**映像ポジションボタン**でダビングポジションにする

(68 ページ参照)

テレビ画面

ダビング

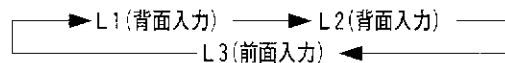
2 **入力切換ボタン**でチャンネルを**L3(外部入力)**にする

●入力切換ボタンを押すごとに

L1(背面入力) → L2(背面入力) → L3(前面入力) →

●BSデコーダ接続時、L2は表示しません。

3 **一時停止ボタン**を押しながら**録画ボタン**を押し、録画一時停止にする

再生側

4 ダビングしたい場面を設定し、ビデオムービーの**編集スタートボタン**を押す

●自動的にダビングが始まり、終了するとビデオムービーは一時停止、本機は録画一時停止になります。

●詳しくは、ビクタービデオムービーの取扱説明書をお読みください。

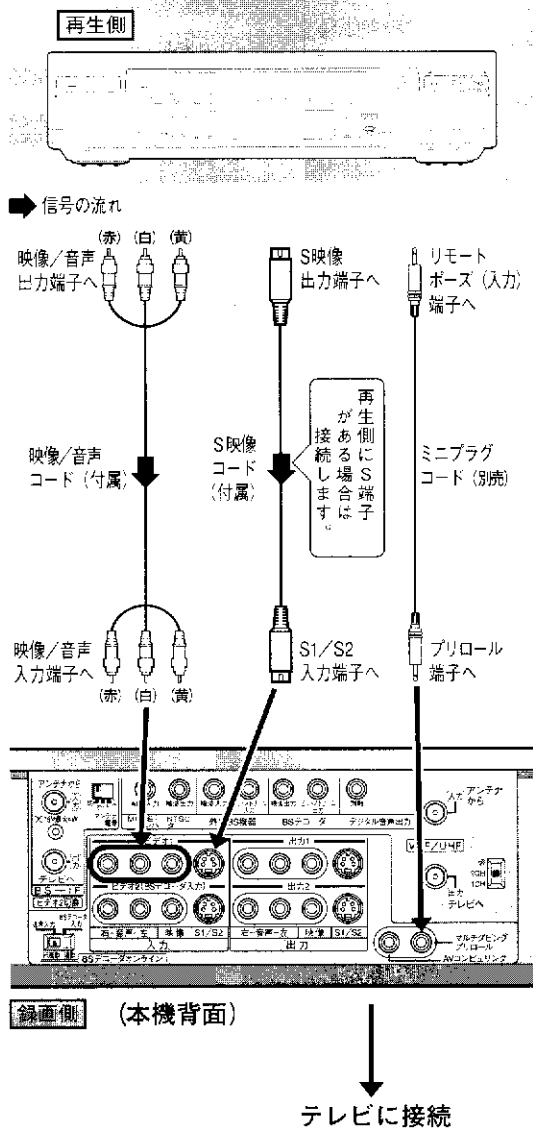
■ダビング終了後は、本機・ビデオムービーとも停止してください。

■L3(外部入力)チャンネルからテレビ番組のチャンネルに戻すときは、ビデオチャンネルボタンを押します。

●ダビング終了後は、映像ポジションボタンで**スタンダードポジション**に戻してください。

●本機背面のビデオ2切換スイッチをBSデコーダ入力にすると、ビデオ2の入力端子はBSデコーダ入力専用となり、入力切換ボタンを押してもL2チャンネルは表示しません。

●録画一時停止が5分以上続くと、テープやビデオヘッド保護のため自動的に停止します。

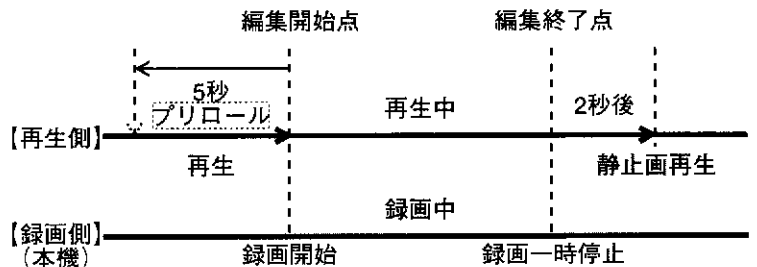
操作編

プリロール編集

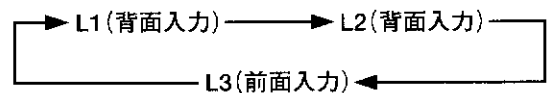
ミニプラグコードは下記の当社製品をお使いください。
・CN－１２０A (1.5m)
・CN－１２５A (3.0m)

編集精度の高いダビングをする

プリロール編集とは、ダビング時、自動的に再生側ビデオを編集開始点の数秒手前（約5秒）まで巻戻してから再生を開始させ、編集開始点で録画側ビデオの録画を開始させる機能です。
本機ともう1台のビデオが安定した編集を始めますので、つなぎ目のきれいなテープに仕上がります。
本機を録画機側として使用し、ビクターのリモートポーズ端子付ビデオと接続します。

プリロール編集のテープの動き

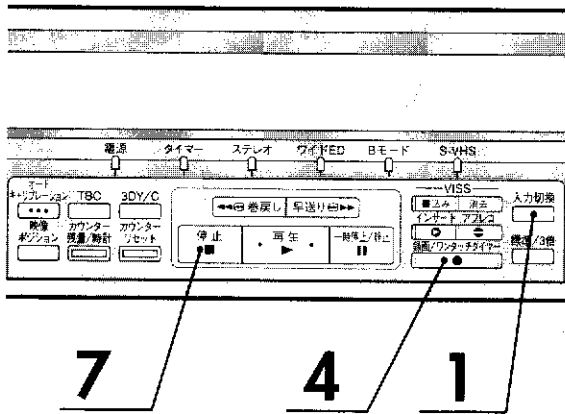
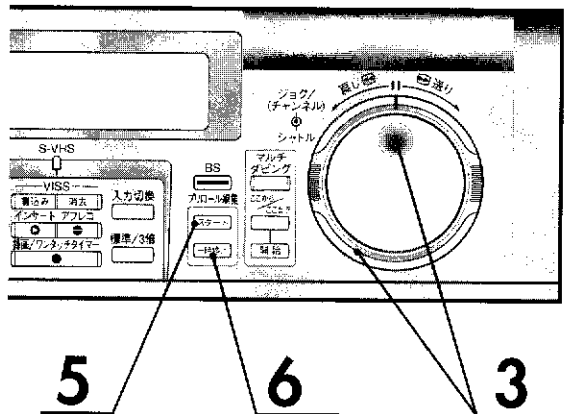
再生側のみ約5秒間のプリロールを行います。

準備 本機につめのついたテープを入れます。

1 **入力切換ボタン**で、接続した端子を選ぶ
●ボタンを押すごとに

●BSデコーダ接続時、L2は表示しません。

2 再生側のテープを再生し、編集開始点で静止画再生状態にする

3 本機のテープを再生し、ジョグダイヤル／シャトルリングなどで録画開始点を探し、静止画再生状態にする

4 本体の**録画ボタン**を押す
●録画一時停止状態になります。

ドア内中央

ドア内右側

5 プリロール編集の**スタートボタン**を押す

- 編集が始まります。
- 再生側ビデオ： 約5秒間プリロールしたあと再生を始めます。
  録画側ビデオ： 編集開始点で録画を始めます。
  （本機）

6 編集終了点で プリロール編集の**一時停止ボタン**を押す

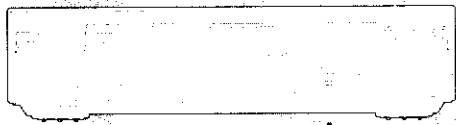
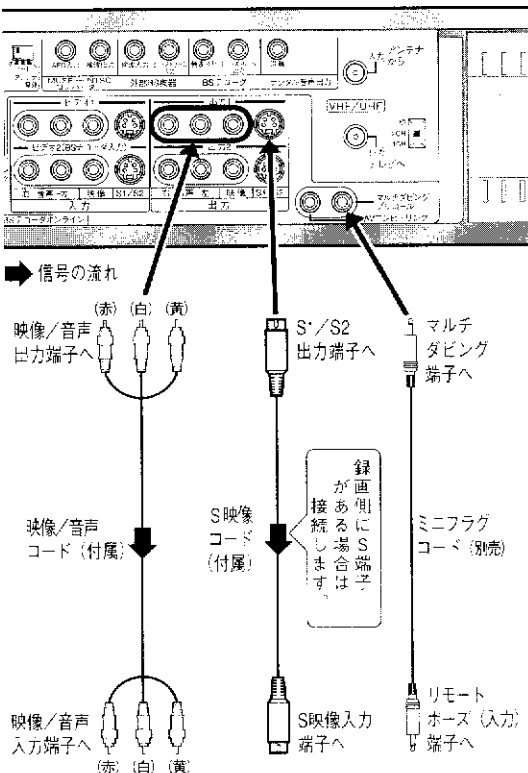
- 再生側ビデオ： 押した位置から2秒後に静止画再生状態になります。
  録画側ビデオ： 録画一時停止状態になります。
  （本機）

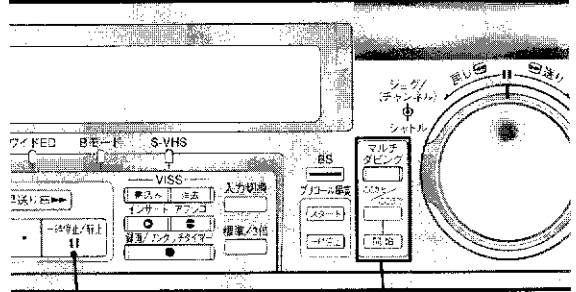
7 プリロール編集をやめるときは 本機→再生側の順に**停止ボタン**を押す

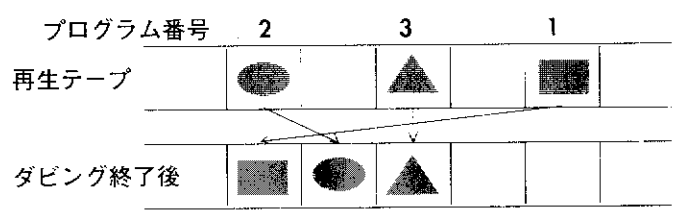
- 4の操作で、録画側ビデオ（本機）の録画開始点を正確に合わせるときは、録画一時停止中にジョグダイヤル／シャトルリングを回して録画開始点を探し、録画を始めたい位置で手を離すと、自動的に録画一時停止状態に戻ります。
- マルチダビングとは違い、2つ以上のプログラムを設定して編集することはできません。
- 本機（HR-X5）を2台使ってプリロール編集を行った場合、再生側のみプリロールします。

操作編

マルチダビング

再生側　（本機背面）

ミニプラグコードは下記の当社製品をお使いください。
・CN－120A（1.5m）
・CN－125A（3.0m）

ドア内右側

本機で録画したい場面を設定し自動編集する

不要な場面をカットしたり、順序を入れ替えて別のビデオにダビングするときに便利です。最大8プログラムまで設定できます。本機は再生側として使用し、ビクターのリモートポーズ端子付ビデオと接続します。

マルチダビングのテープの動き

再生側（本機）のみ約5秒間のプリロールを行います。

本機側

テレビ画面

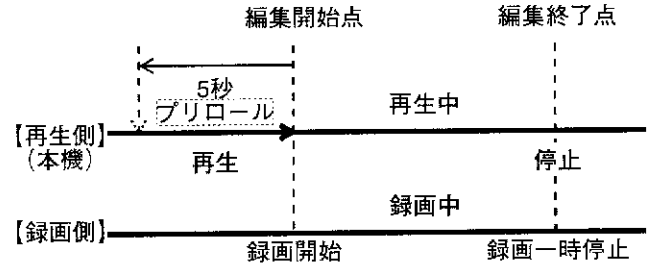
プログラム番号

＊ マルチダビング ＊

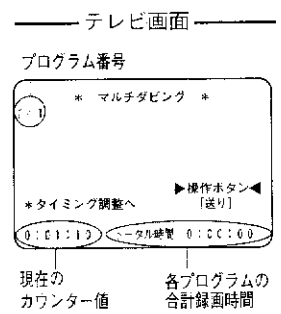
＊タイミング調整へ

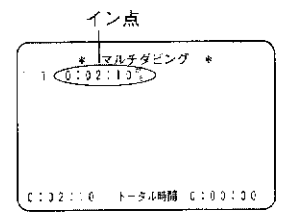
▶操作ボタン◀「送り」

現在のカウンター値

各プログラムの合計録画時間

1 本体の**マルチダビングボタン**を押す

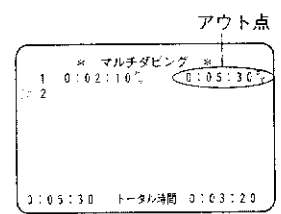
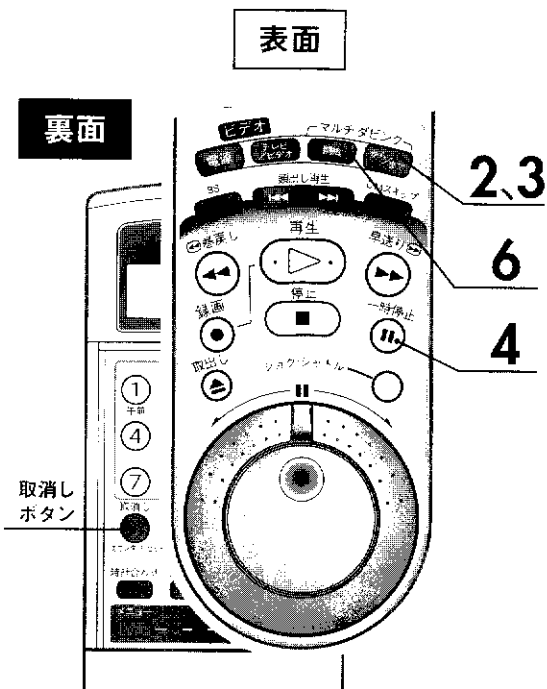
●マルチダビング画面を表示します。

イン点

2 編集開始点（イン点）を探す

テープを再生し、編集開始点で**ここから／ここまでボタン**を押す

アウト点

3 編集終了点（アウト点）を探す

編集終了点で**ここから／ここまでボタン**を押す

●2～3の操作の繰り返しで、最大8つまで登録できます。

4 設定後、**一時停止ボタン**を押し、静止画再生状態にする

録画側

5

1 外部入力にする

2 録画一時停止にする

本機側

6

編集開始

開始ボタンを押す

- プログラム番号順に編集が始まり、最後のアウト点まで自動的にダビングします。
- アウト点から次のイン点までは、早送り／巻戻し再生（サーチ）で探します。
- 編集が終わると
  本機側 → 停止状態
  録画側 → 録画一時停止状態

録画側

7

編集終了

録画側ビデオを停止する

本機側

8

マルチダビングボタンを押す

- マルチダビング画面が消えます。
[これでマルチダビング終了です。]

イン点、アウト点を取消しまたは変更したいときは

3の操作終了後

①取消しボタンを押します。

・最後に登録したカウンター値が消えます。取消しボタンを押すごとに、最後から順に消えます。

・途中のカウンター値の取消しまたは変更はできません。

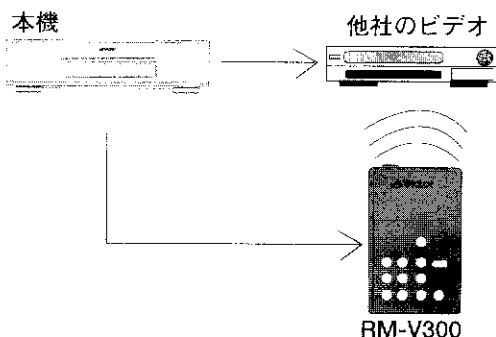
②変更するときは、2～3の操作を行ってください。

メモ

- アウト点のカウンター値は、イン点より大きい値でのみ設定できます。
- 設定した場面より多少ずれることがあります。
- イン点、アウト点を設定するときに、早送り、巻戻し、頭出し再生などで探すと、設定した場面より多少ずれることがあります。なるべく、早送り／巻戻し再生（サーチ）で探すことをおすすめします。
- アウト点が設定されていないプログラムは実行しません。
- イン点、アウト点のカウンター表示には、1秒以下の数値を表示しないため、各プログラムのカウンター表示の合計とトータル時間が合わないことがあります。
- アウト点から次のイン点までの早送り／巻戻し再生（サーチ）時間が5分以上かかると、録画側の録画一時停止が解除するため編集できません。
- 再生側テープの始めや終わりの部分では、マルチダビングができないことがあります。
- 録画側ビデオにインサート編集やアフレコ編集の機能がある場合に、5の操作で、インサートの一時停止やアフレコの一時停止にすると、マルチダビングのインサート編集やアフレコ編集ができます。

他社のビデオとマルチダビングする場合

別売のマルチダビングリモコンRM-V300を使ってマルチダビングができます。

詳しくは、マルチダビングリモコンの取扱説明書をご覧ください。

■本機と録画側ビデオの編集タイミングを合わせたいときは、次のページをご覧ください。

別売のマルチダビングリモコンRM-V300を使って、他社のビデオとマルチダビングするときに便利です。タイミング調整値を設定するために、前ページのマルチダビングのリハーサルをしてください。

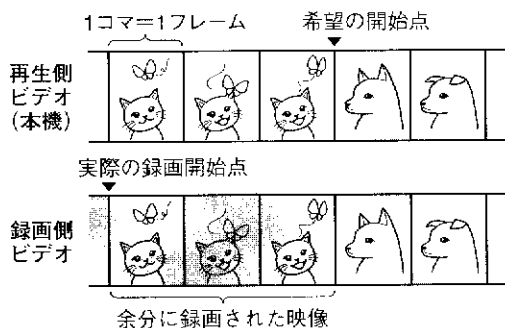
開始点のフレーム誤差を測定する

(例) 本機で設定した開始点に対し、余分に3フレームぶん録画されたとき

1コマ=1フレーム　希望の開始点

再生側ビデオ(本機)

実際の録画開始点

録画側ビデオ

余分に録画された映像

・開始点のタイミング調整値を「+1(3フレームぶん)」にします。
・余分に録画されたとき：「+」側の数値にする
・場面が欠けたとき　：「−」側の数値にする

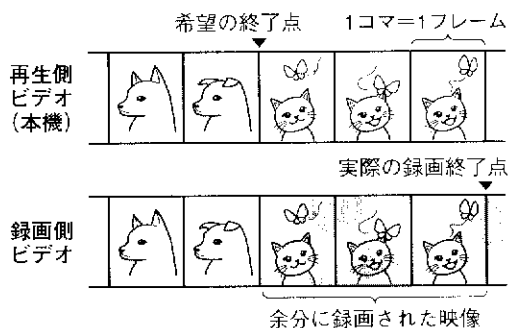
終了点のフレーム誤差を測定する

(例) 本機で設定した終了点に対し、余分に3フレームぶん録画されたとき

希望の終了点　1コマ=1フレーム

再生側ビデオ(本機)

実際の録画終了点

録画側ビデオ

余分に録画された映像

・終了点のタイミング調整値を「−1(3フレームぶん)」にします。
・余分に録画されたとき：「−」側の数値にする
・場面が欠けたとき　：「+」側の数値にする

●タイミング調整しても、多少ずれることがあります。
●マルチダビングの開始/終了点を設定後に、タイミング調整はできません。
●開始点から終了点の間は、約2秒以上離して設定することをおすすめします。近すぎると、終了点の設定ができないことがあります。
●停電などがあり、本体の時計が 0:00 で点滅していると、タイミング調整の数値は「0」に戻りますので、再度設定し直してください。
●録画側テープの始めで、編集前の映像が少し残ることがあります。

マルチダビングで、本機と録画側ビデオの編集タイミングを合わせる

本機の編集開始点/終了点のタイミングを調整し、精度の高い編集ができます。

開始点、終了点のフレーム誤差を測定する

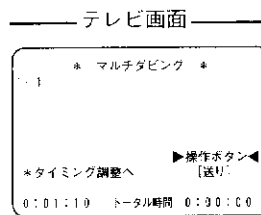
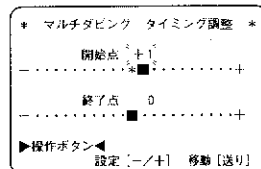
1

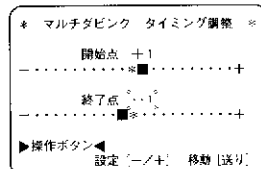
1 前ページのマルチダビングをする
●開始/終了点の設定は、フレーム誤差が測定しやすいように、場面が切り換わっている部分を設定してください。

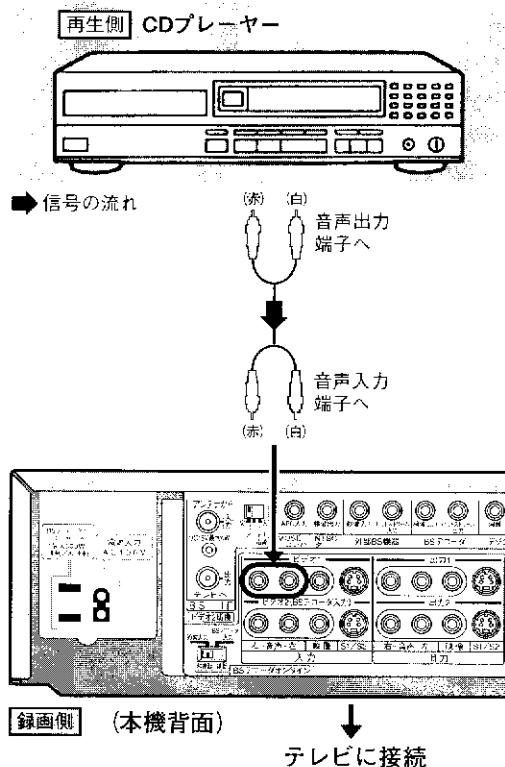
2 マルチダビング終了後、録画側ビデオを再生し、ジョグダイヤルで開始/終了点のフレーム誤差を測定する
●録画側ビデオにジョグダイヤルがない場合は、本機にテープを入れ、測定してください。測定終了後は、録画側ビデオにテープを戻してください。

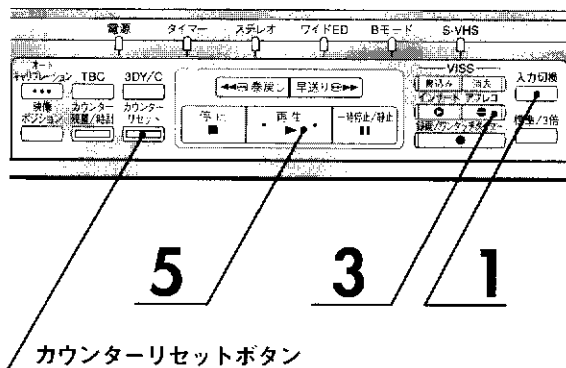
開始点、終了点のタイミング調整値を設定する

テレビ画面

2 本体のマルチダビングボタンを押す
●マルチダビング画面を表示します。

3 送りボタンを押す
●タイミング調整画面を表示し、開始点の数値が点滅します。

4 合わせ−/+ボタンでタイミング調整値を設定する
●1目盛りは約3フレームで、±1〜10目盛り(±3〜30フレーム)まで設定できます。

5 送りボタンを押す
●終了点の数値が点滅します。

6 合わせ−/+ボタンでタイミング調整値を設定する

7 送りボタンを押す
●マルチダビング画面を表示します。
●前ページの1〜8の操作を繰り返し、ダビングしたい場面を設定します。

アフレコ編集

ドア内中央

●「つめ」のないテープには、アフレコ編集できません。「つめ」の部分に、セロハンテープを2重に貼ってください。（40 ページ参照）

●アフレコ編集中または編集後にテープを聞くときは、本体の音声出力切換ボタンで切り換えてください。（61 ページ参照）

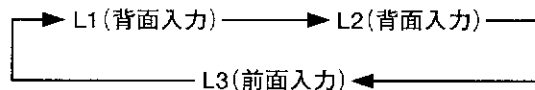
●アフレコ編集終了後はノーマル音声になっていますので、本体の音声出力切換ボタンでHi-Fi音声に戻しておいてください。

録画済みテープに音声のみをあとから録音する

本機を録画機側として使用します。Hi-Fi音声にはアフレコできませんので、Hi-Fi音声はアフレコ編集する前の音声が残ります。

準備 本機につめのついたテープを入れます。

1 **入力切換ボタン**で、接続した端子を選ぶ

●ボタンを押すごとに

●BSデコーダ接続時、L2は表示しません。

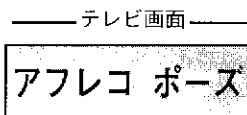
2 本機のテープを再生し、ジョグダイヤル／シャトルリングなどでアフレコ編集の開始点を探し、静止画再生状態にする

3 本体の**アフレコボタン**を押す

●アフレコの一時停止になります。

テレビ画面

アフレコ ポーズ

本体表示窓

4 アフレコしたい音声を準備する

アフレコ

5 アフレコしたいところで**再生ボタン**を押す

●アフレコ編集が始まります。

■アフレコ編集をやめるときは、停止ボタンを押します。

■編集終了点を設定しアフレコ編集するには

2の操作中に、編集終了点でカウンターリセットボタンを押し、カウンターを0:00:00にします。

アフレコ編集中にカウンターが0:00:00になると、自動的にアフレコ編集を終了し、再生状態になります。

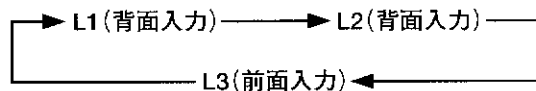
録画済みテープの一部を他の映像とHi-Fi音声に入れ換える

本機を録画機側として使用します。
ノーマル音声には、インサート編集する前の音声が残ります。

準備 本機につめのついたテープを入れます。

1 **入力切換ボタン**で、接続した端子を選ぶ

●ボタンを押すごとに

L1（背面入力）→ L2（背面入力）→ L3（前面入力）→ L1

●BSデコーダ接続時、L２は表示しません。

2 本機のテープを再生し、ジョグダイヤル／シャトルリングなどでインサート編集の終了点を探し、静止画再生状態にする

3 **カウンターリセットボタン**を押す

●カウンターが０：００：００になります。

4 ジョグダイヤル／シャトルリングなどでインサート編集の開始点を探し、静止画再生状態にする

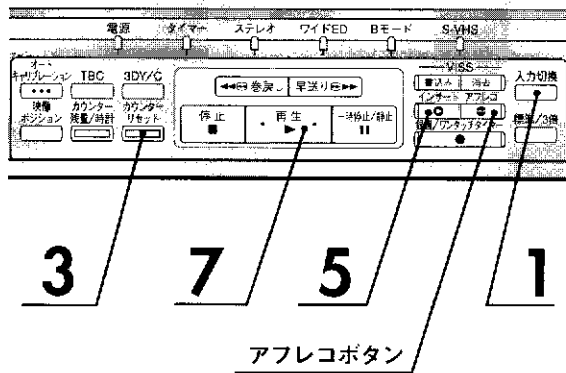
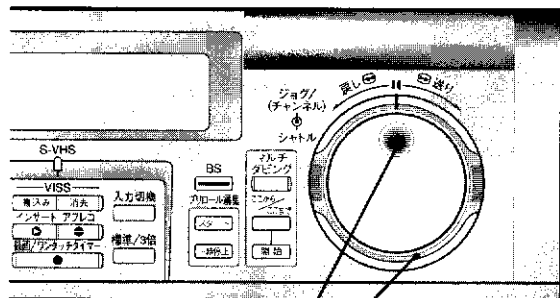
テレビ画面

インサート ポーズ

5 本体の
インサートボタンを押す

●インサートの一時停止になります。

本体表示窓

ドア内中央

ドア内右側

6 インサートしたい映像、音声を準備し再生する

7 インサートしたい場面で **再生ボタン**を押す

- インサート編集が始まります。
- カウンターが0：00：00になると、自動的にインサート編集を終了し、再生状態になります。

■途中でインサート編集をやめるときは

カウンターリセットボタンを押します。編集を終了し、再生状態になります。

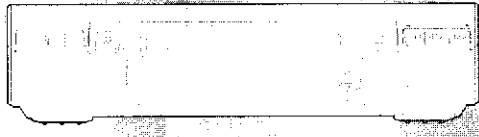
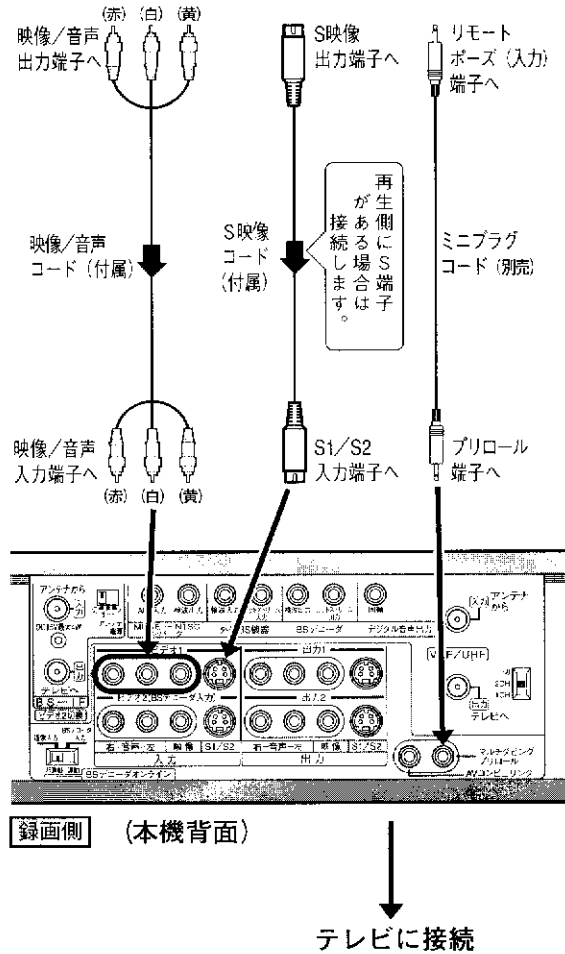
■インサート編集時、ノーマル音声にHi-Fi音声と同じ音声を入れたいときは

5の操作で、インサートボタンを押したあとに、アフレコボタンを押します。本体表示窓は、 表示へと変わります。

メモ

- 「つめ」のないテープには、インサート編集できません。「つめ」の部分に、セロハンテープを2重に貼ってください。
（40 ページ参照）
- インサート編集の途中で録画スピード（標準／3倍）が変わっている場合は、映像が乱れます。
- 他のビデオ機器の映像をインサート編集する場合は、インサートする再生画像が安定してから行ってください。
- インサート編集中に無記録部分になっても、インサート編集は続行します。
- インサート編集とは、録画済みテープにあとから映像とHi-Fi音声を挿入する手法です。そのため、インサート編集する部分に無記録部分があると、編集終了点がずれますのでご注意ください。

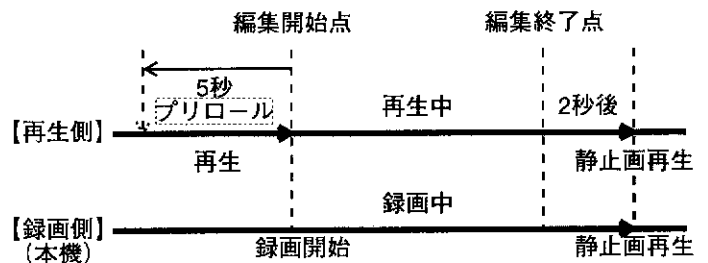
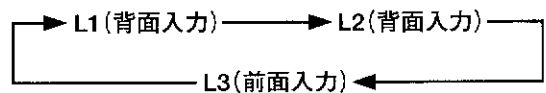
録画側 （本機背面）

テレビに接続

ミニプラグコードは下記の当社製品をお使いください。
・CN－１２０A（1.5m）
・CN－１２５A（3.0m）

編集精度の高いインサート編集をする プリロールインサート編集

本機を録画機側として使用し、ビクターのリモートポーズ端子付ビデオと接続します。プリロール編集（74 ページ参照）を利用してインサート編集を行います。

プリロールインサート編集のテープの動き

再生側のみ約５秒間のプリロールを行います。

準備 本機につめのついたテープを入れます。

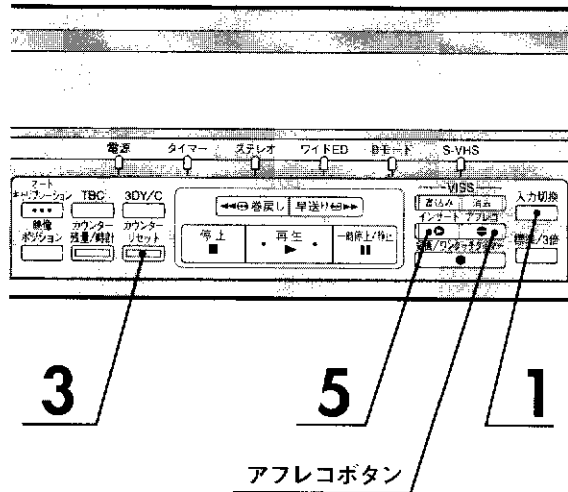
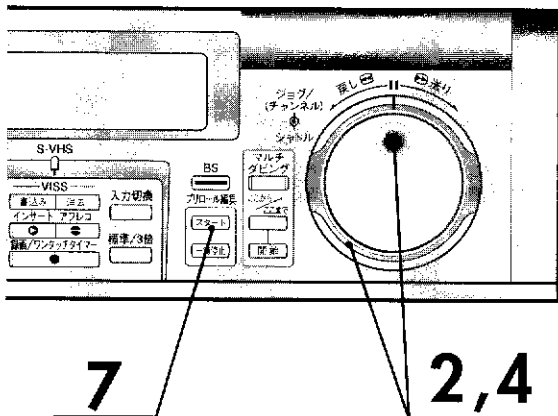
1 **入力切換ボタン**で、接続した端子を選ぶ
●ボタンを押すごとに

●BSデコーダ接続時、L２は表示しません。

2 本機のテープを再生し、ジョグダイヤル／シャトルリングなどでインサート編集の終了点を探し、静止画再生状態にする

3 **カウンターリセットボタン**を押す
●カウンターが０：００：００になります。

4 ジョグダイヤル／シャトルリングなどでインサート編集の開始点を探し、静止画再生状態にする

ドア内中央

ドア内右側

テレビ画面

インサート ポーズ

本体表示窓

5 本体の **インサートボタン**を押す

●インサートの一時停止になります。

6 再生側のテープを再生し、編集開始点で静止画再生状態にする

インサート

7 プリロール編集の **スタートボタン**を押す

●編集が始まります。

●再生側ビデオ：約5秒間プリロールしたあと再生を始めます。
　録画側ビデオ：編集開始点でインサート編集を始めます。
　（本機）

●カウンターが0：00：00になると、自動的に編集を終了し、2秒後に静止画再生状態になります。

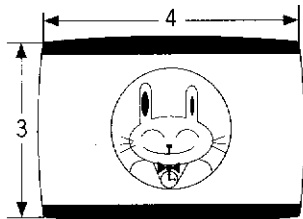
■途中でプリロールインサート編集をやめるときは

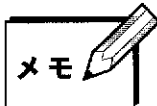
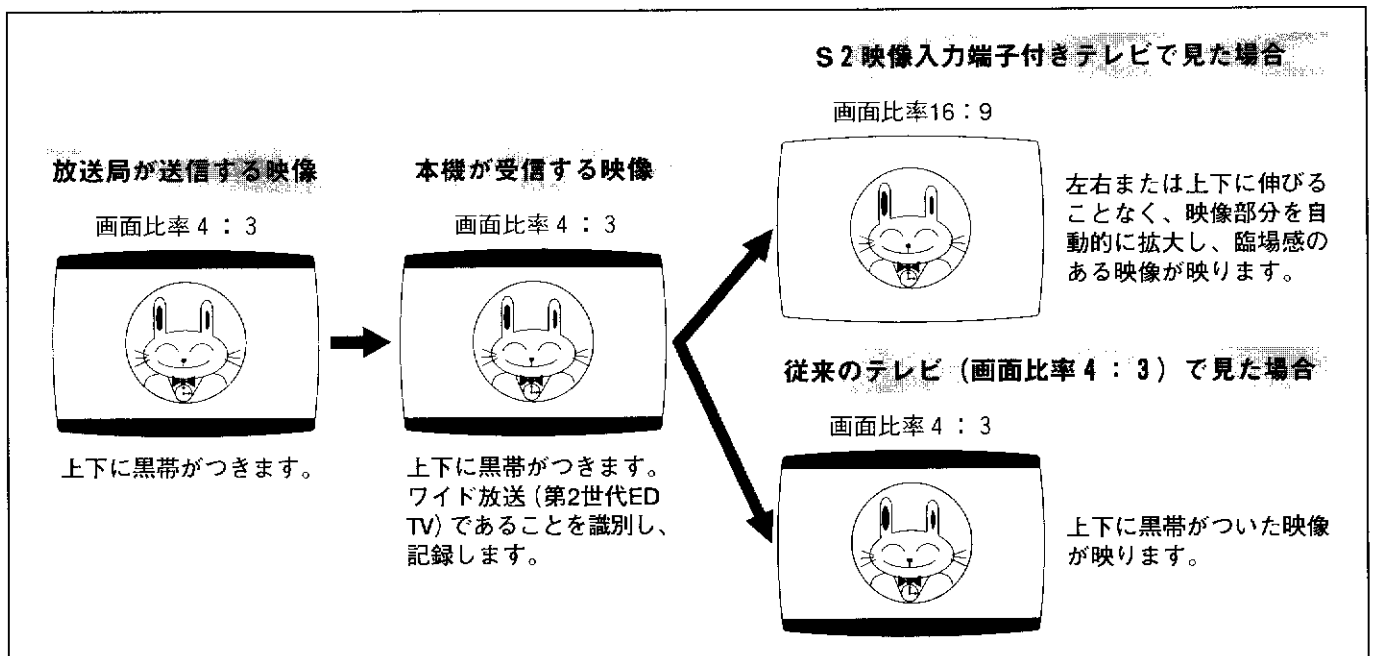
カウンターリセットボタンを押します。編集を終了し、2秒後に静止画再生状態になります。

■プリロールインサート編集時、ノーマル音声にHi-Fi音声と同じ音声を入れたいときは

5の操作で、インサートボタンを押したあとに、アフレコボタンを押します。本体表示窓は、[表示]→[表示] 表示へと変わります。

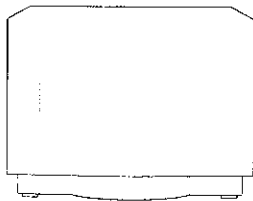
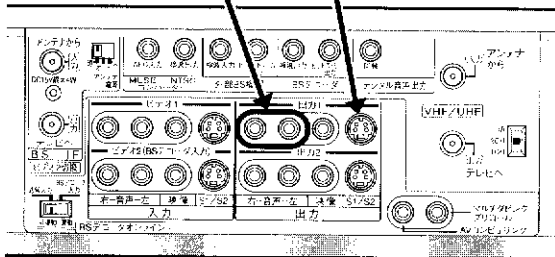
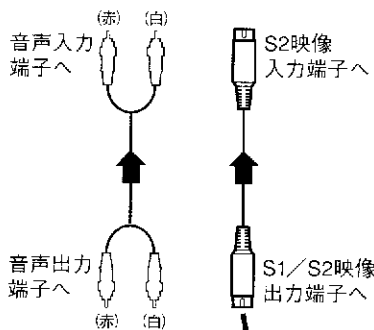
ワイド放送(第2世代EDTV)とは

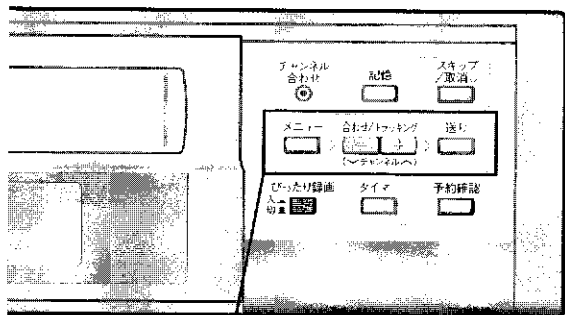
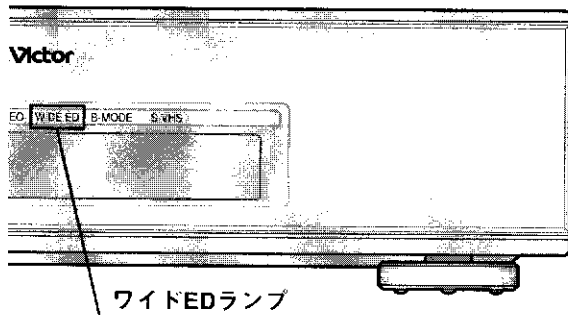
(1995年4月現在、放送されていません。)

上下に黒帯がつきます。

ワイド画面に対応した新しい放送で、地上波(VHF/UHF放送)での放送が予定されています。
画面比率は、従来の4:3と変わりませんが、上下に黒帯がつき、映像部分の画面比率は16:9になっています。

●S映像信号とは
従来の映像信号を輝度信号と色信号に分離した信号です。2つの信号が互いに影響を受けないため、鮮明で色にじみの少ない映像が楽しめます。

●S1映像信号とは
S映像信号に加え、MUSE-NTSCコンバーターなどのフルモード(縦長の映像)を自動判別するための識別信号を重畳させた信号です。

●S2映像信号とは
S1映像信号に加え、ワイド放送(第2世代EDTV)であるかを自動判別するための識別信号を重畳させた信号です。

S 2映像入力端子付きテレビ

(本機背面)

本体右側

S 2映像入力端子付きテレビと接続して、ワイド放送(第2世代EDTV)を見る

準備 18 19 ページをご覧いただき、テレビにビデオの画面が映るようにしてください。

1

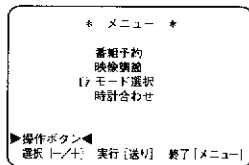
1 メニューボタンを押す

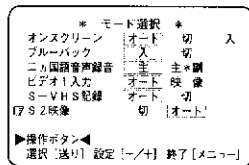
●メニュー画面を表示します。

2 合わせ－／＋ボタンで**モード選択**を選ぶ

テレビ画面

* メニュー *
番組予約
映像調節
☞ モード選択
時計合わせ
▶操作ボタン◀
選択［－/＋］ 実行［送り］ 終了［メニュー］

2

1 送りボタンを押す

●モード選択画面を表示します。

2 送りボタンで**S2映像**を選ぶ

●送りボタンを押すごとに、☞表示が下の項目へ移動します。

* モード選択 *
オンスクリーン オート 切 入
ブルーバック 入 切
二ヵ国語音声録音 主 主＊副
ビデオ1入力 オート 映像
S－VHS記録 オート 切
☞ S 2映像 切 オート
▶操作ボタン◀
選択［送り］ 設定［－/＋］ 終了［メニュー］

3 合わせ－／＋ボタンで**オート**を選ぶ

●ご購入時は「切」になっています。

切	ワイド放送（第2世代EDTV）の識別信号をテレビへ出力しません。お持ちのテレビが、第2世代EDTV対応テレビでない場合は「切」にします。「切」でも、本機の受信チャンネルがワイド放送（第2世代EDTV）であれば、本体のワイドEDランプが点灯します。ただし、ワイド放送（第2世代EDTV）の識別信号は記録しません。
オート	本機の受信チャンネルまたは再生するテープに、ワイド放送（第2世代EDTV）の識別信号があるかどうか自動判別し、テレビへ出力します。識別信号があると、本体のワイドEDランプが点灯します。

3

メニューボタンを押す

●設定が完了し、テレビ番組画面に戻ります。

メモ

- ワイド放送（第2世代EDTV）の識別信号は、本機のS1／S2出力端子からのみ出力します。
- 接続する機器の取扱説明書もご覧ください。
- 本機とS1映像入力端子付きテレビを接続しているとき、テレビの映像が横方向に伸びることがあります。このようなときは、モード選択画面のS2映像を「切」にしてください。
- S2映像入力端子付きテレビをお持ちのかたへ
  ワイドEDランプ点灯時、オンスクリーンの上下の文字が見えにくいことがあります。このときは、テレビ側で見やすい画面サイズに切り換えてください。

故障かな？と思ったら

□内の数字が参照ページです。

	こんなときは	ここをお調べ下さい	ページ
電源	電源が入らない	● 電源コードがコンセントからはずれていませんか？ タイマーランプが点灯していませんか？	—
	引っ越し先でも使えるか	● 日本国内では大丈夫です。ただし、チャンネル設定はやり直してください。 海外では、電源・放送方式などの違いで使用できません。	—
カセット	カセットが入らない	● 正しい向きで入れてください	—
	カセットが出ない	● 録画中またはタイマーランプが点灯していませんか？	—
	コンパクトビデオカセットを使って録画または再生したい	● 別売のVHSカセットアダプターC-P6をご使用ください。	40
再生	テレビに再生画が出ない	● 本体表示窓に[ビデオ]が表示されていますか？ ● テレビはビデオチャンネルになっていますか？ 映像／音声入力端子付テレビ（AVテレビ）と接続しているときはテレビの入力切換をビデオにします。 アンテナコードだけの接続では1か2チャンネルにします。	18 43
	画面の一部にノイズが出る	● オートトラッキング中にノイズが出るときは、トラッキング調節を行います。 ● 長い間使用していると、ビデオヘッドが汚れて再生画が汚なくなることがあります。 別売のクリーニングテープTCL-2で掃除してください。	68 2
	Hi-Fi音声が出ない	● 本体表示窓に L R が表示されていますか？ ● Hi-Fiでないビデオやビデオムービーで録画したテープを再生するとHi-Fi音声は出ません。	61
	日本語と外国語が同時に聞こえる	● リモコンのHi-Fi音声切換ボタンで聞きたい音声を選んでください。	61
	早送り／巻戻し再生、静止画にノイズが出る	● 再生の速さを変えると、ノイズが出るときがあります。 故障ではありません。	—
	カウンター表示が点滅する	● 早送り、巻戻し中にテープの未録画部分になると、カウンター表示が点滅します。	—
	再生をやめても、ビデオ内部から動作音が聞こえる	● 再び再生したときに出画時間を早くするため、ビデオ内部のドラムが約5分間は回転しています。故障ではありません。	—
録画	録画できない	● カセットのつめが付いていますか？	40
	希望の番組が録画できない	● ビデオの録画チャンネルを確認してください。 ● ビデオのチャンネルが飛ばされていませんか？	29
	録画中に日本語と外国語が同時に聞こえる	● リモコンのHi-Fi音声切換ボタンで聞きたい音声を選んでください。	61
	日本語だけ録音したい	● モード選択画面の二カ国語音声録音を主にしてください。	60
	テレビ番組録画中に、BS番組を見たい	● 録画中にBSオレンジボタンを押します。ビデオチャンネルボタンで見たい番組を選びます。	48
時計転送	本体へ時計転送すると、本体表示窓に「Err」が表示される	● 本体表示窓に表示されるNHK教育テレビのチャンネルをぴったりチャンネルとしてリモコンに入力し、時計転送をやり直してください。 ● NHK教育テレビのチャンネルが飛ばされているときは、本体に記憶してください。	32 29

	こんなときは	ここをお調べください	ページ
タイマー録画	Gコード予約ができない	● リモコンの時計合わせと、本体の時計合わせ・ガイドチャンネル設定はしましたか？	32〜37
	タイマー録画ができない	● 現在時刻は合っていますか？ ● カセットのつめが付いていますか？ ● タイマーランプは点灯していますか？ ● 予約内容を確認してください。 ● 停電があったときは正しく動作しません。	52〜57
	本体のタイマーランプが点滅する	● タイマー予約の設定にまちがいがあるので、予約内容を確認して、正しく設定をやり直してください。	56
	本体のタイマーランプと本体表示窓の[OO]が点滅する	● カセットが入っていません。つめの付いたカセットを入れてください。	40
	本体表示窓に0:00が点滅している	● 停電がありました。もう一度時計合わせをしてください。	32
	タイマー録画が始まるまでの間、テープを見たい	● タイマーボタンを押してタイマーランプを消してから操作します。操作終了後は、タイマーボタンを押してタイマーランプを点灯させます。	—
	タイマー録画中にカセットが出て、タイマーランプと [OO] 表示が点滅している	● テープの終わりまで録画すると、カセットが出て電源が切れます。 ● タイマーボタンを押すと、タイマーランプと[OO] 表示は消えます。 ● タイマー録画するときは、予約する時間よりも余裕のあるカセットを入れてください。	—
	タイマー録画中に停止するには	● タイマーボタンを押してタイマーランプを消してから停止ボタンを押します。	—
	リモコンから本体への予約転送ができない	● 本体に近づけて転送してください。	—
	リモコンから予約を転送すると、本体表示窓に「Err」が表示される	● 受信チャンネル設定はしましたか？ ● 本体の時計合わせはしましたか？ ● ガイドチャンネル設定はしましたか？ ● ワンタッチタイマー録画中は転送できません？	28〜37
	リモコンから予約を転送すると、本体表示窓に「FULL」が表示される	● 本体の予約がいっぱいです。 本体には8番組までしか記憶できません。予約内容を確認し、不要な予約があれば取り消してから予約してください。	56
	リモコンからGコードを転送後、終了時刻の変更ができない	● タイマーランプが点灯していませんか？ ● タイマーボタンを押してタイマーランプを消してから操作してください。	53
	タイマー予約設定中に予約表示が消えた	● 予約設定中に約1分間放置すると予約表示は消えます。もう一度やり直してください。	—
	予約が重なったら	● 録画中の予約内容が終了するまで次の予約は録画しません。 20：00　21：00　22：00 予約1 ➡ ドラマ 予約2 ➡ 録画されない → ニュース番組 録画されるのは ➡ ドラマ ニュース番組	—
	夜10:00〜翌朝4:59の時間で、タイマー録画中にテープ残量を確認したあと、本体表示窓が明るいままで、暗くすることができない	● カウンター／残量／時計表示切換ボタンを押して、カウンター表示などに戻してください。	8 47

故障かな？と思ったら（つづき）

［　］内の数字が参照ページです。

	こんなときは	ここをお調べください	ページ
リモコン	リモコンが働かない	● 本体とリモコンのコード（A/B）が合っていますか？ 本体のリモコンコード切換スイッチが**切**のときは働きません。 ● 電池が消耗していませんか？	42
	テレビが操作できない	● 電池交換をしたら、リモコンのテレビコードをお手持ちのテレビメーカーに合わせてください。	42
衛星放送	BS番組が映らない	● アンテナ電源スイッチが**切**になっていませんか？ 使用状況により、**入**または**連動**にします。 （共同受信している場合は、他から電源が供給されているので**切**のままです。） ● BSデコーダを接続していますか？ ● スクランブル放送を受信していませんか？	20 22
	BSオレンジボタンが働かない	● L2（外部入力）チャンネルを録画中はチャンネルを変えられません。	50
	BSオートチャンネル設定で、不要なBSチャンネルが登録される	● 不要なBSチャンネルを飛ばしてください。	29
	BSデコーダを接続しているのにスクランブルが解除されない	● 本体背面のビデオ2切換スイッチが**BSデコーダ入力**になっていますか？ ● BSデコーダの電源は入っていますか？	23
	WOWOWの音声が聞こえない	● BS音声スイッチがテレビになっていますか？ ● スクランブル放送中は、BSデコーダの音声選択をテレビにしてください。	50
編集	ダビングできない	● 背面入力端子と接続しているときは、入力切換ボタンでチャンネルをL1（またはL2）にします。 ● 前面入力端子と接続しているときは、入力切換ボタンでチャンネルをL3にします。	71 73
	ダビング時、本機で再生するとオンスクリーンの文字が録画される	● モード選択画面のオンスクリーンを**切**にしてください。	12

本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。こんなときは、電源を切って電源プラグをコンセントから抜いて、再度差し込み、動作を確認してください。

仕様

●電源……………………………AC100V 50/60Hz
●消費電力………………………34W（BSアンテナ電源使用時39W
電源「切」時 6W）
●電源出力………………………AC100V 50/60Hz 連動/非連動
BSデコーダ用電源コンセント
最大300W以下
●外形寸法………………………435（幅）×114（高さ）×362（奥行き）mm
●質量……………………………6.8kg
●許容動作温度…………………+5℃〜+40℃
●許容相対湿度…………………35%〜80%
●許容保存温度…………………-20℃〜+60℃

ビデオ（映像）

●録画・再生方式………………S-VHS方式
回転2ヘッドヘリカルスキャン
輝度信号 FM方式
色信号 低域変換直接記録方式
●映像信号………………………NTSC日米標準信号

Hi-Fiオーディオ（音声）

●録音方式………………………VHSステレオハイファイ方式
●周波数特性……………………20Hz〜20kHz
●ダイナミックレンジ…………90dB以上
●ワウ・フラッター……………0.005%以下
●チャンネルセパレーション…60dB以上

ノーマルオーディオ（音声）

●録音方式………………………リニアトラック
●音声トラック…………………1チャンネル（モノラル）

チューナー（テレビ受信）

●受信方式………………………周波数シンセサイザー方式
●音声多重受信方式……………インターキャリア方式
●受信チャンネル………………VHF 1〜12チャンネル
UHF 13〜62チャンネル
BS 1、3、5、7、9、11、13、15チャンネル
CATV C13（63）〜C41（91）チャンネル
●CATVチャンネル対応表

送信チャンネル	チャンネル表示
C13	63
C14	64
C15	65
C16	66
C17	67
C18	68
C19	69
C20	70
C21	71
C22	72
C23	73
C24	74
C25	75
C26	76
C27	77

送信チャンネル	チャンネル表示
C28	78
C29	79
C30	80
C31	81
C32	82
C33	83
C34	84
C35	85
C36	86
C37	87
C38	88
C39	89
C40	90
C41	91

●ビデオチャンネル……………1または2チャンネル（切モード付き）

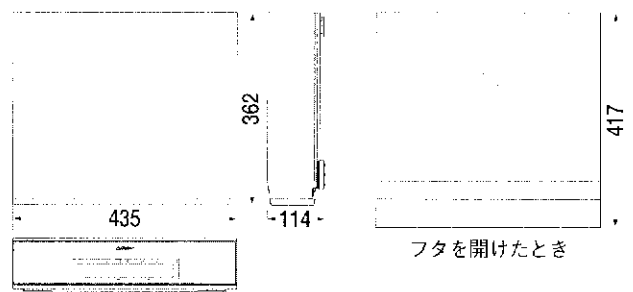
タイマー（タイマー予約・時計）

●タイマー予約…………………1ヵ月8番組予約
●時計……………………………12時間（午前・午後）方式
●停電補償時間…………………約30分

接続端子

●アンテナ………………………75Ω F型コネクター
VHF/UHF 軸
●BSアンテナ……………………75Ω F型コネクター
アンテナ電源出力 DC15V 最大4W
●BS-IF出力……………………75Ω F型コネクター
●S映像…………………………入力 Y:0.8〜1.2Vp-p 75Ω
C:0.2〜0.4Vp-p 75Ω
出力 Y:1.0Vp-p 75Ω
C:0.29Vp-p 75Ω
●映像……………………………入力 0.5〜2.0Vp-p 75Ω（ピンジャック）
出力 1.0Vp-p 75Ω（ピンジャック）
●音声……………………………入力 -8dBs 50kΩ（ピンジャック）
モノ（左）対応
出力 -8dBs 1kΩ（ピンジャック）
●検波入/出力……………………0.67Vp-p 75Ω（ピンジャック）
●ビットストリーム入/出力……0.5Vp-p 75Ω（ピンジャック）
●AFC入力………………………0.5Vp-p 75Ω（ピンジャック）
●デジタル音声出力（同軸）……0.5Vp-p 75Ω（ピンジャック）
●リモートポーズ………………ビクタービデオムービー・デッキとの編集用
●AVコンピュリンク……………3.5ϕ
●マルチダビング/プリロール……3.5ϕ

テープ走行

●早送り／巻戻し時間…………約2分（T-120録画済みテープ使用時）
約3分（T-120未録画テープ使用時）
※テープによって異なることがあります。
●シャトルリングの
再生スピード……………標準：正方向+1／18、+1／6、+1、+2、+5、+7、+11（7段階）
逆方向−1／18、−1／6、−1、−3、−5、−7、−11（7段階）
3倍：正方向+1／18、+1／6、+1、+2、+7、+15、+31（7段階）
逆方向−1／18、−1／6、−1、−3、−7、−15、−31（7段階）

※仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

※このビデオは日本国内のみ使用できます。
外国では放送方式、電源が異なりますので使用できません。
This video cassette recorder is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

索引 ［　］内の数字が参照ページです。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

保証書（別途添付しています）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、ビデオカセットレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低8年間保有しています。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。この製品の製造時期は、本体の背面に表示されています。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お買い上げの販売店または最寄りの「ビクターサービス窓口」（別紙）にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

86～88ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

万一本機およびビデオカセット等の不具合により、正常に録画・録音や再生できなかった場合の補償については、ご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。

保証書の規定に従って販売店及び、ビクターサービスが修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　名	ビデオカセットレコーダー
型　名	HR-X5
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印等も合わせてお知らせください。
お　名　前	
電話番号	（　　）　－

修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器設備費、一般管理費が含まれています。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

愛情点検 ●長年ご使用のビデオカセットレコーダーの点検をぜひ！ 熱、湿気、ほこりなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか	●再生しても映像や音声が出ない。 ●電源プラグ、コードが異常に熱い。 ●異常な臭いや音がする。 ●水や異物が入った。 ●その他の異常や故障がある。

ご使用を中止	故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検をご相談ください。

美しい画面をご覧いただくために

ビデオカセットレコーダーは非常に高い精度を必要とする機械です。長い間ご使用になるうち、機械部分が汚れたり、摩耗したりすると性能が維持できなくなります。美しい画面でお楽しみいただくために、おおよそ1,000時間をめどに点検整備されることをおすすめいたします。

アフターサービスのお問い合わせ先

アフターサービスについてご不明の点は、お買い上げ販売店または別紙「サービス窓口案内」をご覧の上お近くのサービス窓口にご相談ください。91ページの「保証とアフターサービス」もお読みください。

お客様ご相談センター

東　京

☎ (03)5684-9311

〒113 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル

大　阪

☎ (06)765-4161

〒543 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

Victor　JVC

日本ビクター株式会社

ビデオ事業部

〒221 横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地　電話(045) 450-2550

0595MNV＊SW＊V